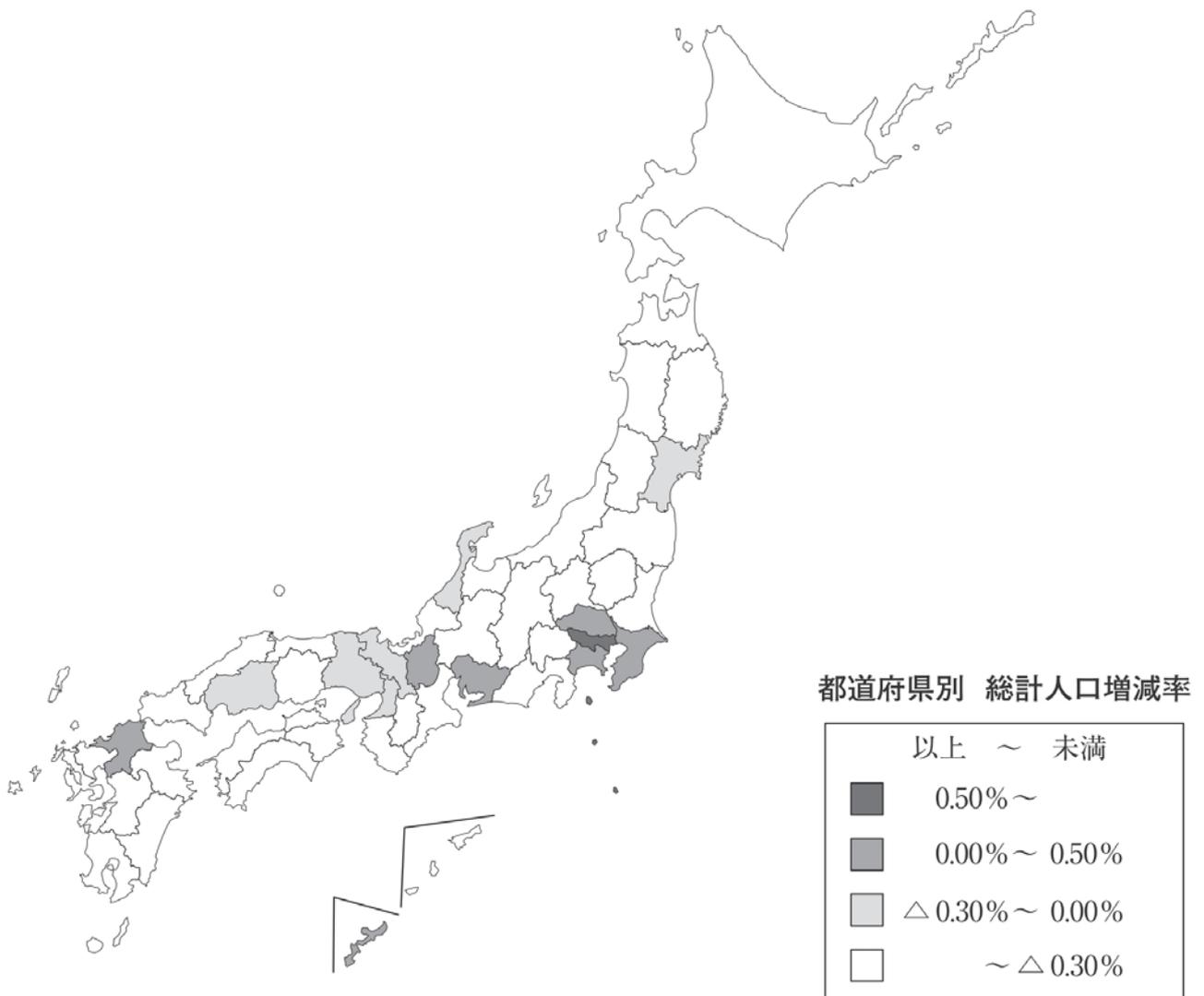


住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 (平成29年1月1日現在)



この資料は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき、平成29年1月1日現在の住民票に記載されている者の数（住民基本台帳人口）及び世帯数並びに平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間の人口動態（住民票の記載及び消除の数）についてとりまとめたものである。

※1 平成25年の調査から、平成24年7月9日より同法の対象となった外国人住民が含まれ、日本人住民と外国人住民の合計を「総計」と表示している。

※2 平成26年の調査から、調査期日を3月31日現在から1月1日現在に（人口動態は4月1日から3月31日までを1月1日から12月31日までに）変更している。

※3 平成27年の調査から、年齢階級別人口について、0歳から79歳までの5歳ごとの人口及び80歳以上の人口を、0歳から99歳までの5歳ごとの人口及び100歳以上の人口に変更している。

目次

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成29年1月1日現在）

1	人口及び人口動態	1
	(1) 全国の人口及び人口動態	1
	(2) 都道府県別の人口及び人口動態	10
	(3) 市区部及び町村部の人口及び人口動態	23
	(4) 市区町村別の人口	30
	(5) 三大都市圏及び地方圏の人口及び人口動態	44
2	年齢階級別人口	46
	(1) 全国の年齢階級別人口	46
	(2) 都道府県別の年齢階級別人口	52
	(3) 市区町村別の年齢階級別人口	59
3	世帯数	61

○本年の報道資料（資料1・2・集計結果）は、総務省ホームページ内の「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」に掲載

→ 検索サイトで「総務省 住基人口」で検索

○本年以前の集計結果は、「e-Stat（政府統計の総合窓口）」に掲載

→ 検索サイトで「住基人口 e-Stat」で検索

（いずれも平成29年7月5日17時以降掲載）

1 人口及び人口動態

(1) 全国の人口及び人口動態

<全国の人口、人口増減>

○全国の人口は、総計 1 億 2,790 万 7,086 人、

日本人住民 1 億 2,558 万 3,658 人、外国人住民 232 万 3,428 人

○日本人住民は、平成 21 年をピークに 8 年連続で減少。現行調査開始（昭和 43 年）以降最大の減少数

○外国人住民は、前年より増加。対前年で 6.85% 増と高い伸び

平成 29 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳に基づく全国の人口は、総計 1 億 2,790 万 7,086 人、日本人住民 1 億 2,558 万 3,658 人、外国人住民 232 万 3,428 人となっている。

日本人住民は、前年（1 億 2,589 万 1,742 人）に比べ 30 万 8,084 人減少し、平成 21 年をピークに 8 年連続で減少しており、現行調査開始（住民基本台帳制度の創設後の昭和 43 年）以降最大の減少数となった。

また、外国人住民は、前年（217 万 4,469 人）に比べ、14 万 8,959 人、6.85% の増加となっており、高い伸びを示している。（第 1-1～1-3 表、第 1 図参照）

全国人口の男女別の内訳をみると、総計では、男性は 6,239 万 4,275 人で構成比は 48.78%、女性は 6,551 万 2,811 人で構成比は 51.22% となっている。

日本人住民では、男性は 6,129 万 0,165 人で構成比は 48.80%、女性は 6,429 万 3,493 人で構成比は 51.20% となっている。

外国人住民では、男性は 110 万 4,110 人で構成比は 47.52%、女性は 121 万 9,318 人で構成比は 52.48% となっている。（第 2 表参照）

第 1-1 表 住民基本台帳人口の推移【総計】

区分	人口 人	対前年増減数 (A) 人	対前年増減率 %	(A)のうち 自然増減数 人	(A)のうち 社会増減数 人
平成 25 年 (25)	128,373,879 (128,684,379)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
26	128,438,013	△ 246,366	△ 0.19	△ 231,653	△ 14,713
27	128,226,483	△ 211,530	△ 0.16	△ 258,962	47,432
28	128,066,211	△ 160,272	△ 0.12	△ 278,799	118,527
29	127,907,086	△ 159,125	△ 0.12	△ 318,524	159,399

注 1) 平成 25 年人口は同年 3 月 31 日現在、平成 26 年以降の人口は各年 1 月 1 日現在の数値である。

注 2) 平成 25 年人口の()書きは、同年 1 月 1 日の人口である。

第1-2表 住民基本台帳人口の推移【日本人住民】

区分	人口 人	対前年増減数 (A) 人	対前年増減率 %	(A)のうち	
				自然増減数 人	社会増減数 人
昭和43年	101,988,020	642,733	0.63	—	—
44	102,747,274	759,254	0.74	—	—
45	103,521,912	774,638	0.75	—	—
46	104,539,680	1,017,768	0.98	—	—
47	105,854,519	1,314,839	1.26	—	—
48	108,202,038	2,347,519	2.22	—	—
(48)	(107,174,297)	(1,319,778)	(1.25)	—	—
49	109,574,348	1,372,310	1.27	—	—
50	110,948,837	1,374,489	1.25	—	—
51	112,145,133	1,196,296	1.08	—	—
52	113,225,921	1,080,788	0.96	—	—
53	114,275,833	1,049,912	0.93	—	—
54	115,286,775	1,010,942	0.88	—	—
55	116,194,898	908,123	0.79	917,152	△ 9,029
56	117,009,002	814,104	0.70	840,025	△ 25,921
57	117,776,771	767,769	0.66	799,322	△ 31,553
58	118,601,534	824,763	0.70	796,671	28,092
59	119,316,468	714,934	0.60	773,436	△ 58,502
60	120,007,812	691,344	0.58	739,841	△ 48,497
61	120,720,542	712,730	0.59	661,007	51,723
62	121,371,798	651,256	0.54	631,374	19,882
63	121,874,240	502,442	0.41	568,380	△ 65,938
平成 元年	122,335,313	461,073	0.38	517,711	△ 56,638
2	122,744,952	409,639	0.33	432,178	△ 22,539
3	123,156,678	411,726	0.34	401,225	10,501
4	123,587,297	430,619	0.35	389,620	40,999
5	123,957,458	370,161	0.30	333,266	36,895
6	124,322,801	365,343	0.29	334,353	30,990
7	124,655,498	332,697	0.27	323,067	9,630
8	124,914,373	258,875	0.21	295,656	△ 36,781
9	125,257,061	342,688	0.27	292,039	50,649
10	125,568,035	310,974	0.25	285,520	25,454
11	125,860,006	291,971	0.23	238,506	53,465
12	126,071,305	211,299	0.17	223,867	△ 12,568
13	126,284,805	213,500	0.17	237,518	△ 24,018
14	126,478,672	193,867	0.15	201,964	△ 8,097
15	126,688,364	209,692	0.17	143,541	66,151
16	126,824,166	135,802	0.11	118,052	17,750
17	126,869,397	45,231	0.04	52,980	△ 7,749
(17)	(127,058,530)	234,364	0.18	(—)	(—)
18	127,055,025	△ 3,505	△ 0.00	△ 6,748	3,243
19	127,053,471	△ 1,554	△ 0.00	10,743	△ 12,297
20	127,066,178	12,707	0.01	△ 29,119	41,826
21	127,076,183	10,005	0.01	△ 45,914	55,919
22	127,057,860	△ 18,323	△ 0.01	△ 73,024	54,701
23	126,923,410	△ 134,450	△ 0.11	△ 154,525	20,075
24	126,659,683	△ 263,727	△ 0.21	△ 206,572	△ 57,155
25	126,393,679	△ 266,004	△ 0.21	△ 226,118	△ 39,886
(25)	(126,678,648)	(—)	(—)	(—)	(—)
26	126,434,634	△ 244,014	△ 0.19	△ 237,450	△ 6,564
27	126,163,576	△ 271,058	△ 0.21	△ 266,757	△ 4,301
28	125,891,742	△ 271,834	△ 0.22	△ 286,098	14,264
29	125,583,658	△ 308,084	△ 0.24	△ 328,313	20,229

注1) 平成25年以前の人口は各年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値である。

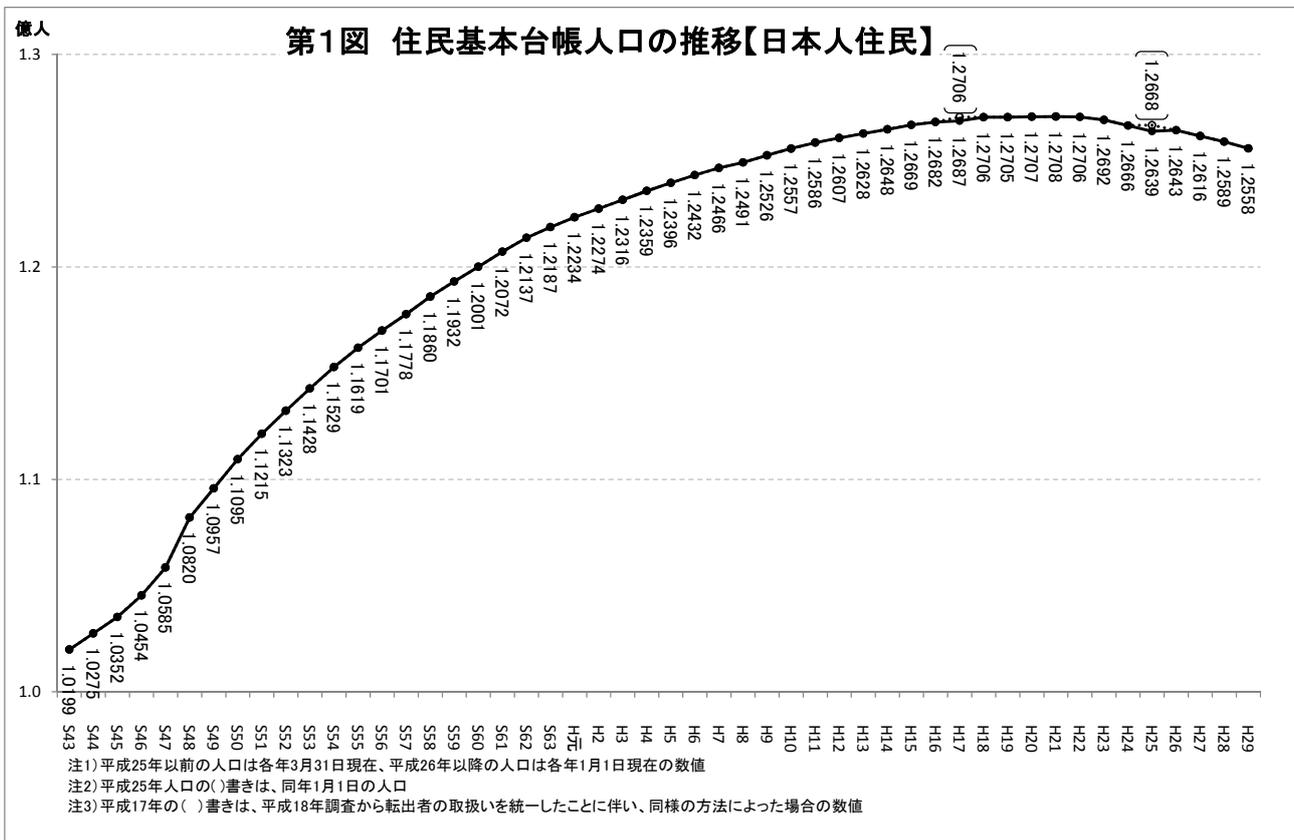
注2) 平成25年人口の()書きは、同年1月1日の人口である。

注3) 昭和48年以降は沖縄県の人口を含む。同年の()書は、昭和47年に復帰した沖縄県の人口を除いた場合の数値である。なお、人口動態の調査は昭和54年度以降行っている。

注4) 平成17年人口の()書きは、平成18年調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

注5) 平成23年人口において、岩手県陸前高田市の人口は同市の住民基本台帳システムが震災により流出したため平成23年2月28日現在の数値である。

※次表以降の人口及び世帯数においても同様である。



第1-3表 住民基本台帳人口の推移【外国人住民】

区分	人口 人	対前年増減数 (A) 人	対前年増減率 %	(A)のうち	(A)のうち
				自然増減数 人	社会増減数 人
平成 25年	1,980,200	—	—	—	—
(25)	(2,005,731)	(—)	(—)	(—)	(—)
26	2,003,379	△ 2,352	△ 0.12	5,797	△ 8,149
27	2,062,907	59,528	2.97	7,795	51,733
28	2,174,469	111,562	5.41	7,299	104,263
29	2,323,428	148,959	6.85	9,789	139,170

注1) 平成25年人口は同年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値である。
注2) 平成25年人口の()書きは、同年1月1日の人口である。

第2表 男女別人口及び男女構成比(平成29年人口)

	男性		女性		計
	人	%	人	%	
総計	62,394,275	48.78	65,512,811	51.22	127,907,086
日本人住民	61,290,165	48.80	64,293,493	51.20	125,583,658
外国人住民	1,104,110	47.52	1,219,318	52.48	2,323,428

<全国の自然増減>

○総計

自然減少数は拡大

○日本人住民

自然減少は10年連続。自然減少数は調査開始（昭和54年度）以降最大

出生者数は、調査開始以降最少で、100万人を切った

死亡者数は、調査開始以降最多

○外国人住民

自然増加数は拡大傾向にあり、調査開始（平成24年度）以降最大

出生者数は、調査開始以降最多

死亡者数は、増加傾向にあり、前年より増加

自然増減数（出生者数－死亡者数）は、総計では、△31万8,524人（前年△27万8,799人）で、自然減少数が拡大した（△3万9,725人）。

このうち、日本人住民の自然増減数は、△32万8,313人（前年△28万6,098人）であった。推移をみると、調査開始（昭和54年度）以降、平成5年度及び平成12年度を除き自然増加数が縮小し、平成17年度には自然減少に転じた。平成18年度に自然増加に戻ったものの、平成19年度に再び自然減少に転じた後、10年連続で自然減少となり、平成28年は調査開始（昭和54年度）以降最大の自然減少数となった。

日本人住民の出生者数は、減少傾向にあり、平成27年は増加に転じたが、平成28年は調査開始（昭和54年度）以降最少の98万1,202人となり、100万人を切った。

日本人住民の死亡者数は、増加傾向にあり、11年連続増加後、平成24年度は減少したが、平成28年は4年連続増加し、調査開始（昭和54年度）以降最多の130万9,515人となった。

外国人住民の自然増減数は、9,789人（前年7,299人）で、前年より自然増加数が拡大し、調査開始（平成24年度）以降最大となった。

外国人住民の出生者数は、増加傾向にあり、平成28年は前年より増加し、調査開始（平成24年度）以降最多の1万6,579人となった。

外国人住民の死亡者数は、増加傾向にあり、平成28年は前年より増加し、6,790人となった。

（第3-1～3-3表、第2-1～2-2図、第3-1～3-2図、第3-5図参照）

<全国の社会増減>

○総計

社会増加数は拡大

○日本人住民

社会増加数は拡大

転入者数及び転出者数は、減少に転じ、調査開始（昭和54年度）以降最少となった

○外国人住民

社会増加数は拡大

国外からの転入超過の状況が拡大

社会増減数（転入者数等－転出者数等）は、総計では、15万9,399人（前年11万8,527人）で、社会増加数が拡大した。

日本人住民の社会増減数は2万0,229人（前年1万4,264人）で、社会増加数が拡大した。転入者数及び転出者数は、ともに減少傾向で推移する中、近年はほぼ横ばいで、平成28年の転入者数は504万8,113人、転出者数は506万4,758人と、ともに減少に転じ、調査開始（昭和54年度）以降最少となった。

外国人住民の社会増減数は、13万9,170人（前年10万4,263人）で、前年より社会増加数が拡大した。国外からの転入者数－国外への転出者数は、25万1,499人（前年22万8,026人）で、前年より国外からの転入超過の状況が拡大した。（第3-1～3-3表、第2-1～2-2図、第3-3～3-4図、第3-6図参照）

第3-1表 人口増減の要因別内訳の推移【総計】

年度	出生者数		死亡者数		増減数		転入者数		転出者数		増減数	
	A	B	A	B	A-B	国内	国外	国内	国外	計	E+H	
平成24	1,039,574	1,260,777	△ 221,203	917,152	1,624,659	5,113,781	313,178	5,426,959	5,158,511	229,556	5,387,867	39,082
25	1,043,118	1,274,771	△ 231,653	840,025	1,550,802	5,282,167	399,454	5,302,369	2,673,982	5,570,351	111,270	104,417
26	1,015,003	1,276,965	△ 268,962	799,322	1,518,881	5,153,627	716,956	5,681,621	2,673,982	5,570,351	111,270	104,417
27	1,024,041	1,302,840	△ 278,799	706,671	1,513,627	5,228,319	457,537	5,683,302	2,733,842	5,502,161	137,141	95,840
28	997,781	1,316,305	△ 318,524	733,436	1,302,840	5,375,854	504,745	5,880,599	2,863,933	5,610,248	210,351	88,899
29	997,781	1,316,305	△ 318,524	733,436	1,302,840	5,244,795	539,074	5,783,869	5,254,978	291,774	5,546,752	237,117

注1)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間、平成25年度以降は各年1月1日から12月31日までの間の人口動態である。
注2)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間の人口動態である。
※次表以降の人口動態においても同様である。

第3-2表 人口増減の要因別内訳の推移【日本人住民】

年度	出生者数		死亡者数		増減数		転入者数		転出者数		増減数	
	A	B	A	B	A-B	国内	国外	国内	国外	計	F	
昭和54	1,624,659	707,507	917,152	7,545,832	1,624,659	7,545,832	7,525,089	20,863	339,155	339,155	369,047	
55	1,550,802	710,777	840,025	7,143,497	1,550,802	7,143,497	7,143,497	17,982	316,047	316,047	△ 29,892	
56	1,518,881	719,559	799,322	7,043,814	1,518,881	7,043,814	7,027,600	16,214	312,513	312,513	△ 43,903	
57	1,513,627	716,956	796,671	6,936,307	1,513,627	6,936,307	6,903,132	33,175	313,943	313,943	△ 47,767	
58	1,506,739	733,303	773,436	6,714,826	1,506,739	6,714,826	6,752,944	△ 38,118	319,772	319,772	△ 5,083	
59	1,468,467	728,626	739,841	6,586,072	1,468,467	6,586,072	6,603,584	△ 17,512	364,439	364,439	△ 20,384	
60	1,419,066	759,059	661,007	6,660,507	1,419,066	6,660,507	6,615,000	45,506	337,000	337,000	△ 30,865	
61	1,372,017	740,643	631,374	6,608,825	1,372,017	6,608,825	6,588,828	19,997	308,842	308,842	△ 11,115	
62	1,331,266	762,886	568,380	6,624,767	1,331,266	6,624,767	6,617,376	△ 24,381	284,432	284,432	△ 41,557	
63	1,303,147	785,436	517,711	6,575,273	1,303,147	6,575,273	6,603,969	△ 28,696	195,588	195,588	△ 56,638	
64	1,241,160	809,982	432,178	6,527,846	1,241,160	6,527,846	6,527,846	△ 2,007	139,461	139,461	△ 14,838	
1	1,215,241	814,016	401,225	6,528,839	1,215,241	6,528,839	6,585,587	△ 13,768	141,531	141,531	126,953	
2	1,225,559	836,939	389,620	6,545,540	1,225,559	6,545,540	6,537,682	7,858	124,747	124,747	27,631	
3	1,210,365	877,099	333,266	6,562,360	1,210,365	6,562,360	6,553,682	8,678	119,955	119,955	95,710	
4	1,197,862	863,509	334,353	6,668,494	1,197,862	6,668,494	6,653,682	14,812	119,955	119,955	29,837	
5	1,197,862	863,509	334,353	6,668,494	1,197,862	6,668,494	6,653,682	14,812	119,955	119,955	36,895	
6	1,238,853	915,786	323,067	6,731,479	1,238,853	6,731,479	6,753,229	△ 21,750	96,814	96,814	30,990	
7	1,182,216	886,560	295,656	6,563,701	1,182,216	6,563,701	6,628,993	△ 65,292	103,843	103,843	31,380	
8	1,208,579	913,075	292,039	6,784,149	1,208,579	6,784,149	6,719,387	64,762	95,183	95,183	△ 36,781	
9	1,198,595	913,075	285,520	6,432,423	1,198,595	6,432,423	6,492,673	△ 9,250	105,192	105,192	50,649	
10	1,206,956	969,450	238,506	6,376,432	1,206,956	6,376,432	6,349,485	26,947	108,508	108,508	34,704	
11	1,187,357	963,490	223,867	6,345,405	1,187,357	6,345,405	6,345,405	△ 35,139	105,373	105,373	25,454	
12	1,180,565	943,047	237,518	6,237,332	1,180,565	6,237,332	6,237,332	△ 44,983	105,568	105,568	53,465	
13	1,171,320	969,356	201,964	6,180,132	1,171,320	6,180,132	6,180,132	△ 26,551	106,287	106,287	12,297	
14	1,151,507	1,007,966	143,541	6,127,679	1,151,507	6,127,679	6,127,679	58,479	106,287	106,287	66,151	
15	1,129,239	1,011,187	118,052	6,086,710	1,129,239	6,086,710	5,889,437	△ 25,749	113,206	113,206	7,672	
16	1,104,062	1,051,082	52,980	5,752,181	1,104,062	5,752,181	5,752,181	19,855	107,333	107,333	18,000	
17	1,065,533	1,072,281	△ 6,748	5,688,042	1,065,533	5,688,042	5,722,036	△ 31,582	108,848	108,848	23,098	
18	1,091,917	1,081,174	10,743	5,719,624	1,091,917	5,719,624	5,719,624	31,582	108,848	108,848	3,243	
19	1,096,465	1,125,584	△ 29,119	5,627,314	1,096,465	5,627,314	5,604,537	22,777	88,772	88,772	19,049	
20	1,088,488	1,134,402	△ 45,914	5,510,512	1,088,488	5,510,512	5,485,513	24,999	86,772	86,772	31,020	
21	1,073,081	1,146,105	△ 73,024	5,324,052	1,073,081	5,324,052	5,324,052	22,577	91,543	91,543	32,124	
22	1,070,446	1,222,970	△ 154,525	5,147,812	1,070,446	5,147,812	5,151,307	△ 3,495	90,231	90,231	54,701	
23	1,049,553	1,256,125	△ 206,572	5,177,080	1,049,553	5,177,080	5,252,534	△ 75,454	83,827	83,827	20,075	
24	1,029,433	1,255,551	△ 226,118	5,068,173	1,029,433	5,068,173	5,137,166	△ 68,993	75,962	75,962	△ 57,155	
25	1,030,388	1,267,838	△ 237,450	5,005,058	1,030,388	5,005,058	5,164,139	△ 37,109	90,995	90,995	18,299	
26	1,003,554	1,270,311	△ 266,757	4,906,596	1,003,554	4,906,596	5,102,734	△ 38,943	9,840	9,840	30,545	
27	1,010,046	1,296,144	△ 286,098	5,037,557	1,010,046	5,037,557	5,223,525	△ 18,445	9,901	9,901	34,642	
28	981,202	1,309,515	△ 328,313	4,877,759	981,202	4,877,759	5,048,113	△ 16,645	66,934	66,934	14,264	
29	981,202	1,309,515	△ 328,313	4,877,759	981,202	4,877,759	5,048,113	△ 16,645	66,934	66,934	32,709	

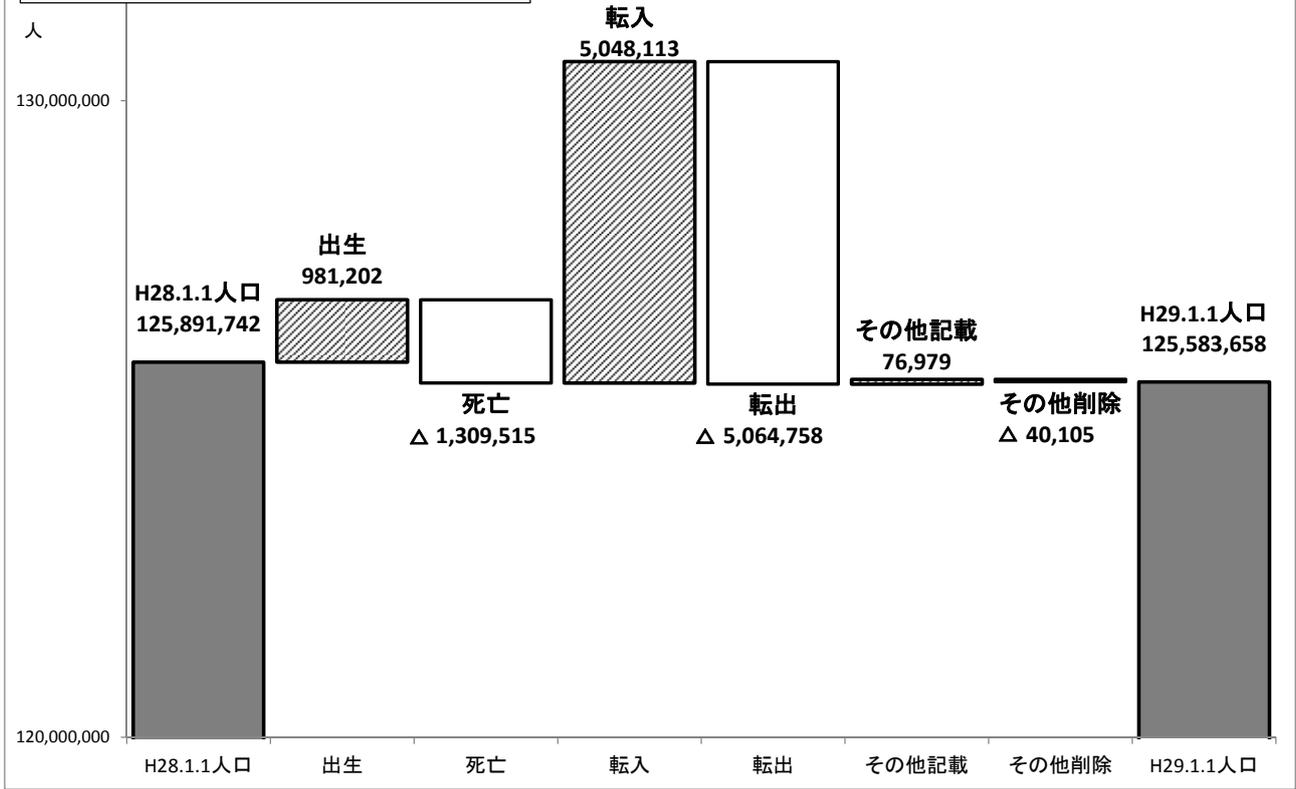
注1)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間の人口動態である。
注2)平成25年度以降は各年1月1日から12月31日までの間の人口動態である。
※次表以降の人口動態においても同様である。

第3-3表 人口増減の要因別内訳の推移【外国人住民】

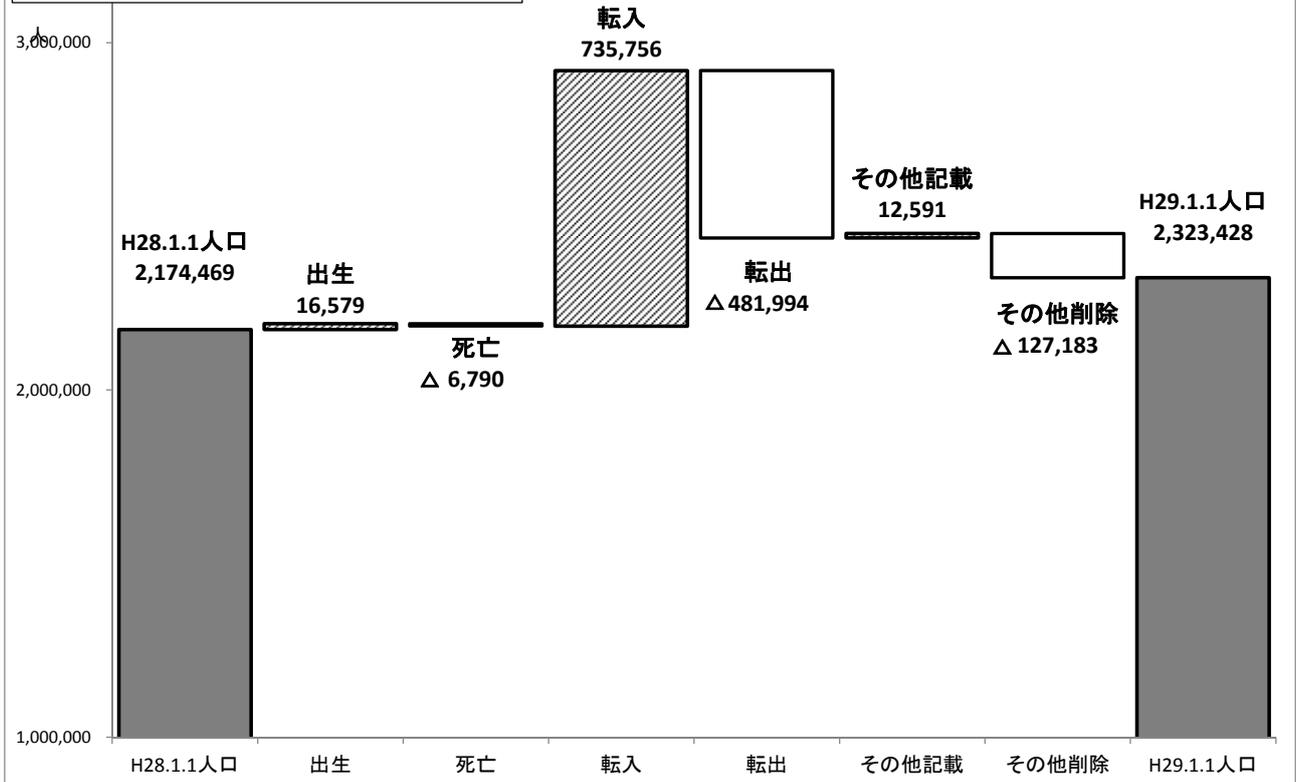
年度	出生者数		死亡者数		増減数		転入者数		転出者数		増減数	
	A	B	A-B	C	D	E	F	G	H	I	J	
平成24	10,141	5,226	4,915	184,977	173,809	358,786	185,930	64,771	250,701	108,085	231	2,020,581
25	12,730	6,933	5,797	277,109	240,373	517,482	274,763	94,340	369,103	146,379	449	2,169,676
26	14,449	6,654	7,795	285,169	280,342	575,511	297,868	101,559	399,427	176,084	486	1,857,040
27	13,995	6,696	7,299	338,297	337,222	675,519	337,527	109,196	446,723	253,792	434	1,061,717
28	16,579	6,790	9,789	367,036	368,720	735,756	364,773	117,221	481,994	288,966	150	1,244,117

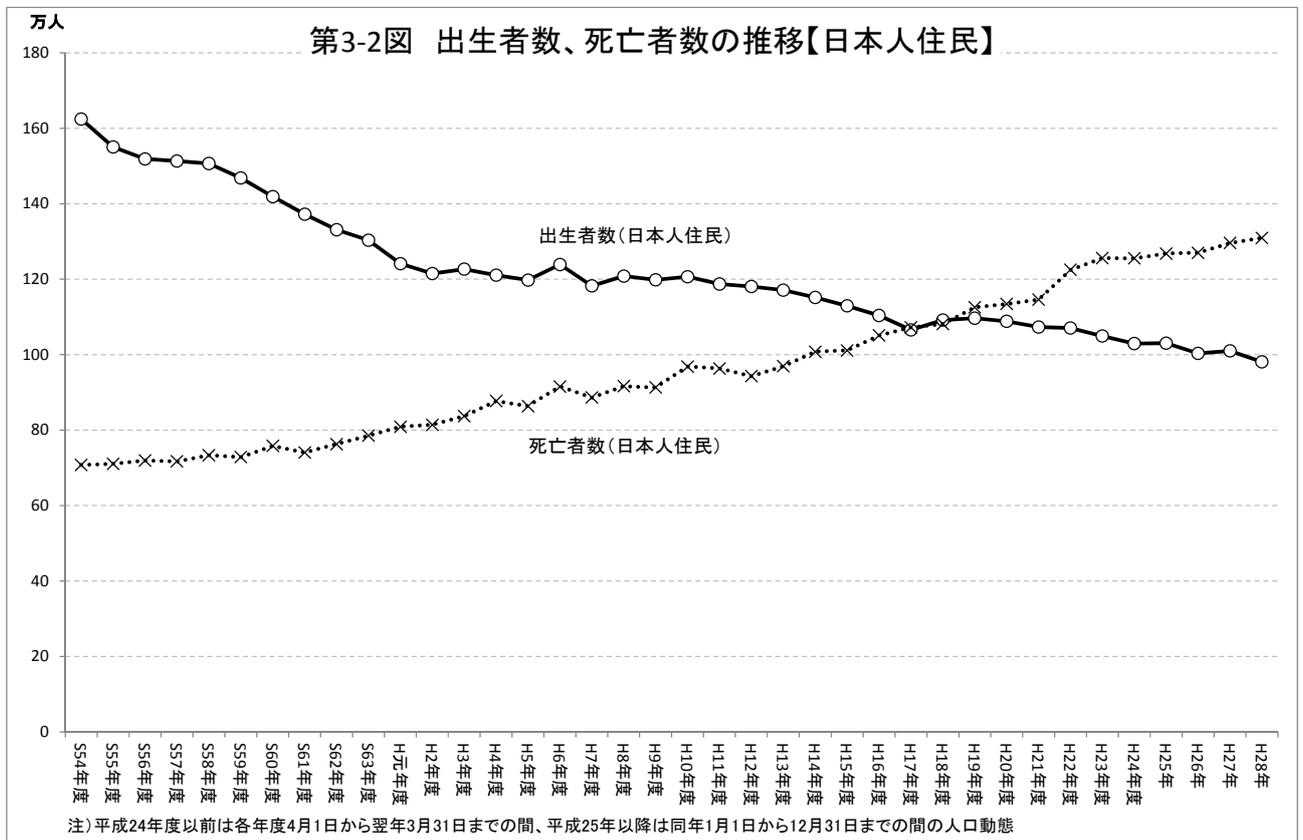
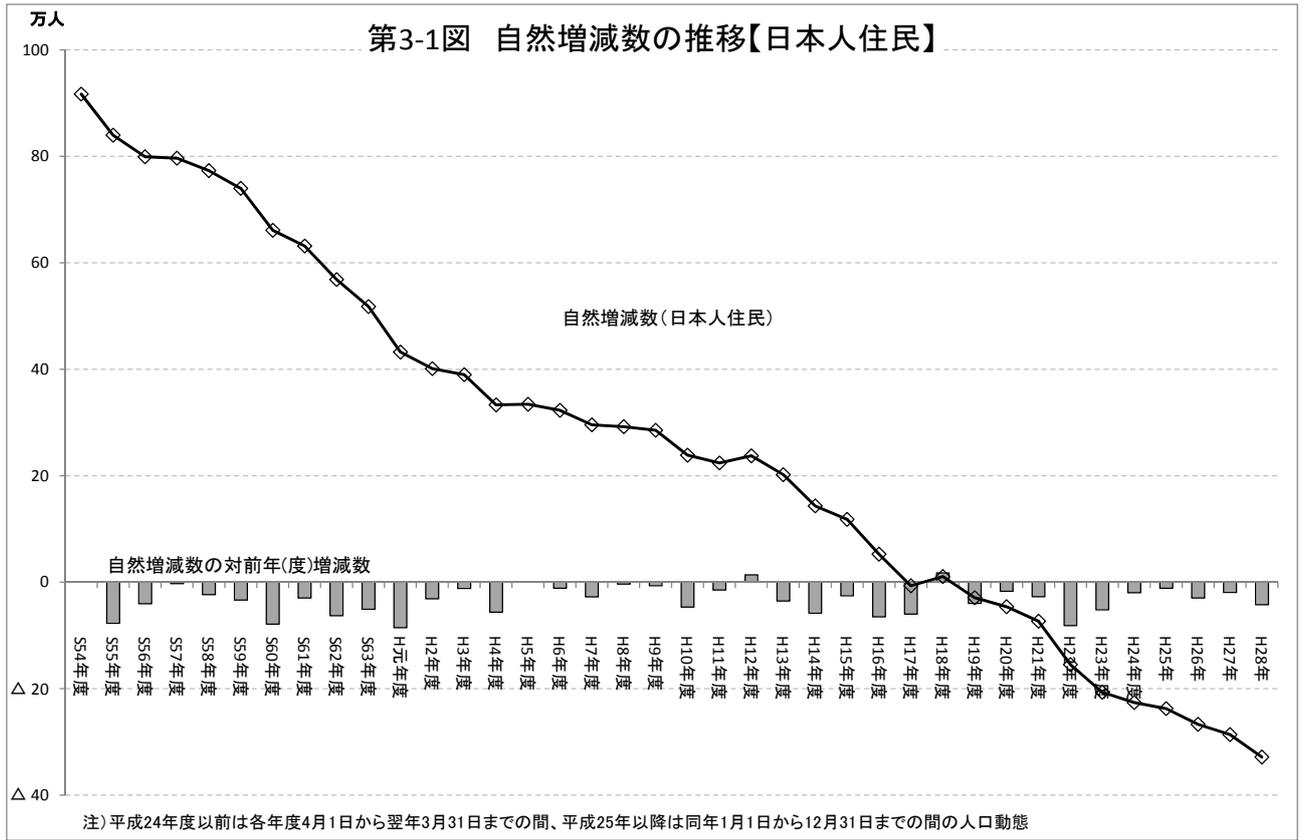
注1)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間の人口動態である。
注2)平成25年度以降は各年1月1日から12月31日までの間の人口動態である。
※次表以降の人口動態においても同様である。

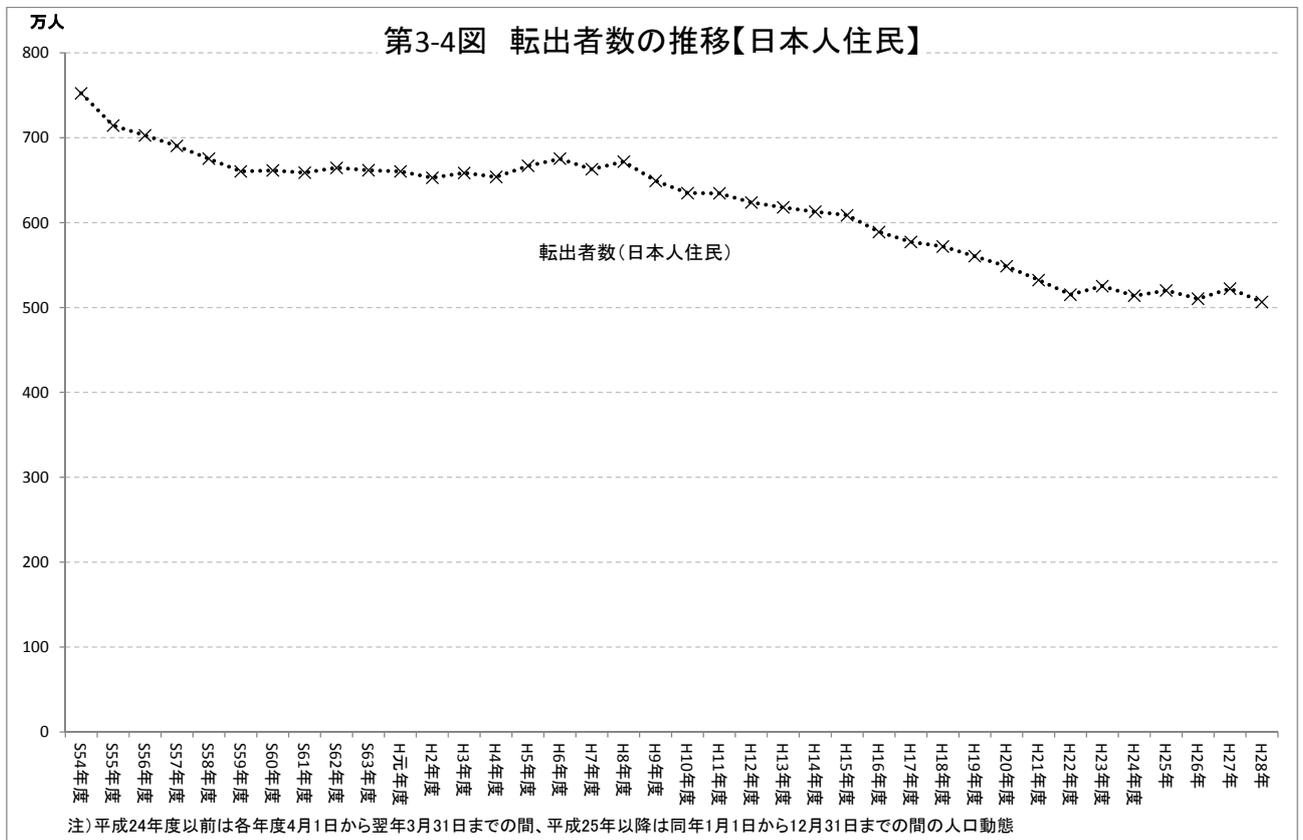
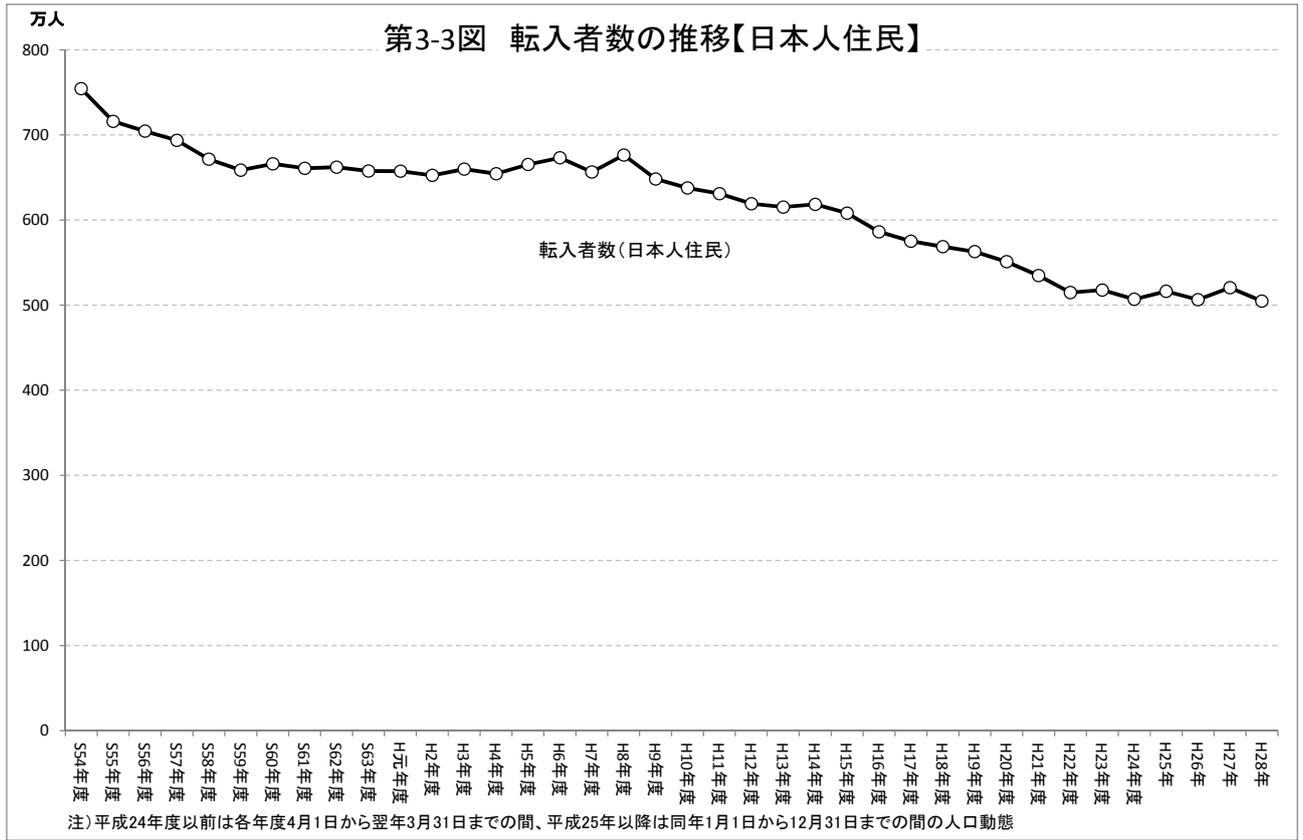
第2-1図 日本人住民の人口動態(平成28年中)

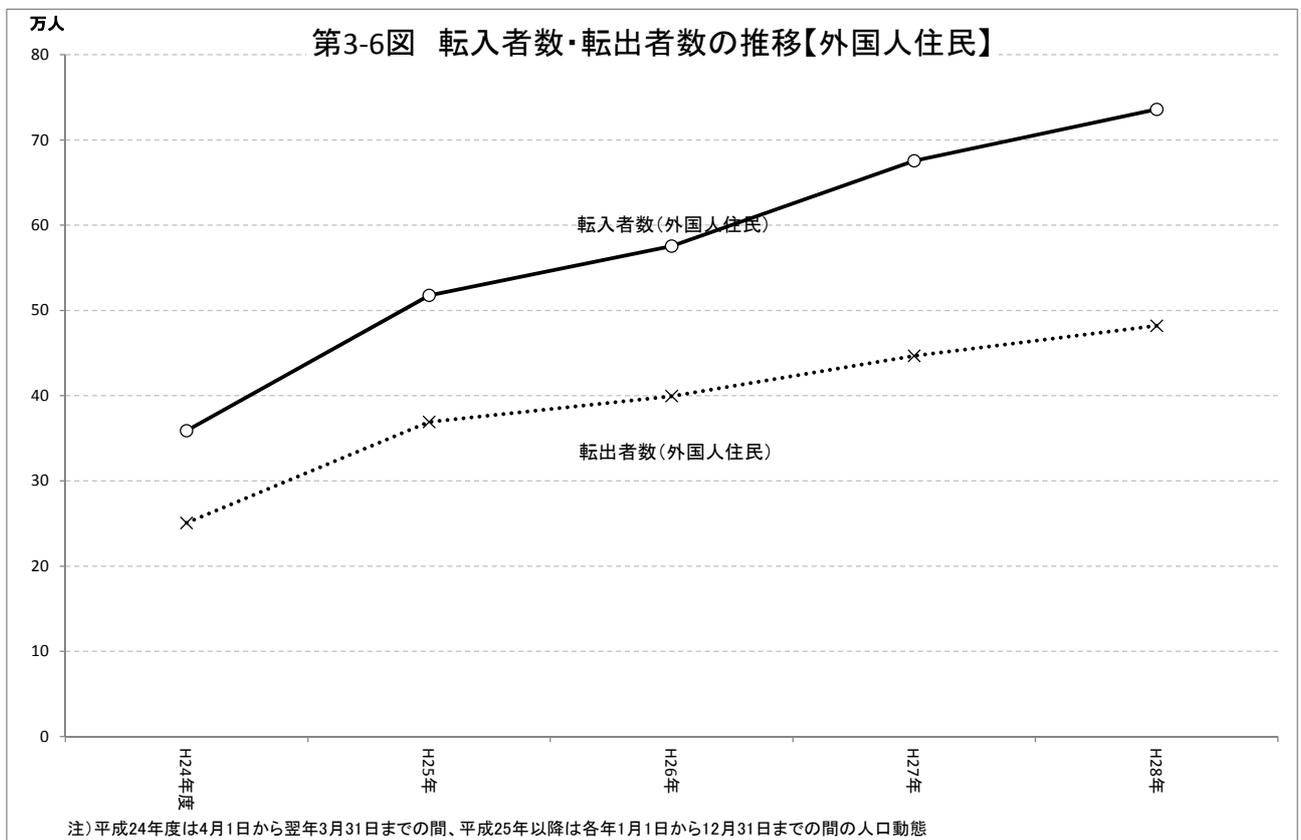
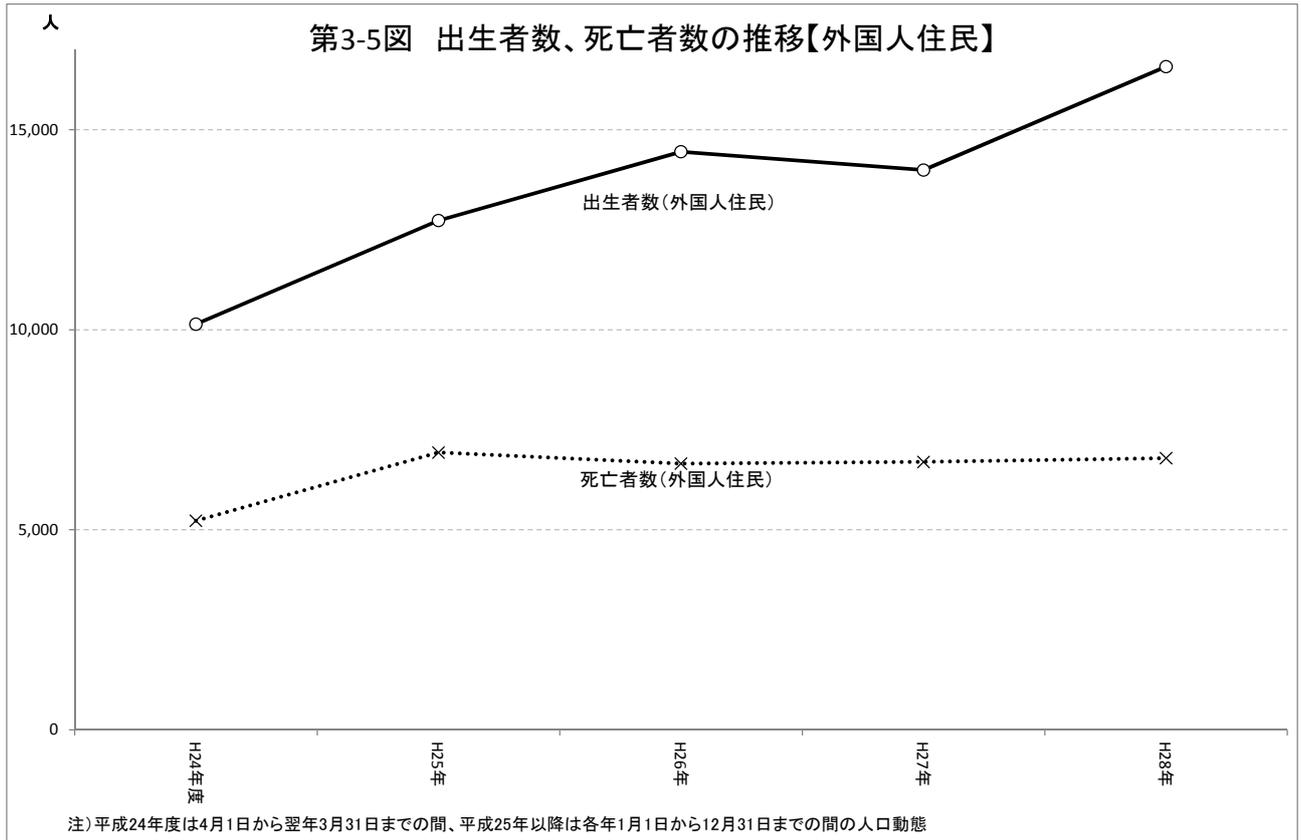


第2-2図 外国人住民の人口動態(平成28年中)









(2) 都道府県別の人口及び人口動態

- 総計及び日本人住民では、総人口の半分以上を上位9団体で占める
 ○外国人住民では、総人口の半分以上を上位5団体で占める

総計では、都道府県別の人口が最も多い団体は、東京都(1,353万0,053人)で、次いで神奈川県(915万5,389人)、大阪府(886万1,437人)の順となっている。

一方、人口が最も少ない団体は、鳥取県(57万5,264人)で、次いで島根県(69万6,382人)、高知県(73万2,535人)の順となっている。

なお、人口が多い東京都、神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県、千葉県、兵庫県、北海道及び福岡県の上位9団体で、全国人口の半分以上(53.80%)を占めている。(第4-1表、第5-1表、第4図参照)

第4-1表 人口の多い都道府県、少ない都道府県【総計】(平成29年人口)

人口の多い都道府県			人口の少ない都道府県		
順位	都道府県名	人口 人	順位	都道府県名	人口 人
1	東京都	13,530,053	1	鳥取県	575,264
2	神奈川県	9,155,389	2	島根県	696,382
3	大阪府	8,861,437	3	高知県	732,535
4	愛知県	7,532,231	4	徳島県	764,213
5	埼玉県	7,343,807	5	福井県	794,433
6	千葉県	6,283,602	6	佐賀県	837,977
7	兵庫県	5,606,545	7	山梨県	844,717
8	北海道	5,370,807	8	和歌山県	984,689
9	福岡県	5,126,389	9	香川県	997,811
10	静岡県	3,756,865	10	秋田県	1,029,196

日本人住民では、都道府県別の人口が最も多い団体は、東京都(1,304万3,707人)で、次いで神奈川県(896万9,530人)、大阪府(864万6,380人)の順となっている。

一方、人口が最も少ない団体は、鳥取県(57万1,173人)で、次いで島根県(68万9,603人)、高知県(72万8,616人)の順となっている。

なお、人口が多い東京都、神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県、千葉県、兵庫県、北海道及び福岡県の上位9団体で、全国人口の半分以上(53.52%)を占めている。平成4年までは、上位10団体で全国人口の半分以上を占めていたが、平成5年からは上位9団体で全国人口の半分以上を占めている。(第4-2表、第5-2表、第4図参照)

第4-2表 人口の多い都道府県、少ない都道府県【日本人住民】(平成29年人口)

人口の多い都道府県			人口の少ない都道府県		
順位	都道府県名	人口 人	順位	都道府県名	人口 人
1	東京都	13,043,707	1	鳥取県	571,173
2	神奈川県	8,969,530	2	島根県	689,603
3	大阪府	8,646,380	3	高知県	728,616
4	愛知県	7,315,013	4	徳島県	758,844
5	埼玉県	7,194,582	5	福井県	782,230
6	千葉県	6,152,877	6	山梨県	830,262
7	兵庫県	5,506,465	7	佐賀県	832,834
8	北海道	5,342,618	8	和歌山県	978,540
9	福岡県	5,062,176	9	香川県	987,146
10	静岡県	3,680,266	10	秋田県	1,025,559

外国人住民では、都道府県別の人口が最も多い団体は、東京都（48万6,346人）で、次いで愛知県（21万7,218人）、大阪府（21万5,057人）の順となっている。

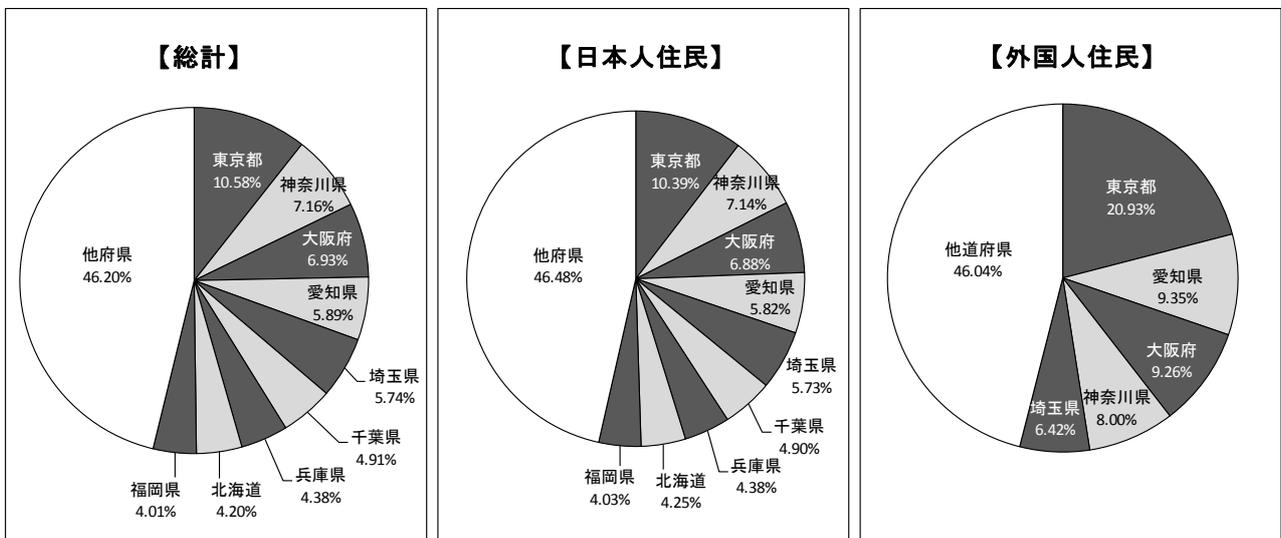
一方、人口が最も少ない団体は、秋田県（3,637人）で、次いで高知県（3,919人）、鳥取県（4,091人）の順となっている。

なお、人口が多い東京都、愛知県、大阪府、神奈川県及び埼玉県の上位5団体で、全国人口の半分以上（53.96%）を占めている。（第4-3表、第5-3表、第4図参照）

第4-3表 人口の多い都道府県、少ない都道府県【外国人住民】(平成29年人口)

人口の多い都道府県			人口の少ない都道府県		
順位	都道府県名	人口 人	順位	都道府県名	人口 人
1	東京都	486,346	1	秋田県	3,637
2	愛知県	217,218	2	高知県	3,919
3	大阪府	215,057	3	鳥取県	4,091
4	神奈川県	185,859	4	青森県	4,512
5	埼玉県	149,225	5	宮崎県	4,992
6	千葉県	130,725	6	佐賀県	5,143
7	兵庫県	100,080	7	徳島県	5,369
8	静岡県	76,599	8	和歌山県	6,149
9	福岡県	64,213	9	岩手県	6,168
10	茨城県	56,843	10	山形県	6,230

第4図 都道府県別人口構成比(平成29年人口)



第5-1表 住民基本台帳に基づく都道府県別の人口及び世帯数【総計】

都道府県名	人 口					世 帯			
	平29年1月1日	平28年1月1日	増減数	増減率	前年	平29年1月1日	1世帯平均	前年	
	人口数 A	人口数 B	A-B	A-B B	増減率 %	世帯数 C	構成人員 A/C	1世帯平均 構成人員	
	人	人	人	%	%	世帯	人	人	
北海道	5,370,807	5,401,210	△ 30,403	△ 0.56	△ 0.56	2,761,826	1.94	1.96	
青森県	1,323,861	1,338,465	△ 14,604	△ 1.09	△ 1.10	589,887	2.24	2.27	
岩手県	1,277,271	1,289,470	△ 12,199	△ 0.95	△ 0.88	523,065	2.44	2.48	
宮城県	2,319,438	2,324,466	△ 5,028	△ 0.22	△ 0.16	980,808	2.36	2.39	
秋田県	1,029,196	1,043,015	△ 13,819	△ 1.32	△ 1.28	426,020	2.42	2.45	
山形県	1,118,468	1,129,560	△ 11,092	△ 0.98	△ 0.98	411,919	2.72	2.75	
福島県	1,938,559	1,953,699	△ 15,140	△ 0.77	△ 0.59	779,244	2.49	2.52	
茨城県	2,960,458	2,970,231	△ 9,773	△ 0.33	△ 0.39	1,221,978	2.42	2.46	
栃木県	1,991,597	1,998,864	△ 7,267	△ 0.36	△ 0.28	817,370	2.44	2.47	
群馬県	1,998,275	2,005,320	△ 7,045	△ 0.35	△ 0.34	831,970	2.40	2.43	
埼玉県	7,343,807	7,323,413	20,394	0.28	0.25	3,212,080	2.29	2.31	
千葉県	6,283,602	6,265,899	17,703	0.28	0.19	2,811,702	2.23	2.26	
東京都	13,530,053	13,415,349	114,704	0.86	0.89	6,994,147	1.93	1.95	
神奈川県	9,155,389	9,136,151	19,238	0.21	0.21	4,236,072	2.16	2.18	
新潟県	2,300,923	2,319,435	△ 18,512	△ 0.80	△ 0.77	890,293	2.58	2.62	
富山県	1,074,705	1,080,160	△ 5,455	△ 0.51	△ 0.51	414,865	2.59	2.62	
石川県	1,153,627	1,157,042	△ 3,415	△ 0.30	△ 0.23	478,395	2.41	2.44	
福井県	794,433	799,220	△ 4,787	△ 0.60	△ 0.53	289,825	2.74	2.77	
山梨県	844,717	849,784	△ 5,067	△ 0.60	△ 0.67	356,363	2.37	2.40	
長野県	2,126,064	2,137,666	△ 11,602	△ 0.54	△ 0.50	861,074	2.47	2.50	
岐阜県	2,066,266	2,076,195	△ 9,929	△ 0.48	△ 0.55	809,888	2.55	2.58	
静岡県	3,756,865	3,770,619	△ 13,754	△ 0.36	△ 0.41	1,557,733	2.41	2.44	
愛知県	7,532,231	7,509,636	22,595	0.30	0.26	3,214,669	2.34	2.37	
三重県	1,841,753	1,850,028	△ 8,275	△ 0.45	△ 0.54	782,840	2.35	2.38	
滋賀県	1,420,260	1,419,863	397	0.03	△ 0.10	566,148	2.51	2.54	
京都府	2,569,410	2,574,842	△ 5,432	△ 0.21	△ 0.17	1,202,380	2.14	2.16	
大阪府	8,861,437	8,865,502	△ 4,065	△ 0.05	△ 0.04	4,223,735	2.10	2.12	
兵庫県	5,606,545	5,621,087	△ 14,542	△ 0.26	△ 0.31	2,507,945	2.24	2.26	
奈良県	1,380,181	1,387,818	△ 7,637	△ 0.55	△ 0.56	587,413	2.35	2.38	
和歌山県	984,689	994,317	△ 9,628	△ 0.97	△ 0.94	440,150	2.24	2.26	
鳥取県	575,264	579,309	△ 4,045	△ 0.70	△ 0.69	235,502	2.44	2.47	
島根県	696,382	701,394	△ 5,012	△ 0.71	△ 0.68	288,790	2.41	2.44	
岡山県	1,927,632	1,933,781	△ 6,149	△ 0.32	△ 0.31	835,989	2.31	2.33	
広島県	2,857,475	2,863,211	△ 5,736	△ 0.20	△ 0.21	1,300,322	2.20	2.22	
山口県	1,408,588	1,419,781	△ 11,193	△ 0.79	△ 0.82	659,804	2.13	2.16	
徳島県	764,213	770,057	△ 5,844	△ 0.76	△ 0.84	334,117	2.29	2.31	
香川県	997,811	1,002,173	△ 4,362	△ 0.44	△ 0.34	436,123	2.29	2.31	
愛媛県	1,405,325	1,415,997	△ 10,672	△ 0.75	△ 0.73	651,763	2.16	2.18	
高知県	732,535	740,059	△ 7,524	△ 1.02	△ 0.95	352,694	2.08	2.10	
福岡県	5,126,389	5,122,448	3,941	0.08	0.04	2,371,459	2.16	2.18	
佐賀県	837,977	842,457	△ 4,480	△ 0.53	△ 0.59	328,015	2.55	2.59	
長崎県	1,392,950	1,404,103	△ 11,153	△ 0.79	△ 0.64	635,020	2.19	2.22	
熊本県	1,798,149	1,810,343	△ 12,194	△ 0.67	△ 0.44	770,607	2.33	2.36	
大分県	1,176,891	1,183,961	△ 7,070	△ 0.60	△ 0.57	533,406	2.21	2.23	
宮崎県	1,119,544	1,128,078	△ 8,534	△ 0.76	△ 0.67	521,627	2.15	2.17	
鹿児島県	1,668,003	1,679,502	△ 11,499	△ 0.68	△ 0.71	807,169	2.07	2.09	
沖縄県	1,467,071	1,461,231	5,840	0.40	0.50	632,826	2.32	2.35	
合計	127,907,086	128,066,211	△ 159,125	△ 0.12	△ 0.12	57,477,037	2.23	2.25	

第5-2表 住民基本台帳に基づく都道府県別の人口及び世帯数【日本人住民】

都道府県名	人 口					世 帯							
	平29年1月1日 人 口 数 A	平28年1月1日 人 口 数 B	増減数 A-B	増減率 A-B B	前 年 増減率	平29年1月1日 日本人世帯数 C	平29年1月1日 複数国籍世帯数 D	平29年1月1日 C+D	1世帯平均 構成人員 A/C+D	前 年 1世帯平均 構成人員			
	人	人	人	%	%	世帯	世帯	世帯	人	人			
北海道	5,342,618	5,376,211	△	33,593	△	0.62	△	0.60	2,737,588	5,014	2,742,602	1.95	1.97
青森県	1,319,349	1,334,258	△	14,909	△	1.12	△	1.12	585,967	1,265	587,232	2.25	2.28
岩手県	1,271,103	1,283,607	△	12,504	△	0.97	△	0.91	517,611	1,973	519,584	2.45	2.48
宮城県	2,300,472	2,307,087	△	6,615	△	0.29	△	0.22	965,118	4,173	969,291	2.37	2.40
秋田県	1,025,559	1,039,436	△	13,877	△	1.34	△	1.29	422,838	1,286	424,124	2.42	2.45
山形県	1,112,238	1,123,509	△	11,271	△	1.00	△	0.99	406,486	2,841	409,327	2.72	2.75
福島県	1,926,751	1,942,854	△	16,103	△	0.83	△	0.64	769,158	3,969	773,127	2.49	2.53
茨城県	2,903,615	2,917,240	△	13,625	△	0.47	△	0.47	1,179,471	11,428	1,190,899	2.44	2.47
栃木県	1,955,876	1,965,319	△	9,443	△	0.48	△	0.40	791,484	7,467	798,951	2.45	2.48
群馬県	1,949,754	1,960,525	△	10,771	△	0.55	△	0.48	799,264	8,065	807,329	2.42	2.45
埼玉県	7,194,582	7,186,890	△	7,692	△	0.11	△	0.12	3,107,566	33,549	3,141,115	2.29	2.31
千葉県	6,152,877	6,145,670	△	7,207	△	0.12	△	0.05	2,714,318	32,341	2,746,659	2.24	2.26
東京都	13,043,707	12,966,307	△	77,400	△	0.60	△	0.67	6,630,982	87,171	6,718,153	1.94	1.95
神奈川県	8,969,530	8,961,724	△	7,806	△	0.09	△	0.12	4,106,955	44,001	4,150,956	2.16	2.18
新潟県	2,286,482	2,305,622	△	19,140	△	0.83	△	0.80	878,277	4,675	882,952	2.59	2.62
富山県	1,059,931	1,066,463	△	6,532	△	0.61	△	0.58	403,748	2,964	406,712	2.61	2.64
石川県	1,141,345	1,145,694	△	4,349	△	0.38	△	0.30	468,327	2,030	470,357	2.43	2.45
福井県	782,230	787,254	△	5,024	△	0.64	△	0.62	280,340	2,559	282,899	2.77	2.80
山梨県	830,262	836,015	△	5,753	△	0.69	△	0.72	345,978	3,490	349,468	2.38	2.40
長野県	2,094,757	2,107,214	△	12,457	△	0.59	△	0.54	837,259	9,153	846,412	2.47	2.50
岐阜県	2,019,491	2,032,055	△	12,564	△	0.62	△	0.59	778,151	6,608	784,759	2.57	2.60
静岡県	3,680,266	3,697,930	△	17,664	△	0.48	△	0.45	1,507,114	13,513	1,520,627	2.42	2.45
愛知県	7,315,013	7,307,924	△	7,089	△	0.10	△	0.15	3,068,785	36,165	3,104,950	2.36	2.38
三重県	1,798,308	1,808,398	△	10,090	△	0.56	△	0.57	753,913	5,682	759,595	2.37	2.39
滋賀県	1,395,217	1,396,024	△	807	△	0.06	△	0.13	549,034	3,958	552,992	2.52	2.55
京都府	2,515,005	2,521,866	△	6,861	△	0.27	△	0.23	1,160,967	9,665	1,170,632	2.15	2.17
大阪府	8,646,380	8,658,164	△	11,784	△	0.14	△	0.11	4,067,150	39,235	4,106,385	2.11	2.12
兵庫県	5,506,465	5,524,043	△	17,578	△	0.32	△	0.35	2,436,878	18,683	2,455,561	2.24	2.26
奈良県	1,368,900	1,376,964	△	8,064	△	0.59	△	0.57	578,719	2,705	581,424	2.35	2.38
和歌山県	978,540	988,335	△	9,795	△	0.99	△	0.96	435,017	1,988	437,005	2.24	2.26
鳥取県	571,173	575,418	△	4,245	△	0.74	△	0.71	232,119	1,114	233,233	2.45	2.48
島根県	689,603	695,113	△	5,510	△	0.79	△	0.77	283,437	1,281	284,718	2.42	2.45
岡山県	1,903,779	1,911,633	△	7,854	△	0.41	△	0.37	816,347	4,181	820,528	2.32	2.34
広島県	2,812,091	2,820,988	△	8,897	△	0.32	△	0.32	1,264,905	7,169	1,272,074	2.21	2.23
山口県	1,394,042	1,406,035	△	11,993	△	0.85	△	0.88	648,169	2,560	650,729	2.14	2.16
徳島県	758,844	765,106	△	6,262	△	0.82	△	0.85	329,370	1,165	330,535	2.30	2.32
香川県	987,146	992,511	△	5,365	△	0.54	△	0.42	427,250	1,638	428,888	2.30	2.32
愛媛県	1,394,413	1,405,873	△	11,460	△	0.82	△	0.80	642,082	1,597	643,679	2.17	2.19
高知県	728,616	736,391	△	7,775	△	1.06	△	0.97	349,227	956	350,183	2.08	2.10
福岡県	5,062,176	5,062,751	△	575	△	0.01	△	0.01	2,318,354	10,929	2,329,283	2.17	2.19
佐賀県	832,834	837,914	△	5,080	△	0.61	△	0.62	323,563	973	324,536	2.57	2.60
長崎県	1,381,794	1,393,539	△	11,745	△	0.84	△	0.83	624,879	1,621	626,500	2.21	2.23
熊本県	1,786,651	1,799,737	△	13,086	△	0.73	△	0.48	760,613	2,610	763,223	2.34	2.36
大分県	1,165,898	1,173,560	△	7,662	△	0.65	△	0.61	523,730	1,764	525,494	2.22	2.24
宮崎県	1,114,552	1,123,545	△	8,993	△	0.80	△	0.69	517,172	1,146	518,318	2.15	2.17
鹿児島県	1,660,215	1,672,370	△	12,155	△	0.73	△	0.74	800,189	2,192	802,381	2.07	2.09
沖縄県	1,453,208	1,448,656	△	4,552	△	0.31	△	0.38	621,326	3,861	625,187	2.32	2.36
合計	125,583,658	125,891,742	△	308,084	△	0.24	△	0.22	55,767,195	454,373	56,221,568	2.23	2.26

注)「複数国籍世帯」とは、日本人住民と外国人住民の混合世帯のことをいう。

第5-3表 住民基本台帳に基づく都道府県別の人口及び世帯数【外国人住民】

都道府県名	人 口					世 帯		
	平29年1月1日 人口数 A	平28年1月1日 人口数 B	増減数 A-B	増減率 $\frac{A-B}{B}$	前年 増減率	平29年1月1日 世帯数 C	1世帯平均 構成人員 A/C	前年 1世帯平均 構成人員
	人	人	人	%	%	世帯	人	人
北海道	28,189	24,999	3,190	12.76	9.16	19,224	1.47	1.53
青森県	4,512	4,207	305	7.25	5.68	2,655	1.70	1.82
岩手県	6,168	5,863	305	5.20	4.29	3,481	1.77	1.87
宮城県	18,966	17,379	1,587	9.13	8.93	11,517	1.65	1.73
秋田県	3,637	3,579	58	1.62	△ 0.33	1,896	1.92	1.96
山形県	6,230	6,051	179	2.96	0.48	2,592	2.40	2.53
福島県	11,808	10,845	963	8.88	7.94	6,117	1.93	2.11
茨城県	56,843	52,991	3,852	7.27	4.60	31,079	1.83	1.89
栃木県	35,721	33,545	2,176	6.49	7.29	18,419	1.94	2.02
群馬県	48,521	44,795	3,726	8.32	5.87	24,641	1.97	2.06
埼玉県	149,225	136,523	12,702	9.30	7.74	70,965	2.10	2.19
千葉県	130,725	120,229	10,496	8.73	7.94	65,043	2.01	2.09
東京都	486,346	449,042	37,304	8.31	7.57	275,994	1.76	1.81
神奈川県	185,859	174,427	11,432	6.55	5.07	85,116	2.18	2.25
新潟県	14,441	13,813	628	4.55	4.86	7,341	1.97	2.07
富山県	14,774	13,697	1,077	7.86	4.73	8,153	1.81	1.88
石川県	12,282	11,348	934	8.23	6.39	8,038	1.53	1.57
福井県	12,203	11,966	237	1.98	5.53	6,926	1.76	1.80
山梨県	14,455	13,769	686	4.98	2.73	6,895	2.10	2.17
長野県	31,307	30,452	855	2.81	2.17	14,662	2.14	2.30
岐阜県	46,775	44,140	2,635	5.97	1.52	25,129	1.86	1.91
静岡県	76,599	72,689	3,910	5.38	1.93	37,106	2.06	2.12
愛知県	217,218	201,712	15,506	7.69	4.70	109,719	1.98	2.03
三重県	43,445	41,630	1,815	4.36	0.87	23,245	1.87	1.90
滋賀県	25,043	23,839	1,204	5.05	1.19	13,156	1.90	1.99
京都府	54,405	52,976	1,429	2.70	2.65	31,748	1.71	1.75
大阪府	215,057	207,338	7,719	3.72	2.92	117,350	1.83	1.88
兵庫県	100,080	97,044	3,036	3.13	1.97	52,384	1.91	1.96
奈良県	11,281	10,854	427	3.93	0.57	5,989	1.88	1.95
和歌山県	6,149	5,982	167	2.79	2.66	3,145	1.96	2.01
鳥取県	4,091	3,891	200	5.14	2.48	2,269	1.80	1.86
島根県	6,779	6,281	498	7.93	10.06	4,072	1.66	1.68
岡山県	23,853	22,148	1,705	7.70	5.04	15,461	1.54	1.60
広島県	45,384	42,223	3,161	7.49	7.81	28,248	1.61	1.66
山口県	14,546	13,746	800	5.82	5.02	9,075	1.60	1.68
徳島県	5,369	4,951	418	8.44	0.22	3,582	1.50	1.53
香川県	10,665	9,662	1,003	10.38	9.14	7,235	1.47	1.51
愛媛県	10,912	10,124	788	7.78	10.19	8,084	1.35	1.39
高知県	3,919	3,668	251	6.84	4.62	2,511	1.56	1.63
福岡県	64,213	59,697	4,516	7.56	4.87	42,176	1.52	1.56
佐賀県	5,143	4,543	600	13.21	5.65	3,479	1.48	1.56
長崎県	11,156	10,564	592	5.60	31.69	8,520	1.31	1.33
熊本県	11,498	10,606	892	8.41	7.17	7,384	1.56	1.63
大分県	10,993	10,401	592	5.69	3.22	7,912	1.39	1.41
宮崎県	4,992	4,533	459	10.13	5.15	3,309	1.51	1.58
鹿児島県	7,788	7,132	656	9.20	7.49	4,788	1.63	1.70
沖縄県	13,863	12,575	1,288	10.24	15.37	7,639	1.81	1.89
合計	2,323,428	2,174,469	148,959	6.85	5.41	1,255,469	1.85	1.91

○総計に占める外国人住民の割合が最も大きいのは東京都

総計に占める外国人住民の割合の大きい上位4団体は、東京都（3.59%）、愛知県（2.88%）、群馬県（2.428%）、大阪府（2.427%）の順となっている。

一方、割合の小さい上位3団体は、青森県（0.34%）、秋田県（0.35%）、宮崎県（0.45%）の順となっている。（第6表参照）

第6表 総計に占める外国人住民の割合の大きい都道府県、小さい都道府県（平成29年人口）

割合の大きい都道府県			割合の小さい都道府県		
順位	都道府県名	割合(%)	順位	都道府県名	割合(%)
1	東京都	3.59%	1	青森県	0.34%
2	愛知県	2.88%	2	秋田県	0.35%
3	群馬県	2.428%	3	宮崎県	0.45%
4	大阪府	2.427%	4	鹿児島県	0.47%
5	三重県	2.36%	5	岩手県	0.48%
6	岐阜県	2.26%	6	北海道	0.52%
7	京都府	2.12%	7	高知県	0.53%
8	千葉県	2.08%	8	山形県	0.56%
9	静岡県	2.04%	9	福島県	0.609%
10	埼玉県	2.032%	10	佐賀県	0.614%

注)小数点第2位までの数値が同率のものは、小数点第3位以下まで表記している。
 ※次表以降の順位を示す表においても同様である。

<都道府県別：人口増減①>

○日本人住民では、6団体で人口増加、41団体で人口減少
人口増加数、人口増加率ともに東京都がトップ

○外国人住民では、全47団体で人口増加
人口増加数は東京都、人口増加率は佐賀県がそれぞれトップ

日本人住民について、都道府県別に人口増減の状況を見ると、人口が増加した団体は6団体で、前年と同数だった（前年と同じ団体）。

対前年の人口増加数が最も多いのは、東京都（7万7,400人）で、次いで神奈川県（7,806人）、埼玉県（7,692人）の順となっている。

人口増加率が最も大きいのは、東京都（0.60%）で、次いで沖縄県（0.31%）、千葉県（0.12%）の順で続いている。（第7-1表参照）

第7-1表 人口増加した都道府県【日本人住民】

順位	都道府県名	平成28年中 人口増減数 人	左 の 内 訳								順位	都道府県名	平成28年中 人口増減率 %	前年 (平成27年中)	
			自然増減			社会増減								都道府県名	人口増減率 %
			出生者数 A 人	死亡者数 B 人	増減数 A-B 人	転入者数 C 人	その他記載数 D 人	転出者数 E 人	その他消除数 F 人	増減数 C+D-(E+F) 人					
1	東京都	77,400 (86,164)	112,348	113,681	△ 1,333	836,018	12,476	763,476	6,285	78,733	1	東京都	0.60	東京都	0.67
2	神奈川県	7,806 (11,064)	71,114	77,698	△ 6,584	430,700	14,832	420,092	11,050	14,390	2	沖縄県	0.31	沖縄県	0.38
3	埼玉県	7,692 (8,713)	54,625	63,486	△ 8,861	302,471	4,987	285,718	5,187	16,553	3	千葉県	0.12	愛知県	0.15
4	千葉県	7,207 (2,953)	45,618	56,469	△ 10,851	268,154	3,669	252,200	1,565	18,058	4	埼玉県	0.11	神奈川県	0.124
5	愛知県	7,089 (10,632)	64,497	65,323	△ 826	307,226	3,888	301,968	1,231	7,915	5	愛知県	0.10	埼玉県	0.121
6	沖縄県	4,552 (5,533)	16,689	11,726	4,963	71,852	1,160	72,740	683	△ 411	6	神奈川県	0.09	千葉県	0.05

注) ()書きは平成27年中の数値である。
※第7-1～7-3表においても同様である。

一方、対前年の人口減少数が最も多いのは、北海道（△3万3,593人）で、次いで新潟県（△1万9,140人）、静岡県（△1万7,664人）の順で続いている。

人口減少率が最も大きいのは、秋田県（△1.34%）、次いで青森県（△1.12%）、高知県（△1.06%）の順で続いている。（第7-2表参照）

第7-2表 人口減少の多い都道府県【日本人住民】

順位	都道府県名	平成28年中 人口増減数 人	左 の 内 訳								順位	都道府県名	平成28年中 人口増減率 %	前年 (平成27年中)	
			自然増減			社会増減								都道府県名	人口増減率 %
			出生者数 A 人	死亡者数 B 人	増減数 A-B 人	転入者数 C 人	その他記載数 D 人	転出者数 E 人	その他消除数 F 人	増減数 C+D-(E+F) 人					
1	北海道	△ 33,593 (△ 32,545)	35,322	62,068	△ 26,746	244,324	2,033	252,349	855	△ 6,847	1	秋田県	△ 1.34	秋田県	△ 1.29
2	新潟県	△ 19,140 (△ 18,690)	15,801	28,823	△ 13,022	57,448	243	63,626	183	△ 6,118	2	青森県	△ 1.12	青森県	△ 1.12
3	静岡県	△ 17,664 (△ 16,860)	27,757	39,356	△ 11,599	122,970	1,381	129,936	480	△ 6,065	3	高知県	△ 1.06	山形県	△ 0.99
4	兵庫県	△ 17,578 (△ 19,128)	43,615	55,607	△ 11,992	193,752	2,961	201,424	875	△ 5,586	4	山形県	△ 1.00	高知県	△ 0.97
5	福島県	△ 16,103 (△ 12,485)	13,768	24,298	△ 10,530	53,536	806	59,603	312	△ 5,573	5	和歌山県	△ 0.99	和歌山県	△ 0.96
6	青森県	△ 14,909 (△ 15,097)	8,669	17,347	△ 8,678	34,318	492	40,751	290	△ 6,231	6	岩手県	△ 0.97	岩手県	△ 0.91
7	秋田県	△ 13,877 (△ 13,552)	5,680	15,260	△ 9,580	21,636	315	26,124	124	△ 4,297	7	山口県	△ 0.85	山口県	△ 0.88
8	茨城県	△ 13,625 (△ 13,872)	20,967	31,464	△ 10,497	92,985	1,106	96,712	507	△ 3,128	8	長崎県	△ 0.84	徳島県	△ 0.85
9	熊本県	△ 13,086 (△ 8,681)	14,992	21,399	△ 6,407	74,711	990	82,184	196	△ 6,679	9	新潟県	△ 0.830	長崎県	△ 0.83
10	岐阜県	△ 12,564 (△ 12,060)	14,901	22,507	△ 7,606	55,418	973	61,020	329	△ 4,958	10	福島県	△ 0.829	新潟県	△ 0.804

また、外国人住民について、都道府県別に人口増減の状況をみると、人口が増加した団体は全47団体（前年46団体）で、前年に比べて1団体増加した（1増：秋田県）。

人口増加数が最も多いのは、東京都（3万7,304人）で、次いで愛知県（1万5,506人）、埼玉県（1万2,702人）の順で続いている。

人口増加率が最も大きいのは、佐賀県（13.21%）で、次いで北海道（12.76%）、香川県（10.38%）の順で続いている。（第7-3表参照）

第7-3表 人口増加の多い都道府県【外国人住民】

順位	都道府県名	平成28年中 人口増減数 人	左 の 内 訳							前年 (平成27年中) 都道府県名 人口増減率 %	前年 (平成27年中) 都道府県名 人口増減率 %				
			自然増減			社会増減									
			出生者数 A 人	死亡者数 B 人	増減数 A-B 人	転入者数 C 人	その他記載数 D 人	転出者数 E 人	その他消 除数 F 人			増減数 C+D-(E+F) 人			
1	東京都 (31,600)	37,304	3,394	899	2,495	168,470	4,191	112,373	25,479	34,809	1	佐賀県	13.21	長崎県	31.69
2	愛知県 (9,058)	15,506	2,070	571	1,499	67,982	1,631	45,152	10,454	14,007	2	北海道	12.76	沖縄県	15.37
3	埼玉県 (9,804)	12,702	1,483	210	1,273	44,919	1,319	26,112	8,697	11,429	3	香川県	10.38	愛媛県	10.19
4	神奈川県 (8,421)	11,432	1,680	437	1,243	49,359	1,256	31,568	8,858	10,189	4	沖縄県	10.24	島根県	10.06
5	千葉県 (8,840)	10,496	1,038	220	818	45,286	486	29,866	6,228	9,678	5	宮崎県	10.13	北海道	9.16
6	大阪府 (5,883)	7,719	1,115	1,552 △	437	51,558	346	34,369	9,379	8,156	6	埼玉県	9.30	香川県	9.14
7	福岡県 (2,772)	4,516	452	206	246	24,442	206	16,361	4,017	4,270	7	鹿児島県	9.20	宮城県	8.93
8	静岡県 (1,373)	3,910	666	125	541	20,743	167	14,013	3,528	3,369	8	宮城県	9.13	福島県	7.943
9	茨城県 (2,330)	3,852	416	87	329	21,672	219	14,589	3,779	3,523	9	福島県	8.88	千葉県	7.936
10	群馬県 (2,484)	3,726	465	66	399	14,734	190	8,382	3,215	3,327	10	千葉県	8.73	広島県	7.81

一方、人口減少した団体はない（前年1団体）。

＜都道府県別：人口増減②＞

○各都道府県の平成25年～平成29年の対平成24年人口増減率（日本人住民）について、平成29年でプラスとなっているのは8団体。このうち7団体は5年ともプラスとなっている。

各都道府県の平成25年～平成29年の対平成24年人口増減率（日本人住民）については、平成29年の数値は、全国平均で△0.85%となっている。

平成29年の数値でプラスとなっているのは、東京都(2.71%)、沖縄県(2.13%)、愛知県(0.71%)、埼玉県(0.63%)、神奈川県(0.58%)、福岡県(0.25%)、千葉県(0.09%)、滋賀県(0.05%)の8団体（前回調査(対平成23年人口増減率)は7団体）で、前回調査に比べて1団体増加した（1増：千葉県）。

このうち千葉県を除く7団体は、5年ともプラスとなっている。

また、千葉県は平成29年からプラスに転じ、宮城県は平成29年からマイナスに転じた。（第8表参照）

第8表 直近5年の対平成24年人口増減率【日本人住民】

都道府県名	住民基本台帳人口(人)						人口増減率(対平成24年)(%)				
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
北海道	5,474,216	5,444,307	5,441,079	5,408,756	5,376,211	5,342,618	△ 0.55	△ 0.61	△ 1.20	△ 1.79	△ 2.40
青森県	1,383,043	1,368,246	1,363,963	1,349,355	1,334,258	1,319,349	△ 1.07	△ 1.38	△ 2.44	△ 3.53	△ 4.61
岩手県	1,317,795	1,309,009	1,305,990	1,295,341	1,283,607	1,271,103	△ 0.67	△ 0.90	△ 1.70	△ 2.59	△ 3.54
宮城県	2,302,706	2,304,889	2,314,509	2,312,179	2,307,087	2,300,472	0.09	0.51	0.41	0.19	△ 0.10
秋田県	1,086,018	1,072,625	1,066,538	1,052,988	1,039,436	1,025,559	△ 1.23	△ 1.79	△ 3.04	△ 4.29	△ 5.57
山形県	1,160,204	1,149,851	1,145,288	1,134,713	1,123,509	1,112,238	△ 0.89	△ 1.29	△ 2.20	△ 3.16	△ 4.13
福島県	1,991,865	1,971,142	1,966,594	1,955,339	1,942,854	1,926,751	△ 1.04	△ 1.27	△ 1.83	△ 2.46	△ 3.27
茨城県	2,960,010	2,947,879	2,944,064	2,931,112	2,917,240	2,903,615	△ 0.41	△ 0.54	△ 0.98	△ 1.44	△ 1.91
栃木県	1,988,755	1,981,584	1,980,414	1,973,150	1,965,319	1,955,876	△ 0.36	△ 0.42	△ 0.78	△ 1.18	△ 1.65
群馬県	1,990,944	1,982,831	1,979,094	1,969,892	1,960,525	1,949,754	△ 0.41	△ 0.60	△ 1.06	△ 1.53	△ 2.07
埼玉県	7,149,503	7,156,223	7,168,616	7,178,177	7,186,890	7,194,582	0.09	0.27	0.40	0.52	0.63
千葉県	6,147,619	6,136,250	6,141,503	6,142,717	6,145,670	6,152,877	△ 0.18	△ 0.10	△ 0.08	△ 0.03	0.09
東京都	12,699,271	12,757,445	12,807,627	12,880,143	12,966,307	13,043,707	0.46	0.85	1.42	2.10	2.71
神奈川県	8,917,368	8,924,132	8,940,001	8,950,660	8,961,724	8,969,530	0.08	0.25	0.37	0.50	0.58
新潟県	2,364,632	2,348,323	2,341,907	2,324,312	2,305,622	2,286,482	△ 0.69	△ 0.96	△ 1.71	△ 2.50	△ 3.30
富山県	1,087,544	1,081,665	1,078,692	1,072,631	1,066,463	1,059,931	△ 0.54	△ 0.81	△ 1.37	△ 1.94	△ 2.54
石川県	1,156,730	1,152,629	1,152,949	1,149,097	1,145,694	1,141,345	△ 0.35	△ 0.33	△ 0.66	△ 0.95	△ 1.33
福井県	803,180	798,939	797,066	792,166	787,254	782,230	△ 0.53	△ 0.76	△ 1.37	△ 1.98	△ 2.61
山梨県	855,746	850,375	848,292	842,099	836,015	830,262	△ 0.63	△ 0.87	△ 1.59	△ 2.31	△ 2.98
長野県	2,145,962	2,134,866	2,130,885	2,118,697	2,107,214	2,094,757	△ 0.52	△ 0.70	△ 1.27	△ 1.81	△ 2.39
岐阜県	2,068,942	2,058,652	2,054,702	2,044,115	2,032,055	2,019,491	△ 0.50	△ 0.69	△ 1.20	△ 1.78	△ 2.39
静岡県	3,750,571	3,735,526	3,731,920	3,714,790	3,697,930	3,680,266	△ 0.40	△ 0.50	△ 0.95	△ 1.40	△ 1.87
愛知県	7,263,173	7,273,013	7,288,942	7,297,292	7,307,924	7,315,013	0.14	0.35	0.47	0.62	0.71
三重県	1,838,613	1,830,584	1,827,576	1,818,842	1,808,398	1,798,308	△ 0.44	△ 0.60	△ 1.08	△ 1.64	△ 2.19
滋賀県	1,394,472	1,395,363	1,397,955	1,397,783	1,396,024	1,395,217	0.06	0.25	0.24	0.11	0.05
京都府	2,542,740	2,536,238	2,534,567	2,527,697	2,521,866	2,515,005	△ 0.26	△ 0.32	△ 0.59	△ 0.82	△ 1.09
大阪府	8,679,933	8,673,898	8,678,514	8,667,415	8,658,164	8,646,380	△ 0.07	△ 0.02	△ 0.14	△ 0.25	△ 0.39
兵庫県	5,572,405	5,564,824	5,560,378	5,543,171	5,524,043	5,506,465	△ 0.14	△ 0.22	△ 0.52	△ 0.87	△ 1.18
奈良県	1,401,243	1,394,729	1,392,193	1,384,855	1,376,964	1,368,900	△ 0.46	△ 0.65	△ 1.17	△ 1.73	△ 2.31
和歌山県	1,018,668	1,010,982	1,006,455	997,903	988,335	978,540	△ 0.75	△ 1.20	△ 2.04	△ 2.98	△ 3.94
鳥取県	588,715	584,602	583,274	579,554	575,418	571,173	△ 0.70	△ 0.92	△ 1.56	△ 2.26	△ 2.98
島根県	713,056	707,878	706,064	700,491	695,113	689,603	△ 0.73	△ 0.98	△ 1.76	△ 2.52	△ 3.29
岡山県	1,931,586	1,925,697	1,924,542	1,918,637	1,911,633	1,903,779	△ 0.30	△ 0.36	△ 0.67	△ 1.03	△ 1.44
広島県	2,846,680	2,836,043	2,838,523	2,829,993	2,820,988	2,812,091	△ 0.37	△ 0.29	△ 0.59	△ 0.90	△ 1.22
山口県	1,445,473	1,434,337	1,429,968	1,418,451	1,406,035	1,394,042	△ 0.77	△ 1.07	△ 1.87	△ 2.73	△ 3.56
徳島県	786,640	780,107	777,454	771,627	765,106	758,844	△ 0.83	△ 1.17	△ 1.91	△ 2.74	△ 3.53
香川県	1,006,488	1,002,650	1,001,667	996,717	992,511	987,146	△ 0.38	△ 0.48	△ 0.97	△ 1.39	△ 1.92
愛媛県	1,441,291	1,431,445	1,427,866	1,417,179	1,405,873	1,394,413	△ 0.68	△ 0.93	△ 1.67	△ 2.46	△ 3.25
高知県	759,680	752,845	750,927	743,616	736,391	728,616	△ 0.90	△ 1.15	△ 2.11	△ 3.07	△ 4.09
福岡県	5,049,457	5,053,473	5,063,541	5,063,272	5,062,751	5,062,176	0.08	0.28	0.27	0.26	0.25
佐賀県	853,363	849,230	848,040	843,124	837,914	832,834	△ 0.48	△ 0.62	△ 1.20	△ 1.81	△ 2.41
長崎県	1,431,485	1,420,145	1,416,850	1,405,133	1,393,539	1,381,794	△ 0.79	△ 1.02	△ 1.84	△ 2.65	△ 3.47
熊本県	1,822,331	1,816,579	1,816,276	1,808,418	1,799,737	1,786,651	△ 0.32	△ 0.33	△ 0.76	△ 1.24	△ 1.96
大分県	1,196,804	1,189,981	1,188,155	1,180,721	1,173,560	1,165,898	△ 0.57	△ 0.72	△ 1.34	△ 1.94	△ 2.58
宮崎県	1,143,744	1,137,558	1,138,313	1,131,341	1,123,545	1,114,552	△ 0.54	△ 0.47	△ 1.08	△ 1.77	△ 2.55
鹿児島県	1,706,081	1,695,273	1,696,759	1,684,792	1,672,370	1,660,215	△ 0.63	△ 0.55	△ 1.25	△ 1.98	△ 2.69
沖縄県	1,422,938	1,428,817	1,438,472	1,443,123	1,448,656	1,453,208	0.41	1.09	1.42	1.81	2.13
合計	126,659,683	126,393,679	126,434,964	126,163,576	125,891,742	125,583,658	△ 0.21	△ 0.18	△ 0.39	△ 0.61	△ 0.85

注)平成25年以前の人口は各年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値

＜都道府県別：自然増減①＞

- 日本人住民では、1団体で自然増加、46団体で自然減少
自然増加数、自然増加率がプラスの団体はともに沖縄県のみ
- 外国人住民では、39団体で自然増加、8団体で自然減少
自然増加数は東京都、自然増加率は埼玉県がそれぞれトップ

日本人住民では、人口が自然増加となっているのは、1団体（前年4団体）で、前年に比べて3団体減少した（3減：東京都・愛知県・滋賀県）。

自然増加数がプラスの団体は沖縄県（4,963人）のみとなっている。

自然増加率がプラスの団体は沖縄県（0.34%）のみで、調査開始（昭和54年度）以降38年連続してトップとなっている。（第9-1表参照）

また、自然減少数が最も多いのは北海道（△2万6,746人）で、次いで大阪府（△1万5,455人）、新潟県（△1万3,022人）の順で続いている。

自然減少率が最も大きいのは秋田県（△0.92%）で、次いで高知県（△0.75%）、山形県（△0.68%）の順で続いている。（第9-2表参照）

第9-1表 自然増加した都道府県【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	沖縄県	4,963	1	沖縄県	0.34

第9-2表 自然減少の多い都道府県【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	北海道	△ 26,746	1	秋田県	△ 0.92
2	大阪府	△ 15,455	2	高知県	△ 0.75
3	新潟県	△ 13,022	3	山形県	△ 0.68
4	兵庫県	△ 11,992	4	岩手県	△ 0.67
5	静岡県	△ 11,599	5	青森県	△ 0.65
6	千葉県	△ 10,851	6	島根県	△ 0.62
7	福島県	△ 10,530	7	山口県	△ 0.603
8	茨城県	△ 10,497	8	和歌山県	△ 0.602
9	長野県	△ 9,933	9	徳島県	△ 0.59
10	秋田県	△ 9,580	10	新潟県	△ 0.565

次に外国人住民では、人口が自然増加となっているのは、39団体（前年38団体）で、前年に比べて1団体増加した（3増：秋田県・奈良県・鳥取県、2減：岩手県・高知県）。

自然増加数が最も多いのは東京都（2,495人）で、次いで愛知県（1,499人）、埼玉県（1,273人）の順で続いている。

自然増加率が最も大きいのは埼玉県（0.93%）で、次いで群馬県（0.89%）、静岡県（0.744%）の順で続いている。（第9-3表参照）

また、自然減少数が最も多いのは大阪府（△437人）で、次いで京都府（△139人）、兵庫県（△130人）の順で続いている。

自然減少率が最も大きいのは和歌山県（△0.48%）で、次いで山口県（△0.47%）、京都府（△0.26%）の順で続いている。（第9-4表参照）

第9-3表 自然増加の多い都道府県【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	東京都	2,495	1	埼玉県	0.93
2	愛知県	1,499	2	群馬県	0.89
3	埼玉県	1,273	3	静岡県	0.744
4	神奈川県	1,243	4	愛知県	0.743
5	千葉県	818	5	神奈川県	0.71
6	静岡県	541	6	三重県	0.70
7	群馬県	399	7	千葉県	0.68
8	茨城県	329	8	栃木県	0.67
9	三重県	292	9	茨城県	0.6209
10	岐阜県	250	10	富山県	0.6206

第9-4表 自然減少した都道府県【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	大阪府	△ 437	1	和歌山県	△ 0.48
2	京都府	△ 139	2	山口県	△ 0.47
3	兵庫県	△ 130	3	京都府	△ 0.26
4	山口県	△ 65	4	大阪府	△ 0.21
5	和歌山県	△ 29	5	兵庫県	△ 0.13
6	青森県	△ 4	6	青森県	△ 0.10
7	岩手県	△ 2	7	高知県	△ 0.05
7	高知県	△ 2	8	岩手県	△ 0.03

＜都道府県別：自然増減②＞

○直近5年の自然増減数（日本人住民）について、5年ともプラスとなっているのは1団体

自然増減数（日本人住民）の直近5年の推移をみると、5年ともプラスとなっているのは、沖縄県の1団体（前年3団体）で、前年に比べ2団体減少した（2減：愛知県・滋賀県）。

また、愛知県及び滋賀県は平成28年からマイナスに転じた。（第10表参照）

第10表 自然増減数・率の推移（直近5年）【日本人住民】

都道府県名	自然増減数(人)					自然増減率(%)				
	平成24年度中	平成25年中	平成26年中	平成27年中	平成28年中	平成24年度中	平成25年中	平成26年中	平成27年中	平成28年中
北海道	△ 20,364	△ 21,211	△ 23,036	△ 24,173	△ 26,746	△0.37	△0.39	△0.42	△0.45	△0.50
青森県	△ 8,232	△ 7,995	△ 8,179	△ 8,602	△ 8,678	△0.60	△0.58	△0.60	△0.64	△0.65
岩手県	△ 6,591	△ 6,732	△ 7,467	△ 7,721	△ 8,630	△0.50	△0.51	△0.57	△0.60	△0.67
宮城県	△ 3,333	△ 3,300	△ 4,768	△ 5,175	△ 6,080	△0.14	△0.14	△0.21	△0.22	△0.26
秋田県	△ 8,623	△ 8,633	△ 9,085	△ 8,976	△ 9,580	△0.79	△0.80	△0.85	△0.85	△0.92
山形県	△ 6,567	△ 6,855	△ 7,013	△ 7,171	△ 7,653	△0.57	△0.60	△0.61	△0.63	△0.68
福島県	△ 9,752	△ 9,145	△ 9,002	△ 10,179	△ 10,530	△0.49	△0.46	△0.46	△0.52	△0.54
茨城県	△ 7,025	△ 8,038	△ 8,317	△ 9,431	△ 10,497	△0.24	△0.27	△0.28	△0.32	△0.36
栃木県	△ 4,956	△ 4,983	△ 5,320	△ 5,136	△ 6,821	△0.25	△0.25	△0.27	△0.26	△0.35
群馬県	△ 6,231	△ 6,899	△ 6,918	△ 7,302	△ 8,410	△0.31	△0.35	△0.35	△0.37	△0.43
埼玉県	△ 2,356	△ 2,534	△ 5,329	△ 5,838	△ 8,861	△0.03	△0.04	△0.07	△0.08	△0.12
千葉県	△ 4,433	△ 5,211	△ 7,024	△ 9,192	△ 10,851	△0.07	△0.08	△0.11	△0.15	△0.18
東京都	△ 2,609	△ 1,578	△ 147	1,450	△ 1,333	△0.02	△0.01	△0.00	0.01	△0.01
神奈川県	2,668	1,416	△ 1,266	△ 2,390	△ 6,584	0.03	0.02	△0.01	△0.03	△0.07
新潟県	△ 10,836	△ 11,333	△ 11,849	△ 12,036	△ 13,022	△0.46	△0.48	△0.51	△0.52	△0.56
富山県	△ 4,910	△ 4,793	△ 5,022	△ 5,199	△ 5,565	△0.45	△0.44	△0.47	△0.48	△0.52
石川県	△ 2,796	△ 2,778	△ 3,228	△ 3,283	△ 3,536	△0.24	△0.24	△0.28	△0.29	△0.31
福井県	△ 2,235	△ 2,306	△ 2,648	△ 2,730	△ 3,126	△0.28	△0.29	△0.33	△0.34	△0.40
山梨県	△ 3,238	△ 3,243	△ 3,686	△ 3,649	△ 3,766	△0.38	△0.38	△0.43	△0.43	△0.45
長野県	△ 8,668	△ 7,981	△ 8,805	△ 9,011	△ 9,933	△0.40	△0.37	△0.41	△0.43	△0.47
岐阜県	△ 5,012	△ 5,488	△ 6,390	△ 6,575	△ 7,606	△0.24	△0.27	△0.31	△0.32	△0.37
静岡県	△ 7,642	△ 8,079	△ 9,569	△ 11,306	△ 11,599	△0.20	△0.22	△0.26	△0.30	△0.31
愛知県	6,583	4,380	2,943	1,432	△ 826	0.09	0.06	0.04	0.02	△0.01
三重県	△ 4,527	△ 5,166	△ 5,812	△ 6,217	△ 6,707	△0.25	△0.28	△0.32	△0.34	△0.37
滋賀県	820	805	526	66	△ 413	0.06	0.06	0.04	0.00	△0.03
京都府	△ 5,244	△ 5,244	△ 5,873	△ 5,916	△ 6,466	△0.21	△0.21	△0.23	△0.23	△0.26
大阪府	△ 8,410	△ 9,708	△ 11,637	△ 13,207	△ 15,455	△0.10	△0.11	△0.13	△0.15	△0.18
兵庫県	△ 7,873	△ 8,472	△ 9,800	△ 11,483	△ 11,992	△0.14	△0.15	△0.18	△0.21	△0.22
奈良県	△ 3,307	△ 3,854	△ 4,201	△ 4,175	△ 4,622	△0.24	△0.28	△0.30	△0.30	△0.34
和歌山県	△ 5,192	△ 5,628	△ 5,568	△ 5,588	△ 5,950	△0.51	△0.56	△0.55	△0.56	△0.60
鳥取県	△ 2,504	△ 2,527	△ 2,580	△ 2,635	△ 2,915	△0.43	△0.43	△0.44	△0.45	△0.51
島根県	△ 3,920	△ 4,057	△ 3,958	△ 4,080	△ 4,277	△0.55	△0.57	△0.56	△0.58	△0.62
岡山県	△ 5,088	△ 4,967	△ 5,310	△ 5,928	△ 6,063	△0.26	△0.26	△0.28	△0.31	△0.32
広島県	△ 4,273	△ 4,613	△ 5,634	△ 6,369	△ 7,220	△0.15	△0.16	△0.20	△0.23	△0.26
山口県	△ 7,095	△ 7,748	△ 7,729	△ 7,937	△ 8,479	△0.49	△0.54	△0.54	△0.56	△0.60
徳島県	△ 4,204	△ 4,349	△ 4,346	△ 4,307	△ 4,501	△0.53	△0.56	△0.56	△0.56	△0.59
香川県	△ 3,264	△ 3,404	△ 3,768	△ 3,945	△ 4,364	△0.32	△0.34	△0.38	△0.40	△0.44
愛媛県	△ 6,392	△ 6,722	△ 7,176	△ 7,503	△ 7,820	△0.44	△0.47	△0.50	△0.53	△0.56
高知県	△ 5,041	△ 4,943	△ 4,993	△ 4,944	△ 5,523	△0.66	△0.66	△0.66	△0.66	△0.75
福岡県	△ 3,392	△ 3,544	△ 4,056	△ 5,201	△ 6,951	△0.07	△0.07	△0.08	△0.10	△0.14
佐賀県	△ 2,394	△ 2,371	△ 2,553	△ 2,669	△ 2,889	△0.28	△0.28	△0.30	△0.32	△0.34
長崎県	△ 5,392	△ 5,695	△ 5,746	△ 5,836	△ 6,248	△0.38	△0.40	△0.41	△0.42	△0.45
熊本県	△ 4,459	△ 4,295	△ 4,907	△ 5,172	△ 6,407	△0.24	△0.24	△0.27	△0.29	△0.36
大分県	△ 4,366	△ 4,271	△ 4,811	△ 4,881	△ 5,203	△0.36	△0.36	△0.40	△0.41	△0.44
宮崎県	△ 3,329	△ 3,075	△ 3,566	△ 4,358	△ 4,726	△0.29	△0.27	△0.31	△0.39	△0.42
鹿児島県	△ 6,215	△ 6,522	△ 7,197	△ 7,302	△ 7,852	△0.36	△0.38	△0.42	△0.43	△0.47
沖縄県	6,101	6,239	5,063	5,682	4,963	0.43	0.44	0.35	0.39	0.34
全国	△ 226,118	△ 237,450	△ 266,757	△ 286,098	△ 328,313	△0.18	△0.19	△0.21	△0.23	△0.26

注)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間、平成25年以降は各年1月1日から12月31日までの間の人口動態である。

＜都道府県別：社会増減①＞

- 日本人住民では、7団体で社会増加、40団体で社会減少
社会増加数、社会増加率ともに東京都がトップ
- 外国人住民では、全47団体で社会増加
社会増加数は東京都、社会増加率は佐賀県がトップ

日本人住民では、人口が社会増加となったのは7団体（前年9団体）で、前年に比べて2団体減少した（2減：宮城県・京都府）。

社会増加数が最も多いのは東京都（7万8,733人）で、次いで千葉県（1万8,058人）、埼玉県（1万6,553人）の順で続いている。

また、社会増加率が最も大きいのは、東京都（0.61%）で、次いで千葉県（0.29%）、埼玉県（0.23%）の順で続いている。（第11-1表参照）

なお、社会増加数は東京都が20年連続でトップとなり、社会増加率も18年連続で東京都がトップとなっている。

一方、社会減少数が最も多いのは北海道（△6,847人）で、次いで熊本県（△6,679人）、青森県（△6,231人）の順で続いている。

また、社会減少率が最も大きいのは、青森県（△0.47%）で、次いで秋田県（△0.41%）、長崎県（△0.394%）の順で続いている。（第11-2表参照）

第11-1表 社会増加した都道府県【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	東京都	78,733	1	東京都	0.61
2	千葉県	18,058	2	千葉県	0.29
3	埼玉県	16,553	3	埼玉県	0.23
4	神奈川県	14,390	4	神奈川県	0.16
5	愛知県	7,915	5	福岡県	0.13
6	福岡県	6,376	6	愛知県	0.11
7	大阪府	3,671	7	大阪府	0.04

第11-2表 社会減少の多い都道府県【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	北海道	△ 6,847	1	青森県	△ 0.47
2	熊本県	△ 6,679	2	秋田県	△ 0.41
3	青森県	△ 6,231	3	長崎県	△ 0.394
4	新潟県	△ 6,118	4	和歌山県	△ 0.389
5	静岡県	△ 6,065	5	宮崎県	△ 0.38
6	兵庫県	△ 5,586	6	熊本県	△ 0.37
7	福島県	△ 5,573	7	山形県	△ 0.32
8	長崎県	△ 5,497	8	高知県	△ 0.31
9	岐阜県	△ 4,958	9	岩手県	△ 0.30
10	鹿児島県	△ 4,303	10	福島県	△ 0.29

次に外国人住民では、人口が社会増加となったのは全47団体（前年45団体）で、前年に比べて2団体増加した（2増：秋田県・徳島県）。

社会増加数が最も多いのは東京都（3万4,809人）で、次いで愛知県（1万4,007人）、埼玉県（1万1,429人）の順で続いている。

また、社会増加率が最も大きいのは佐賀県（13.08%）で、次いで北海道（12.49%）、沖縄県（9.89%）の順で続いている。（第11-3表参照）

第11-3表 社会増加の多い都道府県【外国人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	都道府県名	人	順位	都道府県名	%
1	東京都	34,809	1	佐賀県	13.08
2	愛知県	14,007	2	北海道	12.49
3	埼玉県	11,429	3	沖縄県	9.89
4	神奈川県	10,189	4	香川県	9.863
5	千葉県	9,678	5	宮崎県	9.861
6	大阪府	8,156	6	鹿児島県	8.93
7	福岡県	4,270	7	福島県	8.74
8	茨城県	3,523	8	宮城県	8.73
9	静岡県	3,369	9	埼玉県	8.37
10	群馬県	3,327	10	熊本県	8.28

＜都道府県別：社会増減②＞

○直近5年の社会増減数（日本人住民）について、5年ともプラスとなっているのは6団体

社会増減数（日本人住民）の直近5年の推移をみると、5年ともプラスとなっているのは6団体（前年と同じ団体）で、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県となっている。

また、千葉県は平成25年からプラスに転じ、宮城県は平成28年からマイナスに転じた。（第12表参照）

第12表 社会増減数・率の推移(直近5年)【日本人住民】

都道府県名	社会増減数(人)					社会増減率(%)				
	平成24年度中	平成25年中	平成26年中	平成27年中	平成28年中	平成24年度中	平成25年中	平成26年中	平成27年中	平成28年中
北海道	△ 9,545	△ 8,428	△ 9,287	△ 8,372	△ 6,847	△0.17	△0.15	△0.17	△0.15	△0.13
青森県	△ 6,565	△ 6,071	△ 6,429	△ 6,495	△ 6,231	△0.47	△0.44	△0.47	△0.48	△0.47
岩手県	△ 2,195	△ 2,348	△ 3,182	△ 4,013	△ 3,874	△0.17	△0.18	△0.24	△0.31	△0.30
宮城県	5,516	4,653	2,438	83	△ 535	0.24	0.20	0.11	0.00	△0.02
秋田県	△ 4,770	△ 4,641	△ 4,465	△ 4,576	△ 4,297	△0.44	△0.43	△0.42	△0.43	△0.41
山形県	△ 3,786	△ 4,229	△ 3,562	△ 4,033	△ 3,618	△0.33	△0.37	△0.31	△0.36	△0.32
福島県	△ 10,971	△ 5,144	△ 2,253	△ 2,306	△ 5,573	△0.55	△0.26	△0.11	△0.12	△0.29
茨城県	△ 5,106	△ 5,082	△ 4,635	△ 4,441	△ 3,128	△0.17	△0.17	△0.16	△0.15	△0.11
栃木県	△ 2,215	△ 1,805	△ 1,944	△ 2,695	△ 2,622	△0.11	△0.09	△0.10	△0.14	△0.13
群馬県	△ 1,882	△ 2,608	△ 2,284	△ 2,065	△ 2,361	△0.09	△0.13	△0.12	△0.10	△0.12
埼玉県	9,076	11,541	14,890	14,551	16,553	0.13	0.16	0.21	0.20	0.23
千葉県	△ 6,936	2,105	8,238	12,145	18,058	△0.11	0.03	0.13	0.20	0.29
東京都	60,783	69,117	72,663	84,714	78,733	0.48	0.54	0.57	0.66	0.61
神奈川県	4,096	9,999	11,925	13,454	14,390	0.05	0.11	0.13	0.15	0.16
新潟県	△ 5,473	△ 5,087	△ 5,746	△ 6,654	△ 6,118	△0.23	△0.22	△0.25	△0.29	△0.27
富山県	△ 969	△ 1,374	△ 1,039	△ 969	△ 967	△0.09	△0.13	△0.10	△0.09	△0.09
石川県	△ 1,305	△ 784	△ 624	△ 120	△ 813	△0.11	△0.07	△0.05	△0.01	△0.07
福井県	△ 2,006	△ 2,129	△ 2,252	△ 2,182	△ 1,898	△0.25	△0.27	△0.28	△0.28	△0.24
山梨県	△ 2,133	△ 2,365	△ 2,507	△ 2,435	△ 1,987	△0.25	△0.28	△0.30	△0.29	△0.24
長野県	△ 2,428	△ 2,618	△ 3,383	△ 2,472	△ 2,524	△0.11	△0.12	△0.16	△0.12	△0.12
岐阜県	△ 5,278	△ 4,805	△ 4,197	△ 5,485	△ 4,958	△0.26	△0.23	△0.20	△0.27	△0.24
静岡県	△ 7,403	△ 7,425	△ 7,561	△ 5,554	△ 6,065	△0.20	△0.20	△0.20	△0.15	△0.16
愛知県	3,257	7,358	5,407	9,200	7,915	0.04	0.10	0.07	0.13	0.11
三重県	△ 3,502	△ 2,780	△ 2,922	△ 4,227	△ 3,383	△0.19	△0.15	△0.16	△0.23	△0.19
滋賀県	71	△ 344	△ 698	△ 1,825	△ 394	0.01	△0.02	△0.05	△0.13	△0.03
京都府	△ 1,258	△ 1,943	△ 997	85	△ 395	△0.05	△0.08	△0.04	0.00	△0.02
大阪府	2,375	3,073	538	3,956	3,671	0.03	0.04	0.01	0.05	0.04
兵庫県	292	△ 5,051	△ 7,407	△ 7,645	△ 5,586	0.01	△0.09	△0.13	△0.14	△0.10
奈良県	△ 3,207	△ 2,879	△ 3,137	△ 3,716	△ 3,442	△0.23	△0.21	△0.23	△0.27	△0.25
和歌山県	△ 2,494	△ 2,502	△ 2,984	△ 3,980	△ 3,845	△0.24	△0.25	△0.30	△0.40	△0.39
鳥取県	△ 1,609	△ 1,580	△ 1,140	△ 1,501	△ 1,330	△0.27	△0.27	△0.20	△0.26	△0.23
島根県	△ 1,258	△ 1,410	△ 1,615	△ 1,298	△ 1,233	△0.18	△0.20	△0.23	△0.19	△0.18
岡山県	△ 801	△ 722	△ 595	△ 1,076	△ 1,791	△0.04	△0.04	△0.03	△0.06	△0.09
広島県	△ 6,364	△ 3,086	△ 2,896	△ 2,636	△ 1,677	△0.22	△0.11	△0.10	△0.09	△0.06
山口県	△ 4,041	△ 3,267	△ 3,788	△ 4,479	△ 3,514	△0.28	△0.23	△0.26	△0.32	△0.25
徳島県	△ 2,329	△ 1,644	△ 1,481	△ 2,214	△ 1,761	△0.30	△0.21	△0.19	△0.29	△0.23
香川県	△ 574	△ 1,150	△ 1,182	△ 261	△ 1,001	△0.06	△0.11	△0.12	△0.03	△0.10
愛媛県	△ 3,454	△ 3,073	△ 3,511	△ 3,803	△ 3,640	△0.24	△0.21	△0.25	△0.27	△0.26
高知県	△ 1,794	△ 1,939	△ 2,318	△ 2,281	△ 2,252	△0.24	△0.26	△0.31	△0.31	△0.31
福岡県	7,408	5,742	3,787	4,680	6,376	0.15	0.11	0.07	0.09	0.13
佐賀県	△ 1,739	△ 1,778	△ 2,363	△ 2,541	△ 2,191	△0.20	△0.21	△0.28	△0.30	△0.26
長崎県	△ 5,948	△ 5,988	△ 5,971	△ 5,758	△ 5,497	△0.42	△0.42	△0.42	△0.41	△0.39
熊本県	△ 1,293	△ 2,837	△ 2,951	△ 3,509	△ 6,679	△0.07	△0.16	△0.16	△0.19	△0.37
大分県	△ 2,457	△ 2,433	△ 2,623	△ 2,280	△ 2,459	△0.21	△0.20	△0.22	△0.19	△0.21
宮崎県	△ 2,857	△ 2,776	△ 3,406	△ 3,438	△ 4,267	△0.25	△0.24	△0.30	△0.30	△0.38
鹿児島県	△ 4,593	△ 3,824	△ 4,440	△ 5,120	△ 4,303	△0.27	△0.23	△0.26	△0.30	△0.26
沖縄県	△ 222	△ 203	△ 412	△ 149	△ 411	△0.02	△0.01	△0.03	△0.01	△0.03
全国	△ 39,886	△ 6,564	△ 4,301	14,264	20,229	△0.03	△0.01	△0.00	0.01	0.02

注)平成24年度は平成24年4月1日から翌年3月31日までの間、平成25年以降は各年1月1日から12月31日までの間の人口動態である。

(3) 市区部及び町村部の人口及び人口動態

<市区部・町村部の人口・人口増減>

○日本人住民では、市区部人口、町村部人口とも減少

○外国人住民では、市区部人口、町村部人口とも増加

全国の人口を市区部と町村部に分けて、現行調査開始（昭和43年）後の増減状況をみると、平成29年の市区部人口は、総計では1億1,675万8,406人で前年に比べ1万0,856人減少（△0.01%）した。

日本人住民では1億1,455万2,392人で前年に比べ14万9,975人減少（△0.13%）した。

外国人住民では220万6,014人で前年に比べ13万9,119人増加（6.73%）した。

平成29年の町村部人口は、総計では1,114万8,680人で前年に比べ14万8,269人減少（△1.31%）した。

日本人住民では1,103万1,266人で15万8,109人減少（△1.41%）し、平成8年以降毎年減少している。

外国人住民は11万7,414人となり、9,840人増加（9.15%）した。（第13-1～13-3表、第5図参照）

（※区とは、東京都の特別区（23区）を指す。以下同じ。）

第13-1表 市区部及び町村部の人口の推移【総計】

区分	市区部人口 (人)	町村部人口 (人)	計 (人)	構成比(%)		対前年増減率(%)		
				市区部人口	町村部人口	市区部	町村部	計
平成 25年 (25)	116,763,482 (117,021,342)	11,610,397 (11,663,037)	128,373,879 (128,684,379)	91.0 (90.9)	9.0 (9.1)	— (—)	— (—)	— (—)
26	116,928,713	11,509,300	128,438,013	91.0	9.0	△ 0.08	△ 1.32	△ 0.19
27	116,831,936	11,394,547	128,226,483	91.1	8.9	△ 0.08	△ 1.00	△ 0.16
28	116,769,262	11,296,949	128,066,211	91.2	8.8	△ 0.05	△ 0.86	△ 0.12
29	116,758,406	11,148,680	127,907,086	91.3	8.7	△ 0.01	△ 1.31	△ 0.12

注1)平成25年人口は同年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値である。

注2)平成25年人口の()書きは、同年1月1日の人口である。

第13-2表 市区部及び町村部の人口の推移【日本人住民】

区分	市区部人口 (人)	町村部人口 (人)	計 (人)	構成比(%)		対前年増減率(%)		
				市区部人口	町村部人口	市区部	町村部	計
昭和43年	71,089,930	30,898,090	101,988,020	69.7	30.3	—	—	—
44	72,453,354	30,293,920	102,747,274	70.5	29.5	1.92	△ 1.96	0.74
45	73,404,528	30,117,384	103,521,912	70.9	29.1	1.31	△ 0.58	0.75
46	75,880,610	28,659,070	104,539,680	72.6	27.4	3.37	△ 4.84	0.98
47	78,031,379	27,823,140	105,854,519	73.7	26.3	2.83	△ 2.92	1.26
48	80,933,326	27,268,712	108,202,038	74.8	25.2	3.72	△ 1.99	2.22
49	82,196,848	27,377,500	109,574,348	75.0	25.0	1.56	0.40	1.27
50	83,589,735	27,359,102	110,948,837	75.3	24.7	1.69	△ 0.07	1.25
51	84,633,741	27,511,392	112,145,133	75.5	24.5	1.25	0.56	1.08
52	85,576,938	27,648,983	113,225,921	75.6	24.4	1.11	0.50	0.96
53	86,479,901	27,795,932	114,275,833	75.7	24.3	1.06	0.53	0.93
54	87,334,344	27,952,431	115,286,775	75.8	24.2	0.99	0.56	0.88
55	88,037,472	28,157,426	116,194,898	75.8	24.2	0.81	0.73	0.79
56	88,681,429	28,327,573	117,009,002	75.8	24.2	0.73	0.60	0.70
57	89,504,024	28,272,747	117,776,771	76.0	24.0	0.93	△ 0.19	0.66
58	90,304,699	28,296,835	118,601,534	76.1	23.9	0.89	0.09	0.70
59	90,933,637	28,382,831	119,316,468	76.2	23.8	0.70	0.30	0.60
60	91,641,331	28,366,481	120,007,812	76.4	23.6	0.78	△ 0.06	0.58
61	92,285,296	28,435,246	120,720,542	76.4	23.6	0.70	0.24	0.59
62	92,975,987	28,395,811	121,371,798	76.6	23.4	0.75	△ 0.14	0.54
63	93,638,084	28,236,156	121,874,240	76.8	23.2	0.71	△ 0.56	0.41
平成 元年	94,099,927	28,235,386	122,335,313	76.9	23.1	0.49	△ 0.00	0.38
2	94,473,519	28,271,433	122,744,952	77.0	23.0	0.40	0.13	0.33
3	94,873,914	28,282,764	123,156,678	77.0	23.0	0.42	0.04	0.34
4	95,633,776	27,953,521	123,587,297	77.4	22.6	0.80	△ 1.16	0.35
5	96,105,833	27,851,625	123,957,458	77.5	22.5	0.49	△ 0.36	0.30
6	96,407,385	27,915,416	124,322,801	77.5	22.5	0.31	0.23	0.29
7	96,704,200	27,951,298	124,655,498	77.6	22.4	0.31	0.13	0.27
8	97,018,815	27,895,558	124,914,373	77.7	22.3	0.33	△ 0.20	0.21
9	97,561,828	27,695,233	125,257,061	77.9	22.1	0.56	△ 0.72	0.27
10	97,983,777	27,584,258	125,568,035	78.0	22.0	0.43	△ 0.40	0.25
11	98,305,196	27,554,810	125,860,006	78.1	21.9	0.33	△ 0.11	0.23
12	98,605,679	27,465,626	126,071,305	78.2	21.8	0.31	△ 0.32	0.17
13	98,901,808	27,382,997	126,284,805	78.3	21.7	0.30	△ 0.30	0.17
14	99,376,239	27,102,433	126,478,672	78.6	21.4	0.48	△ 1.02	0.15
15	99,893,294	26,795,070	126,688,364	78.8	21.2	0.52	△ 1.13	0.17
16	100,923,835	25,900,331	126,824,166	79.6	20.4	1.03	△ 3.34	0.11
17	106,016,270	20,853,127	126,869,397	83.6	16.4	5.05	△ 19.49	0.04
(17)	106,174,770	20,883,760	127,058,530	83.6	16.4	5.20	△ 19.37	0.18
18	113,167,015	13,888,010	127,055,025	89.1	10.9	6.59	△ 33.50	△ 0.00
19	113,622,428	13,431,043	127,053,471	89.4	10.6	0.40	△ 3.29	△ 0.00
20	113,848,652	13,217,526	127,066,178	89.6	10.4	0.20	△ 1.59	0.01
21	114,103,439	12,972,744	127,076,183	89.8	10.2	0.22	△ 1.85	0.01
22	114,954,512	12,103,348	127,057,860	90.5	9.5	0.75	△ 6.70	△ 0.01
23	114,899,410	12,024,000	126,923,410	90.5	9.5	△ 0.05	△ 0.66	△ 0.11
24	114,947,770	11,711,913	126,659,683	90.8	9.2	0.04	△ 2.60	△ 0.21
25	114,881,817	11,511,862	126,393,679	90.9	9.1	△ 0.06	△ 1.71	△ 0.21
(25)	(115,114,337)	(11,564,311)	(126,678,648)	(90.9)	(9.1)	(—)	(—)	(—)
26	115,024,723	11,409,911	126,434,634	91.0	9.0	△ 0.08	△ 1.34	△ 0.19
27	114,870,632	11,292,944	126,163,576	91.0	9.0	△ 0.13	△ 1.03	△ 0.21
28	114,702,367	11,189,375	125,891,742	91.1	8.9	△ 0.15	△ 0.92	△ 0.22
29	114,552,392	11,031,266	125,583,658	91.2	8.8	△ 0.13	△ 1.41	△ 0.24

注1)平成25年以前の人口は各年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値である。

注2)平成25年人口の()書きは、同年1月1日の人口である。

注3)平成17年人口の()書きは、平成18年調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

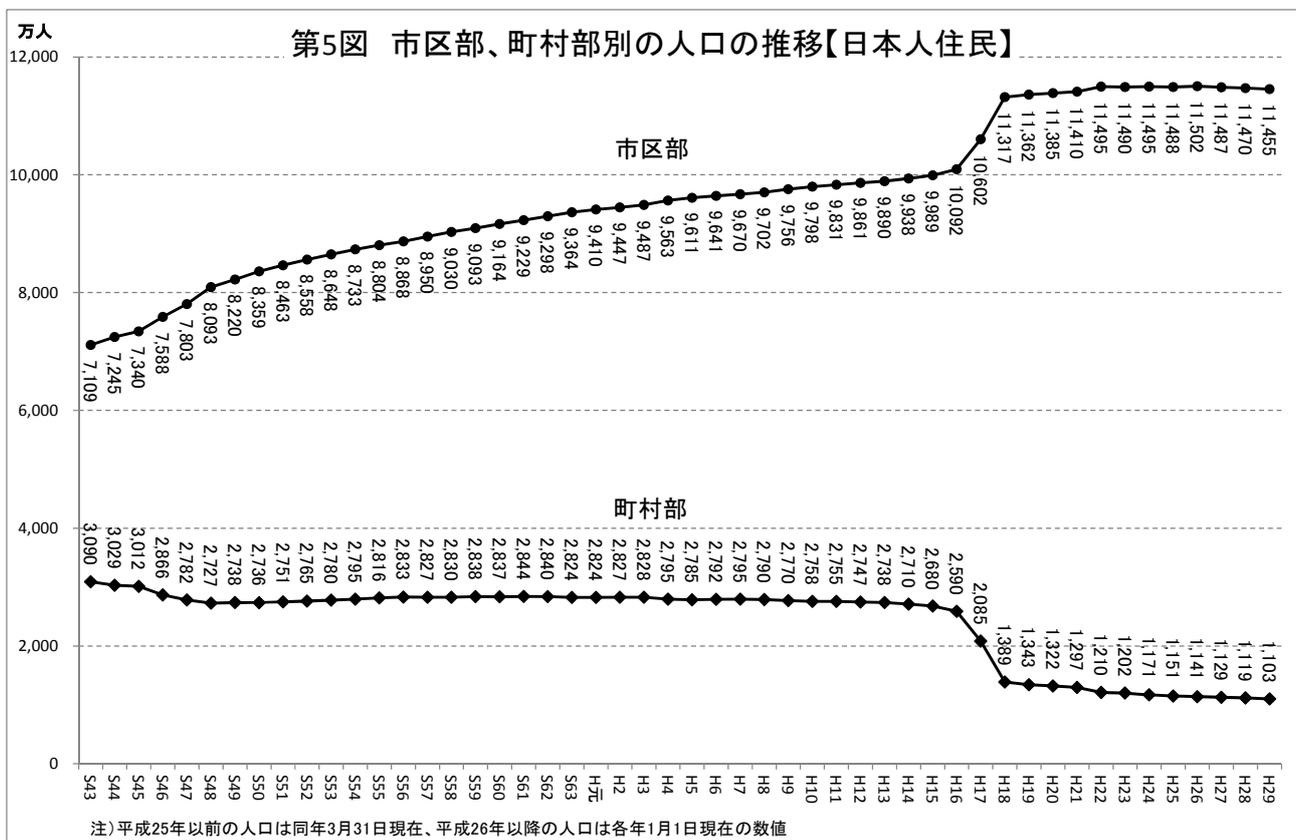
※その他の注は前掲のとおり。

第13-3表 市区部及び町村部の人口の推移【外国人住民】

区分	市区部人口 (人)	町村部人口 (人)	計 (人)	構成比(%)		対前年増減率(%)		
				市区部人口	町村部人口	市区部	町村部	計
平成 25年	1,881,665	98,535	1,980,200	95.0	5.0	—	—	—
(25)	(1,907,005)	(98,726)	(2,005,731)	(95.1)	(4.9)	(—)	(—)	(—)
26	1,903,990	99,389	2,003,379	95.0	5.0	△ 0.16	0.67	△ 0.12
27	1,961,304	101,603	2,062,907	95.1	4.9	3.01	2.23	2.97
28	2,066,895	107,574	2,174,469	95.1	4.9	5.38	5.88	5.41
29	2,206,014	117,414	2,323,428	94.9	5.1	6.73	9.15	6.85

注1)平成25年人口は同年3月31日現在、平成26年以降の人口は各年1月1日現在の数値である。

注2)平成25年人口の()書きは、同年1月1日の人口である。



○市・区・町・村別の人口割合【総計】は、市84%、区7%、町8%、村1%

市・区・町・村別の人口【総計】及び構成比は、市は1億0,745万5,444人で全体の84.0%、区は930万2,962人で全体の7.3%、町は1,037万7,627人で全体の8.1%、村は77万1,053人で全体の0.6%となっている。

また、1団体当たりの平均人口は、市は13万5,848人、区は40万4,477人、町は1万3,948人、村は4,080人、全国で7万3,215人となっている。(第14表参照)

第14表 人口段階別の市区町村数及び人口【総計】(平成29年1月1日現在)

人口段階(万人)	市			区			町			村			計			
	以上	未満		団体数	人口(人)	構成比	団体数	人口(人)	構成比	団体数	人口(人)	構成比	団体数	人口(人)	構成比	
100	~			11	20,141,430	15.7%							11	20,141,430	15.7%	
50	~	100		16	11,227,298	8.8%	8	5,329,106	4.2%				24	16,556,404	12.9%	
30	~	50		44	17,301,094	13.5%	5	1,848,751	1.4%				49	19,149,845	15.0%	
20	~	30		39	9,752,423	7.6%	7	1,721,855	1.3%				46	11,474,278	9.0%	
10	~	20		155	21,749,848	17.0%	2	343,462	0.3%				157	22,093,310	17.3%	
5	~	10		259	18,159,121	14.2%	1	59,788	0.0%	3	152,876	0.1%		263	18,371,785	14.4%
1	~	5		264	9,103,020	7.1%				410	8,248,204	6.4%	12	230,199	0.2%	
	~	1		3	21,210	0.0%				331	1,976,547	1.5%	177	540,854	0.4%	
		計		791	107,455,444	84.0%	23	9,302,962	7.3%	744	10,377,627	8.1%	189	771,053	0.6%	
		[平均人口(人)]			[135,848]			[404,477]			[13,948]			[4,080]		
														[73,215]		

<市区部・町村部の人口増減・自然増減・社会増減①>

○日本人住民の人口増減率は、市区部計・町村部計ともマイナス
(マイナスの団体は、市区部・町村部とも全体の7割以上)

日本人住民の人口増減率は、市区部計で $\Delta 0.13\%$ (前年 $\Delta 0.15\%$)、町村部計で $\Delta 1.41\%$ (前年 $\Delta 0.92\%$)となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では人口増減率がマイナスの団体は635団体・78.0%(前年629団体・77.4%)となっている。

町村部では、マイナスの団体は822団体・88.1%(前年821団体・87.9%)となっている。(第15-1表、第16-1表参照)

○日本人住民の自然増減率は、市区部計・町村部計ともマイナス
(マイナスの団体は、市区部・町村部とも全体の8割以上)

日本人住民の自然増減率は、市区部計で $\Delta 0.23\%$ (前年 $\Delta 0.19\%$)、町村部計で $\Delta 0.63\%$ (前年 $\Delta 0.58\%$)となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では、自然増減率がマイナスの団体は694団体・85.3%(前年679団体・83.5%)となっている。町村部では、マイナスの団体は850団体・91.1%(前年841団体・90.0%)となっている。(第15-1表、第16-2表参照)

○日本人住民の社会増減率は、市区部計ではわずかにプラス、町村部計ではマイナス

(市区部は、マイナスの団体が全体の7割、プラスの団体が全体の3割だが、プラスの団体の社会増加数が影響し、社会増減率はプラス化。町村部は、マイナスの団体が全体の8割弱)

日本人住民の社会増減率は、市区部計で 0.05% (前年 0.05%)、町村部計で $\Delta 0.32\%$ (前年 $\Delta 0.34\%$)となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では、社会増減率がマイナスの団体は569団体・69.9%(前年579団体・71.2%)で、プラスの団体は245団体・30.1%(前年232団体・28.5%)となっているが、プラスの団体の社会増加数の影響により、市区部計では社会増減率はわずかにプラスとなっている。

町村部では、マイナスの団体は715団体・76.6%(前年727団体・77.8%)となっている。(第15-1表、第16-3表参照)

第15-1表 市区部及び町村部の人口動態【日本人住民】

区 分		市区部	町村部
平成28年1月1日現在人口 (A)		114,702,367 人	11,189,375 人
平成28年中に市制施行及び合併により 町村部から市区部へ区分変更した人口 (B)		52,146 人	△ 52,146 人
平成 28 年 中	自然増減数(C)	△ 258,455 人	69,858 人
	自然増減率(C) / {(A) + (B)}	△ 0.23 %	△ 0.63 %
	社会増減数(D)	56,334 人	△ 36,105 人
	社会増減率(D) / {(A) + (B)}	0.05 %	△ 0.32 %
	増減人口 (B) + (C) + (D) = (F) [(C) + (D) = (E)]	△ 149,975 人 [△ 202,121]	△ 158,109 人 [△ 105,963]
増減率 (F) / (A) [(E) / {(A) + (B)}]	△ 0.13 % [△ 0.18]	△ 1.41 % [△ 0.95]	
平成29年1月1日現在人口 (A) + (F)		114,552,392 人	11,031,266 人

第16-1表 各市区町村の人口増減率の分布状況【日本人住民】

人口段階 (H29年人口)	市区部				町村部			
	人口増減率が				人口増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
以上 未満								
100万人 ~	9	2	0	11	0	0	0	0
50 ~ 100万人	12	11	0	23	0	0	0	0
30 ~ 50万人	22	27	0	49	0	0	0	0
20 ~ 30万人	18	26	0	44	0	0	0	0
10 ~ 20万人	40	112	0	152	0	0	0	0
5 ~ 10万人	70	190	0	260	2	0	0	2
1 ~ 5万人	8	264	0	272	65	356	1	422
~ 1万人	0	3	0	3	34	466	9	509
合計 (構成比)	179 (22.0%)	635 (78.0%)	0 (0.0%)	814 (100.0%)	101 (10.8%)	822 (88.1%)	10 (1.1%)	933 (100.0%)

第16-2表 各市区町村の自然増減率の分布状況【日本人住民】

人口段階 (H29年人口)	市区部				町村部			
	自然増減率が				自然増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
以上 未満								
100万人 ~	5	6	0	11	0	0	0	0
50 ~ 100万人	5	18	0	23	0	0	0	0
30 ~ 50万人	14	35	0	49	0	0	0	0
20 ~ 30万人	10	34	0	44	0	0	0	0
10 ~ 20万人	30	122	0	152	0	0	0	0
5 ~ 10万人	50	210	0	260	2	0	0	2
1 ~ 5万人	6	266	0	272	58	364	0	422
~ 1万人	0	3	0	3	12	486	11	509
合計 (構成比)	120 (14.7%)	694 (85.3%)	0 (0.0%)	814 (100.0%)	72 (7.7%)	850 (91.1%)	11 (1.2%)	933 (100.0%)

第16-3表 各市区町村の社会増減率の分布状況【日本人住民】

人口段階 (H29年人口)	市区部				町村部			
	社会増減率が				社会増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
以上 未満								
100万人 ~	11	0	0	11	0	0	0	0
50 ~ 100万人	13	10	0	23	0	0	0	0
30 ~ 50万人	26	23	0	49	0	0	0	0
20 ~ 30万人	23	21	0	44	0	0	0	0
10 ~ 20万人	59	93	0	152	0	0	0	0
5 ~ 10万人	88	172	0	260	1	1	0	2
1 ~ 5万人	25	247	0	272	107	315	0	422
~ 1万人	0	3	0	3	99	399	11	509
合計 (構成比)	245 (30.1%)	569 (69.9%)	0 (0.0%)	814 (100.0%)	207 (22.2%)	715 (76.6%)	11 (1.2%)	933 (100.0%)

<市区部・町村部の人口増減・自然増減・社会増減②>

**○外国人住民の人口増減率は、市区部計・町村部計ともプラス
(プラスの団体は、市区部で全体の9割以上。町村部では全体の6割以上)**

外国人住民の人口増減率は、市区部計で6.73%（前年5.38%）、町村部計で9.15%（前年5.88%）となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では、人口増減率がプラスの団体は749団体・92.0%（前年641団体・78.8%）となっている。

町村部では、プラスの団体は603団体・64.6%（前年525団体・56.2%）となっている。（第15-2表、第16-4表参照）

**○外国人住民の自然増減率は、市区部計・町村部計ともにプラス
(プラスの団体は、市区部で全体の5割以上。町村部でも全体の5割以上
(ゼロの団体を除いた割合))**

外国人住民の自然増減率は、市区部計で0.46%（前年0.36%）、町村部計で0.29%（前年0.27%）となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では、自然増減率がプラスの団体は462団体・56.8%（前年437団体・53.8%）となっている。

町村部では、プラスの団体は142団体・15.2%（前年139団体・14.9%）となっているが、ゼロの団体（684団体）を除いた構成比は57.0%となっている。（第15-2表、第16-5表参照）

**○外国人住民の社会増減率は、市区部計・町村部計ともにプラス
(プラスの団体は、市区部で全体の9割以上。町村部で全体の6割以上)**

外国人住民の社会増減率は、市区部計で6.26%（前年5.03%）、町村部計で9.01%（前年5.60%）となっている。

個別の団体を見てみると、市区部では、社会増減率がプラスの団体が749団体・92.0%（前年632団体・77.7%）となっている。

町村部では、プラスの団体は599団体・64.2%（前年523団体・56.0%）となっている。（第15-2表、第16-6表参照）

第15-2表 市区部及び町村部の人口動態【外国人住民】

区 分		市区部	町村部
平成28年1月1日現在人口 (A)		2,066,895 人	107,574 人
平成28年中に市制施行及び合併により 町村部から市区部へ区分変更した人口 (B)		149 人	△ 149 人
平成 28 年 中	自然増減数(C)	9,478 人	311 人
	自然増減率(C) / {(A) + (B)}	0.46 %	0.29 %
	社会増減数(D)	129,492 人	9,678 人
	社会増減率(D) / {(A) + (B)}	6.26 %	9.01 %
	増減人口 (B) + (C) + (D) = (F) [(C) + (D) = (E)]	139,119 人 [138,970]	9,840 人 [9,989]
増減率 (F) / (A) [(E) / {(A) + (B)}]	6.73 % [6.72]	9.15 % [9.30]	
平成29年1月1日現在人口 (A) + (F)		2,206,014 人	117,414 人

第16-4表 各市区町村の人口増減率の分布状況【外国人住民】

人口段階 (H29年人口) 以上 未満	市区部 人口増減率が				町村部 人口増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
	100万人 ~	0	0	0	0	0	0	0
50 ~ 100万人	0	0	0	0	0	0	0	0
30 ~ 50万人	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ~ 30万人	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ~ 20万人	1	0	0	1	0	0	0	0
5 ~ 10万人	2	0	0	2	0	0	0	0
1 ~ 5万人	43	0	0	43	0	0	0	0
~ 1万人	703	61	4	768	603	200	130	933
合計 (構成比)	749 (92.0%)	61 (7.5%)	4 (0.5%)	814 (100.0%)	603 (64.6%)	200 (21.4%)	130 (13.9%)	933 (100.0%)

第16-5表 各市区町村の自然増減率の分布状況【外国人住民】

人口段階 (H29年人口) 以上 未満	市区部 自然増減率が				町村部 自然増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
	100万人 ~	0	0	0	0	0	0	0
50 ~ 100万人	0	0	0	0	0	0	0	0
30 ~ 50万人	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ~ 30万人	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ~ 20万人	0	1	0	1	0	0	0	0
5 ~ 10万人	2	0	0	2	0	0	0	0
1 ~ 5万人	37	6	0	43	0	0	0	0
~ 1万人	423	170	175	768	142	107	684	933
合計 (構成比)	462 (56.8%)	177 (21.7%)	175 (21.5%)	814 (100.0%)	142 (15.2%)	107 (11.5%)	684 (73.3%)	933 (100.0%)

ゼロ団体684団体を除いた構成比
(57.0%) (43.0%)

第16-6表 各市区町村の社会増減率の分布状況【外国人住民】

人口段階 (H29年人口) 以上 未満	市区部 社会増減率が				町村部 社会増減率が			
	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)	プラス (団体)	マイナス (団体)	ゼロ (団体)	計 (団体)
	100万人 ~	0	0	0	0	0	0	0
50 ~ 100万人	0	0	0	0	0	0	0	0
30 ~ 50万人	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ~ 30万人	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ~ 20万人	1	0	0	1	0	0	0	0
5 ~ 10万人	2	0	0	2	0	0	0	0
1 ~ 5万人	43	0	0	43	0	0	0	0
~ 1万人	703	59	6	768	599	198	136	933
合計 (構成比)	749 (92.0%)	59 (7.2%)	6 (0.7%)	814 (100.0%)	599 (64.2%)	198 (21.2%)	136 (14.6%)	933 (100.0%)

(4) 市区町村別の人口

- 総計及び日本人住民において、100万人以上の都市は、11市（神奈川県横浜市、大阪府大阪市、愛知県名古屋市、北海道札幌市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市、神奈川県川崎市、京都府京都市、埼玉県さいたま市、広島県広島市及び宮城県仙台市）
- 外国人住民において、10万人を超える市区は大阪府大阪市のみ

総計において、市区の中で最も人口が多いのは神奈川県横浜市（373万5,843人）で、次いで大阪府大阪市（269万1,425人）、愛知県名古屋市（227万9,194人）の順で続いている。

人口100万人以上の都市は11市（前年と同数。該当団体も同じ。）で、神奈川県横浜市、大阪府大阪市、愛知県名古屋市、北海道札幌市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市、神奈川県川崎市、京都府京都市、埼玉県さいたま市、広島県広島市及び宮城県仙台市となっている。

人口2万人未満の市は23市（前年19市）で、人口の少ない方から北海道歌志内市（3,524人）、北海道夕張市（8,685人）、北海道三笠市（9,001人）の順で続いている。

人口5万人超の町村は3町（前年4町）で、広島県府中町（5万2,154人）、福岡県那珂川町（5万0,401人）、愛知県東浦町（5万0,321人）となっている。

人口500人未満の町村は10村（前年と同数。該当団体も同じ）で、人口の少ない方から東京都青ヶ島村（160人）、東京都御蔵島村（303人）、東京都利島村（315人）の順で続いている。（第17-1表参照）

第17-1表 市区部及び町村部の人口【総計】(平成29年人口)

人口の多い市区(総計)			人口の少ない市区(総計)			人口の多い町村(総計)			人口の少ない町村(総計)		
順位	市区名	人口(人)	順位	市区名	人口(人)	順位	町村名	人口(人)	順位	町村名	人口(人)
1	横浜市 (神奈川県)	3,735,843	1	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	3,524	1	ふちゆうちよう 府中町 (広島県)	52,154	1	あおがしまむら 青ヶ島村 (東京都)	160
2	おおさかし 大阪市 (大阪府)	2,691,425	2	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	8,685	2	なかがわまち 那珂川町 (福岡県)	50,401	2	みくろじまむら 御蔵島村 (東京都)	303
3	なごやし 名古屋市 (愛知県)	2,279,194	3	みかさし 三笠市 (北海道)	9,001	3	ひがしうらちよう 東浦町 (愛知県)	50,321	3	としまむら 利島村 (東京都)	315
4	さっぽろし 札幌市 (北海道)	1,947,494	4	あかびらし 赤平市 (北海道)	10,772	4	あみまち 寒川町 (神奈川県)	48,372	4	あわしまうらむら 粟島浦村 (新潟県)	353
5	こうべし 神戸市 (兵庫県)	1,546,255	5	むろとし 室戸市 (高知県)	14,239	5	あみまち 阿見町 (茨城県)	47,489	5	あわしまうらむら 三島村 (鹿児島県)	379
6	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	1,514,924	6	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	14,295	6	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	46,374	6	となきそん 渡名喜村 (沖縄県)	385
7	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	1,474,167	7	あしべつし 芦別市 (北海道)	14,512	7	あみまち 杉戸町 (埼玉県)	45,883	7	あおかむら 大川村 (高知県)	405
8	きょうとし 京都市 (京都府)	1,418,340	8	すずし 珠洲市 (石川県)	15,219	8	しめまち 志免町 (福岡県)	45,675	8	のせがむら 野迫川村 (奈良県)	431
9	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	1,281,414	9	たるみずし 垂水市 (鹿児島県)	15,620	9	おとふけちよう 音更町 (北海道)	45,238	9	ひらやむら 平谷村 (長野県)	450
10	ひろしまし 広島市 (広島県)	1,193,857	10	にしのおもてし 西之表市 (鹿児島県)	15,924	10	いなまち 伊奈町 (埼玉県)	44,501	10	きたやまむら 北山村 (和歌山県)	453
11	せんだいし 仙台市 (宮城県)	1,058,517	11	おばなざわし 尾花沢市 (山形県)	17,009	11	かみきたやまむら 熊取町 (大阪府)	44,034	11	かみきたやまむら 北上山村 (奈良県)	545
12	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	966,628	12	すながわし 砂川市 (北海道)	17,565	12	くまとりちよう 東郷町 (愛知県)	43,249	12	きただいてうそん 北大東村 (沖縄県)	580
13	ちばし 千葉市 (千葉県)	965,607	13	くまのし 熊野市 (三重県)	17,670	13	たけとよちよう 武豊町 (愛知県)	43,053	13	ひのえまむら 檜枝岐村 (福島県)	584
14	せたがやく 世田谷区 (東京都)	892,535	14	あきし 安芸市 (高知県)	17,944	14	ながいずみちよう 長泉町 (静岡県)	43,000	13	うるぎむら 売木村 (長野県)	584
15	さかいし 堺市 (大阪府)	844,030	15	つくみし 津久見市 (大分県)	18,481	15	ながちよう 長与町 (長崎県)	42,678	15	たばやまむら 丹波山村 (山梨県)	599
16	はままつし 浜松市 (静岡県)	807,893	16	かつらし 勝浦市 (千葉県)	18,514	16	くものちよう 菟野町 (三重県)	41,731	16	ちむむら 知夫村 (島根県)	605
17	にいがたし 新潟市 (新潟県)	800,112	17	みやづし 宮津市 (京都府)	18,743	17	あおいずみちよう 大泉町 (群馬県)	41,568	17	とかしきそん 渡嘉敷村 (沖縄県)	702
18	くまもとし 熊本市 (熊本県)	733,844	18	おわせし 尾鷲市 (三重県)	18,763	18	よみたんそん 読谷村 (沖縄県)	41,404	18	としまむら 十島村 (鹿児島県)	719
19	ねりまく 練馬区 (東京都)	723,711	19	くしまし 串間市 (宮崎県)	19,253	19	きくちよう 菊陽町 (熊本県)	41,026	19	あぐにそん 栗園村 (沖縄県)	724
20	おおたく 大田区 (東京都)	717,295	20	とばし 鳥羽市 (三重県)	19,691	20	あいかわまち 愛川町 (神奈川県)	40,955	20	こすげむら 小菅村 (山梨県)	740

日本人住民において、市区の中で最も人口が多いのは神奈川県横浜市（364万9,259人）で、次いで大阪府大阪市（256万5,982人）、愛知県名古屋市（220万6,437人）の順で続いている。

人口100万人以上の都市は11市（前年と同数。該当団体も同じ。）で、神奈川県横浜市、大阪府大阪市、愛知県名古屋市、北海道札幌市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市、神奈川県川崎市、京都府京都市、埼玉県さいたま市、広島県広島市及び宮城県仙台市となっている。

人口2万人未満の市は23市（前年20市）で、人口の少ない方から北海道歌志内市（3,519人）、北海道夕張市（8,659人）、北海道三笠市（8,983人）の順で続いている。

人口5万人超の町村は2町（前年3町）で、広島県府中町（5万1,519人）、福岡県那珂川町（5万0,195人）となっている。

人口500人未満の町村は10村（前年と同数。該当団体も同じ）で、人口の少ない方から東京都青ヶ島村（160人）、東京都御蔵島村（302人）、東京都利島村（314人）の順で続いている。（第17-2表参照）

第17-2表 市区部及び町村部の人口【日本人住民】(平成29年人口)

人口の多い市区(日本人住民)			人口の少ない市区(日本人住民)			人口の多い町村(日本人住民)			人口の少ない町村(日本人住民)		
順位	市区名	人口(人)	順位	市区名	人口(人)	順位	町村名	人口(人)	順位	町村名	人口(人)
1	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	3,649,259	1	うたしな 歌志内市 (北海道)	3,519	1	ふちゆうちよう 府中町 (広島県)	51,519	1	あおがしまむら 青ヶ島村 (東京都)	160
2	おおさかし 大阪市 (大阪府)	2,565,982	2	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	8,659	2	なかがわまち 那珂川町 (福岡県)	50,195	2	みくらしまむら 御蔵島村 (東京都)	302
3	なごやし 名古屋市 (愛知県)	2,206,437	3	みかさし 三笠市 (北海道)	8,983	3	ひがしうらちよう 東浦町 (愛知県)	48,927	3	としまむら 利島村 (東京都)	314
4	さっぽろし 札幌市 (北海道)	1,936,173	4	あかびらし 赤平市 (北海道)	10,712	4	さむかわまち 寒川町 (神奈川県)	47,736	4	あわしまうらむら 粟島浦村 (新潟県)	353
5	こうべし 神戸市 (兵庫県)	1,501,113	5	むろとし 室戸市 (高知県)	14,160	5	あみまち 阿見町 (茨城県)	46,743	5	みしまむら 三島村 (鹿児島県)	375
6	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	1,482,778	6	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	14,234	6	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	45,919	6	となきそん 渡名喜村 (沖縄県)	383
7	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	1,438,462	7	あしべつし 芦別市 (北海道)	14,472	7	すぎとまち 杉戸町 (埼玉県)	45,425	7	おかわむら 大川村 (高知県)	404
8	きょうとし 京都市 (京都府)	1,375,773	8	すずし 珠洲市 (石川県)	15,137	8	しめまち 志免町 (福岡県)	45,168	8	のせがわむら 野迫川村 (奈良県)	429
9	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	1,260,267	9	たるみずし 垂水市 (鹿児島県)	15,460	9	おとふけちよう 音更町 (北海道)	45,156	9	ひらやむら 平谷村 (長野県)	448
10	ひろしまし 広島市 (広島県)	1,176,642	10	にしのおもてし 西之表市 (鹿児島県)	15,853	10	いなまち 伊奈町 (埼玉県)	44,165	10	きたやまむら 北山村 (和歌山県)	453
11	せんだいし 仙台市 (宮城県)	1,046,404	11	おぼなざわし 尾花沢市 (山形県)	16,908	11	くまどりちよう 熊取町 (大阪府)	43,839	11	かみきたやまむら 上北山村 (奈良県)	544
12	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	954,377	12	すながわし 砂川市 (北海道)	17,542	12	なががいずみちよう 長泉町 (静岡県)	42,654	12	きただいとうそん 北大東村 (沖縄県)	576
13	ちばし 千葉市 (千葉県)	942,699	13	くまのし 熊野市 (三重県)	17,590	13	なががよちよう 長与町 (長崎県)	42,483	13	うるぎむら 売木村 (長野県)	581
14	せたがやく 世田谷区 (東京都)	874,339	14	あさし 安芸市 (高知県)	17,907	14	たけとよちよう 武豊町 (愛知県)	42,266	14	ひのえたまむら 檜枝岐村 (福島県)	582
15	さかいし 堺市 (大阪府)	831,261	15	かつらうし 勝浦市 (千葉県)	18,356	15	とうごうちよう 東郷町 (愛知県)	42,228	15	たばやまむら 丹波山村 (山梨県)	594
16	にいがたし 新潟市 (新潟県)	794,991	16	つくみし 津久見市 (大分県)	18,455	16	こものちよう 孤野町 (三重県)	40,934	16	ちぶむら 知夫村 (島根県)	602
17	はままつし 浜松市 (静岡県)	786,233	17	おわせし 尾鷲市 (三重県)	18,610	17	よみたんそん 読谷村 (沖縄県)	40,877	17	とかしきそん 渡嘉敷村 (沖縄県)	686
18	くまもとし 熊本市 (熊本県)	729,092	18	みやづし 宮津市 (京都府)	18,614	18	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	40,756	18	としまむら 十島村 (鹿児島県)	718
19	ねりまく 練馬区 (東京都)	707,289	19	くしまし 串間市 (宮崎県)	19,162	19	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	39,694	19	あぐにそん 粟国村 (沖縄県)	720
20	さがみはらし 相模原市 (神奈川県)	704,467	20	とばし 鳥羽市 (三重県)	19,486	20	みふまち 壬生町 (栃木県)	39,337	20	こすげむら 小菅村 (山梨県)	737

外国人住民において、市区の中で最も人口が多いのは大阪府大阪市(12万5,443人)で、次いで神奈川県横浜市(8万6,584人)、愛知県名古屋市(7万2,757人)の順で続いている。

人口1,000人超の町村は10町(前年7町)で、群馬県大泉町(7,180人)、神奈川県愛川町(2,291人)、北海道倶知安町(1,547人)の順となっている。(第17-3表参照)

第17-3表 市区部及び町村部の人口【外国人住民】(平成29年人口)

人口の多い市区(外国人住民)			人口の多い町村(外国人住民)		
順位	市区名	人口(人)	順位	町村名	人口(人)
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	125,443	1	おおいずみまち 大泉町 (群馬県)	7,180
2	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	86,584	2	あいかわまち 愛川町 (神奈川県)	2,291
3	なごやし 名古屋市 (愛知県)	72,757	3	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	1,547
4	こうべし 神戸市 (兵庫県)	45,142	4	ひがしうらちよう 東浦町 (愛知県)	1,394
5	きょうとし 京都市 (京都府)	42,567	5	かにえちよう 蟹江町 (愛知県)	1,138
6	しんじゅくく 新宿区 (東京都)	41,235	6	やちよまち 八千代町 (茨城県)	1,111
7	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	35,705	7	かみさとまち 上里町 (埼玉県)	1,105
8	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	32,146	8	よしだちよう 吉田町 (静岡県)	1,102
9	えどがわく 江戸川区 (東京都)	30,827	9	しみずちよう 清水町 (静岡県)	1,036
10	かわくちし 川口市 (埼玉県)	29,989	10	とうごうちよう 東郷町 (愛知県)	1,021
11	あだちく 足立区 (東京都)	27,417	11	かんだまち 刈田町 (福岡県)	859
12	としまく 豊島区 (東京都)	27,060	12	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	851
13	こうとうく 江東区 (東京都)	26,077	13	さかいまち 境町 (茨城県)	798
14	ちばし 千葉市 (千葉県)	22,908	13	たるいちよう 垂井町 (岐阜県)	798
15	いたばしく 板橋区 (東京都)	22,667	15	こものちよう 菟野町 (三重県)	797
16	はままつし 浜松市 (静岡県)	21,660	16	たけとよちよう 武豊町 (愛知県)	787
17	おおたく 大田区 (東京都)	21,599	17	たまむらまち 玉村町 (群馬県)	766
18	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	21,147	18	しよわちよう 昭和町 (山梨県)	762
19	きたく 北区 (東京都)	19,552	19	かいたちよう 海田町 (広島県)	752
20	みなとく 港区 (東京都)	18,992	20	あいしちよう 愛荘町 (滋賀県)	747

＜市区町村別：【総計】人口増加＞

○最も人口増加数の多い市区は神奈川県川崎市、町村は福岡県新宮町
 最も人口増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は沖縄県与那国町

総計において、最も人口増加数の多い市区は神奈川県川崎市（1万4,399人）、町村は福岡県新宮町（811人）で、最も人口増加率の大きい市区は東京都中央区（4.65%）、町村は沖縄県与那国町（14.36%）となっている。（第18-1～18-2表参照）

第18-1表 人口増加の多い市区【総計】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	14,399	1	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	4.65
2	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	13,969	2	ながれやまし 流山市 (千葉県)	2.49
3	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	10,938	3	ふくつし 福津市 (福岡県)	2.38
4	おおさかし 大阪府 (大阪府)	9,870	4	いんざいし 印西市 (千葉県)	2.34
5	なごやし 名古屋市 (愛知県)	9,750	5	みなとく 港区 (東京都)	2.16
6	せたがやく 世田谷区 (東京都)	9,246	6	ちよだく 千代田区 (東京都)	2.07
7	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	6,645	7	いなぎし 稲城市 (東京都)	1.86
8	いたばし 板橋区 (東京都)	6,551	8	ならしのし 習志野市 (千葉県)	1.79
9	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	6,486	9	ぶんきょうく 文京区 (東京都)	1.74
10	さっぽろし 札幌市 (北海道)	5,662	10	こうしし 合志市 (熊本県)	1.673
10	すぎなみく 杉並区 (東京都)	5,662			

第18-2表 人口増加の多い町村【総計】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	811	1	よなぐにちよう 与那国町 (沖縄県)	14.36
2	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	693	2	あかいがわむら 赤井川村 (北海道)	6.78
3	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	653	3	としまむら 十島村 (鹿児島県)	5.12
4	はえばるちよう 南風原町 (沖縄県)	649	4	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	3.08
5	かんだまち 苅田町 (福岡県)	632	5	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	2.81
6	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	555	6	ひさやままち 久山町 (福岡県)	2.71
7	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	513	7	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	2.60
8	おおはるちよう 大治町 (愛知県)	496	8	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	2.55
9	とうこうちよう 東郷町 (愛知県)	447	9	ちぶむら 知夫村 (島根県)	2.20
10	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	409	10	かんだまち 苅田町 (福岡県)	1.741

＜市区町村別：【総計】自然増加＞

○最も自然増加数の大きい市区は神奈川県川崎市、町村は福岡県粕屋町
 最も自然増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は東京都御蔵島村

総計において、最も自然増加数の多い市区は神奈川県川崎市（4,167人）、町村は福岡県粕屋町（372人）で、最も自然増加率の大きい市区は東京都中央区（0.86%）、町村は東京都御蔵島村（1.91%）となっている。（第18-3～18-4表参照）

第18-3表 自然増加の多い市区【総計】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	4,167	1	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	0.86
2	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	3,198	2	とみぐすくし 豊見城市 (沖縄県)	0.75
3	みなとく 港区 (東京都)	1,746	3	りとうし 栗東市 (滋賀県)	0.719
4	せたがやく 世田谷区 (東京都)	1,625	4	みなとく 港区 (東京都)	0.716
5	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	1,223	5	ぎのわんし 宜野湾市 (沖縄県)	0.68
6	いちかわし 市川市 (千葉県)	978	6	ながくてし 長久手市 (愛知県)	0.67
7	こうとうく 江東区 (東京都)	937	7	ののいちし 野々市市 (石川県)	0.66
8	おかざきし 岡崎市 (愛知県)	834	8	おきなわし 沖縄市 (沖縄県)	0.56
9	しながわく 品川区 (東京都)	831	9	にっしんし 日進市 (愛知県)	0.5499
10	とよたし 豊田市 (愛知県)	814	10	わこうし 和光市 (埼玉県)	0.5495

第18-4表 自然増加の多い町村【総計】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	372	1	みくらしまむら 御蔵島村 (東京都)	1.91
2	はえばるちよう 南風原町 (沖縄県)	369	2	はえばるちよう 南風原町 (沖縄県)	0.99
3	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	249	3	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	0.81
4	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	216	4	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	0.69
5	やえせちよう 八重瀬町 (沖縄県)	180	5	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	0.66
6	ちやたんちよう 北谷町 (沖縄県)	165	6	よなばるちよう 与那原町 (沖縄県)	0.63
7	なかがわまち 那珂川町 (福岡県)	156	7	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	0.615
8	ながいずみちよう 長泉町 (静岡県)	149	8	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	0.613
9	ふちゆうちよう 府中町 (広島県)	146	9	やえせちよう 八重瀬町 (沖縄県)	0.60
10	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	144	10	おしのむら 忍野村 (山梨県)	0.574

＜市区町村別：【総計】社会増加＞

○最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市、町村は福岡県新宮町

最も社会増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は沖縄県与那国町

総計において、最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市（1万5,833人）、町村は福岡県新宮町（595人）で、最も社会増加率の大きい市区は東京都中央区（3.79%）、町村は沖縄県与那国町（14.43%）となっている。（第18-5～18-6表参照）

第18-5表 社会増加の多い市区【総計】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	15,833	1	ちゅうおうく 中央区 (東京都)	3.79
2	なごやし 名古屋市 (愛知県)	11,080	2	ふくつし 福津市 (福岡県)	2.32
3	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	10,771	3	いんざいし 印西市 (千葉県)	2.28
4	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	10,383	4	ながれやまし 流山市 (千葉県)	2.18
5	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	10,232	5	ちよたく 千代田区 (東京都)	1.71
6	さっぽろし 札幌市 (北海道)	10,070	6	むこうし 向日市 (京都府)	1.64
7	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	8,556	7	ならしのし 習志野市 (千葉県)	1.62
8	せたがやく 世田谷区 (東京都)	7,621	8	いなぎし 稲城市 (東京都)	1.61
9	いたばし 板橋区 (東京都)	6,716	9	しきし 志木市 (埼玉県)	1.59
10	おおたく 大田区 (東京都)	5,686	10	ぶんきょうく 文京区 (東京都)	1.47

第18-6表 社会増加の多い町村【総計】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	595	1	よなぐにちよう 与那国町 (沖縄県)	14.43
2	かんだまち 苅田町 (福岡県)	580	2	あかいがむら 赤井川村 (北海道)	7.22
3	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	549	3	としまむら 十島村 (鹿児島県)	5.12
4	なかぐすくそん 中城村 (沖縄県)	434	4	ちぶむら 知夫村 (高根県)	3.55
5	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	428	5	ひさやままち 久山町 (福岡県)	3.05
6	たいわちよう 大和町 (宮城県)	374	6	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	2.67
7	おおはるちよう 大治町 (愛知県)	371	7	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	2.42
8	とうごうちよう 東郷町 (愛知県)	344	8	なかぐすくそん 中城村 (沖縄県)	2.20
9	おおいずみまち 大泉町 (群馬県)	311	9	おおしかむら 大鹿村 (長野県)	2.07
10	みやしろまち 宮代町 (埼玉県)	296	10	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	1.91

＜市区町村別：【総計】人口減少＞

○最も人口減少数の多い市区は福岡県北九州市、町村は熊本県益城町

最も人口減少率の大きい市区は北海道夕張市、町村は熊本県南阿蘇村

総計において、最も人口減少数の多い市区は福岡県北九州市（△4,980人）、町村は熊本県益城町（△1,376人）で、最も人口減少率の大きい市区は北海道夕張市（△4.10%）、町村は熊本県南阿蘇村（△4.94%）となっている。（第18-7～18-8表参照）

第18-7表 人口減少の多い市区【総計】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 4,980	1	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 4.10
2	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 3,437	2	うたしなしいし 歌志内市 (北海道)	△ 3.82
3	しずおかし 静岡市 (静岡県)	△ 3,143	3	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 3.09
4	はこだてし 函館市 (北海道)	△ 3,114	4	びばいし 美唄市 (北海道)	△ 2.85
5	あおもりし 青森市 (青森県)	△ 2,929	5	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	△ 2.80
6	しものせきし 下関市 (山口県)	△ 2,874	6	かつうらし 勝浦市 (千葉県)	△ 2.73
7	にいがたし 新潟市 (新潟県)	△ 2,824	7	みかさし 三笠市 (北海道)	△ 2.65
8	ひがしおおさかし 東大阪市 (大阪府)	△ 2,737	8	しべつし 士別市 (北海道)	△ 2.56
9	よこすかし 横須賀市 (神奈川県)	△ 2,638	9	おぼなざわし 尾花沢市 (山形県)	△ 2.43
10	あまひかわし 旭川市 (北海道)	△ 2,440	10	たるみずし 垂水市 (鹿児島県)	△ 2.42

第18-8表 人口減少の多い町村【総計】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 1,376	1	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 4.94
2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 578	2	かみかつちよう 上勝町 (徳島県)	△ 4.89
3	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 556	3	おしやまんべちよう 長万部町 (北海道)	△ 4.87
4	あいなんちよう 愛南町 (愛媛県)	△ 536	4	ひらやむら 平谷村 (長野県)	△ 4.86
5	ようろうちよう 養老町 (岐阜県)	△ 494	5	のせがむら 野迫川村 (奈良県)	△ 4.22
6	のどちよう 能登町 (石川県)	△ 463	6	おうたきむら 王滝村 (長野県)	△ 4.16
7	かみちよう 香美町 (兵庫県)	△ 462	7	ちつべつちよう 秩父別町 (北海道)	△ 4.10
8	だいがまち 大子町 (茨城県)	△ 444	8	ひがしよしのむら 東吉野村 (奈良県)	△ 4.03
9	さやちよう 佐用町 (兵庫県)	△ 441	9	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 3.98
10	みなみあいづまち 南会津町 (福島県)	△ 434	10	ふくしまちよう 福島町 (北海道)	△ 3.95

＜市区町村別：【総計】自然減少＞

○最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市、町村は山口県周防大島町
 最も自然減少率の大きい市区は北海道歌志内市、町村は東京都奥多摩町

総計において、最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市（△5,963人）、町村は山口県周防大島町（△400人）で、最も自然減少率の大きい市区は北海道歌志内市（△1.99%）、町村は東京都奥多摩町（△3.03%）となっている。（第18-9～18-10表参照）

第18-9表 自然減少の多い市区【総計】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	△ 5,963	1	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	△ 1.99
2	さっぽろし 札幌市 (北海道)	△ 4,408	2	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	△ 1.93
3	こうべし 神戸市 (兵庫県)	△ 3,594	3	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 1.78
4	きょうとし 京都市 (京都府)	△ 3,132	4	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 1.76
5	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 3,119	5	みかさし 三笠市 (北海道)	△ 1.67
6	にいがけし 新潟市 (新潟県)	△ 2,628	6	あかびらし 赤平市 (北海道)	△ 1.66
7	しずおかし 静岡市 (静岡県)	△ 2,577	7	むろとし 室戸市 (高知県)	△ 1.62
8	はこだてし 函館市 (北海道)	△ 2,120	8	わじまし 輪島市 (石川県)	△ 1.55
9	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	△ 2,070	9	みよしし 三好市 (徳島県)	△ 1.53
10	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 1,982	10	みなみぼうそうし 南房総市 (千葉県)	△ 1.52

第18-10表 自然減少の多い町村【総計】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	すおうおおしまちよう 周防大島町 (山口県)	△ 400	1	おくたままち 奥多摩町 (東京都)	△ 3.03
2	あいなんちよう 愛南町 (愛媛県)	△ 330	2	かみのせきちよう 上関町 (山口県)	△ 2.95
3	のとうちよう 能登町 (石川県)	△ 314	3	なんもくむら 南牧村 (群馬県)	△ 2.75
4	だいごまち 大子町 (茨城県)	△ 311	4	おおとよちよう 大豊町 (高知県)	△ 2.74
5	しまんどちよう 四万十町 (高知県)	△ 303	5	こざがわちよう 古座川町 (和歌山県)	△ 2.59
6	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 284	6	かんなまち 神流町 (群馬県)	△ 2.57
7	いばらきまち 茨城町 (茨城県)	△ 276	7	みしままち 三島町 (福島県)	△ 2.55
8	ゆがわらまち 湯河原町 (神奈川県)	△ 275	8	とうようちよう 東洋町 (高知県)	△ 2.524
9	みなかみまち みなかみ町 (群馬県)	△ 253	9	てんりゆうむら 天龍村 (長野県)	△ 2.521
10	みさとちよう 美郷町 (秋田県)	△ 252	10	かみきたやまむら 上北山村 (奈良県)	△ 2.47

＜市区町村別：【総計】社会減少＞

○最も社会減少数の多い市区は福岡県北九州市、町村は熊本県益城町
 最も社会減少率の大きい市区は北海道夕張市、町村は東京都御蔵島村

総計において、最も社会減少数の多い市区は福岡県北九州市（△1,861人）、町村は熊本県益城町（△1,318人）で、最も社会減少率の大きい市区は北海道夕張市（△2.32%）、町村は東京都御蔵島村（△5.41%）となっている。（第18-11～18-12表参照）

第18-11表 社会減少の多い市区【総計】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 1,861	1	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 2.32
2	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 1,455	2	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	△ 1.83
3	あおもりし 青森市 (青森県)	△ 1,339	3	しべつし 士別市 (北海道)	△ 1.64
4	くまもとし 熊本市 (熊本県)	△ 1,336	4	かつうらし 勝浦市 (千葉県)	△ 1.52
5	ねやがわし 寝屋川市 (大阪府)	△ 1,246	5	びばいし 美唄市 (北海道)	△ 1.51
6	ひたちし 日立市 (茨城県)	△ 1,092	6	ねむろし 根室市 (北海道)	△ 1.50
7	はこだてし 函館市 (北海道)	△ 994	7	おほなざわし 尾花沢市 (山形県)	△ 1.36
8	しものせきし 下関市 (山口県)	△ 987	8	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 1.33
9	ひがしおおさかし 東大阪市 (大阪府)	△ 983	9	つしまし 対馬市 (長崎県)	△ 1.27
10	くしろし 釧路市 (北海道)	△ 944	10	いいやまし 飯山市 (長野県)	△ 1.263

第18-12表 社会減少の多い町村【総計】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 1,318	1	みくらじまむら 御蔵島村 (東京都)	△ 5.41
2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 457	2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 3.91
3	みほむら 美浦村 (茨城県)	△ 325	3	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 3.81
4	みふねまち 御船町 (熊本県)	△ 296	4	ひらやむら 平谷村 (長野県)	△ 3.59
5	にしはらちよう 西原町 (沖縄県)	△ 286	5	おしやまんべちよう 長万部町 (北海道)	△ 3.55
6	しんとみちよう 新富町 (宮崎県)	△ 275	6	あおがしまちよう 青ヶ島村 (東京都)	△ 3.01
7	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 272	7	あわしまうらむら 粟島浦村 (新潟県)	△ 2.75
8	ようろうちよう 養老町 (岐阜県)	△ 267	8	おうたきむら おうたき村 (長野県)	△ 2.73
9	えんがるちよう 遠軽町 (北海道)	△ 261	9	ちつぶべつちよう 秩父別町 (北海道)	△ 2.72
10	とよのちよう 豊能町 (大阪府)	△ 246	10	うらうすちよう 浦臼町 (北海道)	△ 2.50

<市区町村別：【日本人住民】人口増加>

○最も人口増加数の多い市区は福岡県福岡市、町村は福岡県新宮町

最も人口増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は沖縄県与那国町

日本人住民において、最も人口増加数の多い市区は福岡県福岡市(1万1,706人)、町村は福岡県新宮町(776人)で、最も人口増加率の大きい市区は東京都中央区(4.38%)、町村は沖縄県与那国町(14.28%)となっている。(第19-1~19-2表参照)

第19-1表 人口増加の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	11,706	1	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	4.38
2	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	11,685	2	ながれやまし 流山市 (千葉県)	2.40
3	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	9,224	3	ふくつし 福津市 (福岡県)	2.34
4	せたがやく 世田谷区 (東京都)	7,933	4	いんざいし 印西市 (千葉県)	2.25
5	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	6,016	5	みなとく 港区 (東京都)	2.11
6	おおさかし 大阪市 (大阪府)	4,971	6	ちよだく 千代田区 (東京都)	1.97
7	みなとく 港区 (東京都)	4,759	7	いなざし 稲城市 (東京都)	1.80
7	なごやし 名古屋市長古屋市 (愛知県)	4,759	8	むこうし 向日市 (京都府)	1.65
9	さつぽろし 札幌市 (北海道)	4,655	9	こうしし 合志市 (熊本県)	1.64
10	ながれやまし 流山市 (千葉県)	4,191	10	ながくてし 長久手市 (愛知県)	1.58

第19-2表 人口増加の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	776	1	よなくにちよう 与那国町 (沖縄県)	14.28
2	はえはるちよう 南風原町 (沖縄県)	635	2	としまむら 十島村 (鹿児島県)	5.12
3	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	598	3	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	2.66
4	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	594	4	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	2.64
5	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	516	5	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	2.51
6	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	500	6	ひさやまち 久山町 (福岡県)	2.48
7	おおはるちよう 大治町 (愛知県)	413	7	ちぶむら 知夫村 (島根県)	2.03
8	かんだまち 苅田町 (福岡県)	389	8	はえはるちよう 南風原町 (沖縄県)	1.70
9	やえせちよう 八重瀬町 (沖縄県)	381	9	よなばるちよう 与那原町 (沖縄県)	1.67
10	ぎなんちよう 岐南町 (岐阜県)	346	10	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	1.52

<市区町村別：【日本人住民】自然増加>

○最も自然増加数の多い市区は神奈川県川崎市、町村は沖縄県南風原町

最も自然増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は東京都御蔵島村

日本人住民において、最も自然増加数の多い市区は神奈川県川崎市(3,912人)、町村は沖縄県南風原町(367人)で、最も自然増加率の大きい市区は東京都中央区(0.86%)、町村は東京都御蔵島村(1.92%)となっている。(第19-3~19-4表参照)

第19-3表 自然増加の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	3,912	1	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	0.86
2	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	2,974	2	とみぐすくし 豊見城市 (沖縄県)	0.75
3	みなとく 港区 (東京都)	1,615	3	りつとうし 栗東市 (滋賀県)	0.73
4	せたがやく 世田谷区 (東京都)	1,598	4	みなとく 港区 (東京都)	0.72
5	ちゆうおうく 中央区 (東京都)	1,183	5	ぎのわんし 宜野湾市 (沖縄県)	0.683
6	いちかわし 市川市 (千葉県)	832	6	ながくてし 長久手市 (愛知県)	0.676
7	しながわく 品川区 (東京都)	786	7	ののいちし 野々市市 (石川県)	0.67
8	おきなわし 沖繩市 (沖縄県)	782	8	おきなわし 沖繩市 (沖縄県)	0.562
9	おかざきし 岡崎市 (愛知県)	777	9	にっしんし 日進市 (愛知県)	0.558
10	こうとうく 江東区 (東京都)	704	10	うらそえし 浦添市 (沖縄県)	0.55

第19-4表 自然増加の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	はえはるちよう 南風原町 (沖縄県)	367	1	みくらしまむら 御蔵島村 (東京都)	1.92
2	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	365	2	はえはるちよう 南風原町 (沖縄県)	0.99
3	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	248	3	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	0.81
4	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	213	4	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	0.69
5	やえせちよう 八重瀬町 (沖縄県)	180	5	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	0.67
6	ちやたんちよう 北谷町 (沖縄県)	160	6	よなばるちよう 与那原町 (沖縄県)	0.63
7	なかがわまち 那珂川町 (福岡県)	156	7	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	0.62
8	ながいずみちよう 長泉町 (静岡県)	149	8	なかくすくそん 中城村 (沖縄県)	0.61
9	ふちゆうちよう 府中町 (広島県)	144	9	やえせちよう 八重瀬町 (沖縄県)	0.60
10	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	133	10	みなみだいとうそん 南大東村 (沖縄県)	0.5618

＜市区町村別：【日本人住民】社会増加＞

○最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市、町村は福岡県新宮町
 最も社会増加率の大きい市区は東京都中央区、町村は沖縄県与那国町

日本人住民において、最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市(1万0,614人)、町村は福岡県新宮町(563人)で、最も社会増加率の大きい市区は東京都中央区(3.52%)、町村は沖縄県与那国町(14.34%)となっている。(第19-5~19-6表参照)

第19-5表 社会増加の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	10,614	1	ちゅうおうく 中央区 (東京都)	3.52
2	さっぽろし 札幌市 (北海道)	9,115	2	ふくつし 福津市 (福岡県)	2.28
3	さいたまし さいたま市 (埼玉県)	8,824	3	いんざいし 印西市 (千葉県)	2.19
4	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	8,732	4	ながれやまし 流山市 (千葉県)	2.10
5	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	7,773	5	むこうし 向日市 (京都府)	1.66
6	なごやし 名古屋市 (愛知県)	6,445	6	ちよだく 千代田区 (東京都)	1.59
7	せたがやく 世田谷区 (東京都)	6,335	7	いなぎし 稲城市 (東京都)	1.56
8	ちゅうおうく 中央区 (東京都)	4,833	8	ならしのし 習志野市 (千葉県)	1.410
9	おおたく 大田区 (東京都)	4,431	9	しきし 志木市 (埼玉県)	1.408
10	いたばし 板橋区 (東京都)	4,329	10	みなとく 港区 (東京都)	1.39

第19-6表 社会増加の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	563	1	よなぐにちよう 与那国町 (沖縄県)	14.34
2	こうたちよう 幸田町 (愛知県)	461	2	としまむら 十島村 (鹿児島県)	5.12
3	なかぐすくそん 中城村 (沖縄県)	396	3	ちぶむら 知夫村 (島根県)	3.39
4	かんだまち 苅田町 (福岡県)	337	4	ひさやままち 久山町 (福岡県)	2.83
5	たいわちよう 大和町 (宮城県)	296	5	なかぐすくそん 中城村 (沖縄県)	2.02
6	おおはるちよう 大治町 (愛知県)	288	6	ざまみそん 座間味村 (沖縄県)	2.00
7	はえぼるちよう 南風原町 (沖縄県)	268	7	おおしかむら 大鹿村 (長野県)	1.99
8	みやしろまち 宮代町 (埼玉県)	266	8	はやかわちよう 早川町 (山梨県)	1.87
9	きくようまち 菊陽町 (熊本県)	252	9	しんぐうまち 新宮町 (福岡県)	1.82
10	かいせいまち 開成町 (神奈川県)	247	10	たばやまむら 丹波山村 (山梨県)	1.69

＜市区町村別：【日本人住民】人口減少＞

○最も人口減少数の多い市区は福岡県北九州市、町村は熊本県益城町
 最も人口減少率の大きい市区は北海道夕張市、町村は北海道長万部町

日本人住民において、最も人口減少数の多い市区は福岡県北九州市(△5,588人)、町村は熊本県益城町(△1,378人)で、最も人口減少率の大きい市区は北海道夕張市(△4.04%)、町村は北海道長万部町(△5.02%)となっている。(第19-7~19-8表参照)

第19-7表 人口減少の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 5,588	1	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 4.04
2	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 3,596	2	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	△ 3.85
3	しずおかし 静岡市 (静岡県)	△ 3,407	3	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 3.13
4	はこだてし 函館市 (北海道)	△ 3,159	4	びばいし 美唄市 (北海道)	△ 2.86
5	よこすかし 横浜賀市 (神奈川県)	△ 3,087	5	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	△ 2.84
6	にいがたし 新潟市 (新潟県)	△ 2,994	6	かつらし 勝浦市 (千葉県)	△ 2.77
7	こうべし 神戸市 (兵庫県)	△ 2,992	7	みかさし 三笠市 (北海道)	△ 2.67
8	しものせきし 下関市 (山口県)	△ 2,976	8	えたじまし 江田島市 (広島県)	△ 2.63
9	ひがしおおさかし 東大阪市 (大阪府)	△ 2,974	9	しべつし 士別市 (北海道)	△ 2.62
10	あおもりし 青森市 (青森県)	△ 2,944	10	たるみずし 垂水市 (鹿児島県)	△ 2.56

第19-8表 人口減少の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 1,378	1	おしやまんべちよう 長万部町 (北海道)	△ 5.02
2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 575	2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 4.94
3	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 571	3	ひらやむら 平谷村 (長野県)	△ 4.88
4	ようろうちよう 養老町 (岐阜県)	△ 565	4	のせがわむら 野迫川村 (奈良県)	△ 4.67
5	あいなんちよう 愛南町 (愛媛県)	△ 542	5	かみかつちよう 上勝町 (徳島県)	△ 4.63
6	かみちよう 香美町 (兵庫県)	△ 472	6	おうたきむら 王滝村 (長野県)	△ 4.11
7	のどちよう 能登町 (石川県)	△ 449	7	ちつぶべつちよう 秩父別町 (北海道)	△ 4.06
8	だいがまち 大子町 (茨城県)	△ 446	8	ひがしよしのむら 東吉野村 (奈良県)	△ 4.00
9	さようちよう 佐用町 (兵庫県)	△ 445	9	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 3.994
10	おかわまち 小川町 (埼玉県)	△ 442	10	ふくしまちよう 福島町 (北海道)	△ 3.988

<市区町村別：【日本人住民】自然減少>

○最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市、町村は山口県周防大島町
 最も自然減少率の大きい市区は北海道歌志内市、町村は東京都奥多摩町

日本人住民において、最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市(△5,643人)、町村は山口県周防大島町(△399人)で、最も自然減少率の大きい市区は北海道歌志内市(△1.99%)、町村は東京都奥多摩町(△3.03%)となっている。(第19-9~19-10表参照)

第19-9表 自然減少の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	△ 5,643	1	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	△ 1.99
2	さっぽろし 札幌市 (北海道)	△ 4,460	2	とさしみずし 土佐清水市 (高知県)	△ 1.94
3	こうべし 神戸市 (兵庫県)	△ 3,541	3	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 1.78
4	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 3,111	4	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 1.76
5	きょうとし 京都市 (京都府)	△ 3,021	5	みかさし 三笠市 (北海道)	△ 1.669
6	にいがたし 新潟市 (新潟県)	△ 2,645	6	あかびらし 赤平市 (北海道)	△ 1.668
7	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	△ 2,643	7	むろとし 室戸市 (高知県)	△ 1.63
8	しずおかし 静岡市 (静岡県)	△ 2,616	8	わじまし 輪島市 (石川県)	△ 1.57
9	はこだてし 函館市 (北海道)	△ 2,121	9	みよしし 三好市 (徳島県)	△ 1.54
10	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 1,995	10	みなみぼうし 南房総市 (千葉県)	△ 1.525

第19-10表 自然減少の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

自然増減数			自然増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	すおうおしまちよう 周防大島町 (山口県)	△ 399	1	おくたまち 奥多摩町 (東京都)	△ 3.03
2	あいなんちよう 愛南町 (愛媛県)	△ 332	2	かみのせきちよう 上関町 (山口県)	△ 2.95
3	のちよう 能登町 (石川県)	△ 314	3	おおとちよう 大豊町 (高知県)	△ 2.760
4	だいごまち 大子町 (茨城県)	△ 310	4	なんもくむら 南牧村 (群馬県)	△ 2.759
5	しまんどちよう 四万十町 (高知県)	△ 303	5	かんなまち 神流町 (群馬県)	△ 2.58
6	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 285	6	こざがわちよう 古座川町 (和歌山県)	△ 2.57
7	いばらきまち 茨城町 (茨城県)	△ 276	7	みしまち 三島町 (福島県)	△ 2.56
7	ゆがわらまち 湯河原町 (神奈川県)	△ 276	8	とうようちよう 東洋町 (高知県)	△ 2.54
9	みなかみまち みなかみ町 (群馬県)	△ 253	9	てんりゆうむら 天龍村 (長野県)	△ 2.48
10	みさとちよう 美郷町 (秋田県)	△ 252	10	かみきたやまむら 上北山村 (奈良県)	△ 2.47

<市区町村別：【日本人住民】社会減少>

○最も社会減少数の多い市区は福岡県北九州市、町村は熊本県益城町
 最も社会減少率の大きい市区は北海道夕張市、町村は東京都御蔵島村

日本人住民において、最も社会減少数の多い市区は福岡県北九州市(△2,477人)、町村は熊本県益城町(△1,320人)で、最も社会減少率の大きい市区は北海道夕張市(△2.26%)、町村は東京都御蔵島村(△5.43%)となっている。(第19-11~19-12表参照)

第19-11表 社会減少の多い市区【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	きたきゅうしゅうし 北九州市 (福岡県)	△ 2,477	1	ゆうばりし 夕張市 (北海道)	△ 2.26
2	ながさきし 長崎市 (長崎県)	△ 1,601	2	うたしなしい 歌志内市 (北海道)	△ 1.86
3	くまもとし 熊本市 (熊本県)	△ 1,429	3	しべつし 士別市 (北海道)	△ 1.70
4	あおもりし 青森市 (青森県)	△ 1,361	4	かつうらし 勝浦市 (千葉県)	△ 1.56
5	ひがしおおさかし 東大阪市 (大阪府)	△ 1,311	5	びばいし 美唄市 (北海道)	△ 1.52
6	ねやがわし 寝屋川市 (大阪府)	△ 1,261	6	ねむろし 根室市 (北海道)	△ 1.47
7	ひたちし 日立市 (茨城県)	△ 1,260	7	みさわし 三沢市 (青森県)	△ 1.3726
8	よこすかし 横須賀市 (神奈川県)	△ 1,235	8	あしべつし 芦別市 (北海道)	△ 1.3722
9	さいかいし 堺市 (大阪府)	△ 1,132	9	つしまし 対馬市 (長崎県)	△ 1.3720
10	しもせきし 下関市 (山口県)	△ 1,121	10	おぼなざわし 尾花沢市 (山形県)	△ 1.345

第19-12表 社会減少の多い町村【日本人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 1,320	1	みくらじまむら 御蔵島村 (東京都)	△ 5.43
2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 455	2	みなみあそむら 南阿蘇村 (熊本県)	△ 3.91
3	ようろうちよう 養老町 (岐阜県)	△ 335	3	ましきまち 益城町 (熊本県)	△ 3.83
4	みふねまち 御船町 (熊本県)	△ 298	4	おしやまんべちよう 長万部町 (北海道)	△ 3.69
5	みほむら 美浦村 (茨城県)	△ 294	5	ひらやむら 平谷村 (長野県)	△ 3.61
6	さつまちよう さつま町 (鹿児島県)	△ 286	6	あわしまらむら 粟島浦村 (新潟県)	△ 2.75
7	にしはらちよう 西原町 (沖縄県)	△ 279	7	ちつぶべつちよう 秩父別町 (北海道)	△ 2.68
8	しんとみちよう 新富町 (宮崎県)	△ 273	8	おうたきむら 王滝村 (長野県)	△ 2.66
9	えんがるちよう 遠軽町 (北海道)	△ 267	9	にしはらむら 西原村 (熊本県)	△ 2.47
10	とよのちよう 豊能町 (大阪府)	△ 254	10	なかがわちよう 中川町 (北海道)	△ 2.44

<市区町村別：【外国人住民】人口増加>

○最も人口増加数の多い市区は神奈川県横浜市、町村は北海道倶知安町
 最も人口増加率の大きい市区は石川県羽咋市、町村は北海道乙部町

外国人住民において、最も人口増加数の多い市区は神奈川県横浜市(5,161人)、町村は北海道倶知安町(501人)で、最も人口増加率の大きい市区は石川県羽咋市(63.64%)、町村は北海道乙部町(300.00%)となっている。(第20-1~20-2表参照)

第20-1表 人口増加の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

人口増減数		人口増減率			
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	5,161	1	はくいし 羽咋市 (石川県)	63.64
2	なごやし 名古屋市 (愛知県)	4,991	2	たくし 多久市 (佐賀県)	61.04
3	おおさかし 大阪市 (大阪府)	4,899	3	みやまし みやま市 (福岡県)	55.56
4	えどがわく 江戸川区 (東京都)	2,714	4	たがわし 田川市 (福岡県)	45.11
4	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	2,714	5	いとまんし 糸満市 (沖縄県)	44.26
6	しんじゅく 新宿区 (東京都)	2,650	6	ほくとし 北斗市 (北海道)	38.94
7	としまく 豊島区 (東京都)	2,520	7	くだまつし 下松市 (山口県)	38.54
7	いたばし 板橋区 (東京都)	2,520	8	つがるし つがる市 (青森県)	36.36
9	かわぐちし 川口市 (埼玉県)	2,348	9	かとうし 加東市 (兵庫県)	33.67
10	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	2,263	10	すきし 須崎市 (高知県)	32.71

第20-2表 人口増加の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

人口増減数		人口増減率			
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	くつちゃんちよう 倶知安町 (北海道)	501	1	おとべちよう 乙部町 (北海道)	300.00
2	おおいずみまち 大泉町 (群馬県)	463	2	ななえちよう 七飯町 (北海道)	256.52
3	かんだまち 苅田町 (福岡県)	243	3	あつさぶちよう 厚沢部町 (北海道)	212.50
4	やちよまち 八千代町 (茨城県)	156	4	あかいがわむら 赤井川村 (北海道)	190.24
5	とうごうちよう 東郷町 (愛知県)	140	5	しりうちよう 知内町 (北海道)	150.00
6	あいかわまち 愛川町 (神奈川県)	123	6	よこはままち 横浜町 (青森県)	114.29
7	かにえちよう 蟹江町 (愛知県)	121	7	なかとんべつちよう 中頓別町 (北海道)	100.00
8	さかいまち 境町 (茨城県)	105	8	もせうしちよう 妹背牛町 (北海道)	85.71
9	かみさとまち 上里町 (埼玉県)	102	9	ひろのまち 広野町 (福島県)	84.00
10	はこねまち 箱根町 (神奈川県)	100	10	にしのみちちよう 西ノ島町 (島根県)	77.78
			10	とかしそん 渡嘉敷村 (沖縄県)	77.78

※ 皆増の団体(北海道神恵内村、初山別村、奈良県野迫川村)を除く。

<市区町村別：【外国人住民】自然増加>

○最も自然増加数の多い市区は神奈川県横浜市、町村は群馬県大泉町
 最も自然増加率の大きい市区は沖縄県豊見城市、町村は鹿児島県三島村

外国人住民において、最も自然増加数の多い市区は神奈川県横浜市(573人)、町村は群馬県大泉町(81人)で、最も自然増加率の大きい市区は沖縄県豊見城市(2.08%)、町村は鹿児島県三島村(33.33%)となっている。(第20-3~20-4表参照)

第20-3表 自然増加の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数		自然増減率			
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	573	1	とみぐすし 豊見城市 (沖縄県)	2.08
2	かわぐちし 川口市 (埼玉県)	438	2	きたひろしまし 北広島市 (北海道)	1.95
3	なごやし 名古屋市 (愛知県)	356	3	ちりゆうし 知立市 (愛知県)	1.81
4	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	255	4	なんようし 南陽市 (山形県)	1.67
5	こうとうく 江東区 (東京都)	233	5	かしまし 鹿島市 (佐賀県)	1.63
6	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	224	6	みなみあしがらし 南足柄市 (神奈川県)	1.61
7	えどがわく 江戸川区 (東京都)	220	7	だざいふし 太宰府市 (福岡県)	1.59
8	はままつし 浜松市 (静岡県)	190	8	かわぐちし 川口市 (埼玉県)	1.58
9	かつしかく 葛飾区 (東京都)	179	9	いせはらし 伊勢原市 (神奈川県)	1.57
10	あだちく 足立区 (東京都)	177	10	なよろし 名寄市 (北海道)	1.54

第20-4表 自然増加の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数		自然増減率			
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	おおいずみまち 大泉町 (群馬県)	81	1	みしまむら 三島村 (鹿児島県)	33.33
2	ひがしうらちよう 東浦町 (愛知県)	18	2	かねやままち 金山町 (福島県)	20.00
3	あいかわまち 愛川町 (神奈川県)	15	3	うりゆうちよう 雨竜町 (北海道)	16.67
4	こうたちちよう 幸田町 (愛知県)	11	4	おしのむら 忍野村 (山梨県)	4.00
5	さかほぎちよう 坂祝町 (岐阜県)	10	5	かみふらのちよう 上富良野町 (北海道)	3.70
6	おしのむら 忍野村 (山梨県)	9	6	ひえづそん 日吉津村 (鳥取県)	3.57
6	あいしちようちよう 愛荘町 (滋賀県)	9	7	やすおかむら 泰阜村 (長野県)	3.33
8	よしだちちよう 吉田町 (静岡県)	8	8	おおいまち 大井町 (神奈川県)	3.03
9	かにえちちよう 蟹江町 (愛知県)	7	9	しずいしちちよう 霰石町 (岩手県)	2.94
9	こものちちよう 菰野町 (三重県)	7	10	とようちちちよう 豊浦町 (北海道)	2.86
9	かすやまち 粕屋町 (福岡県)	7			

<市区町村別：【外国人住民】社会増加>

○最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市、町村は北海道倶知安町
 最も社会増加率の大きい市区は石川県羽咋市、町村は北海道乙部町

外国人住民において、最も社会増加数の多い市区は大阪府大阪市（5,219人）、町村は北海道倶知安町（501人）で、最も社会増加率の大きい市区は石川県羽咋市（63.64%）、町村は北海道乙部町（300.00%）となっている。（第20-5～20-6表参照）

第20-5表 社会増加の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	5,219	1	はくいし 羽咋市 (石川県)	63.64
2	なごやし 名古屋市 (愛知県)	4,635	2	たくし 多久市 (佐賀県)	61.04
3	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	4,588	3	みやまし みやまし (福岡県)	55.56
4	しんじゅく 新宿区 (東京都)	2,502	4	たがわし 田川市 (福岡県)	45.69
5	えどがわく 江戸川区 (東京都)	2,494	5	いとまんし 糸満市 (沖縄県)	43.58
6	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	2,459	6	くだまつし 下松市 (山口県)	38.33
7	としまく 豊島区 (東京都)	2,396	7	ほくとし 北斗市 (北海道)	38.05
8	いたばし 板橋区 (東京都)	2,387	8	つがるし つがる市 (青森県)	36.36
9	かつしかく 葛飾区 (東京都)	2,044	9	かとうし 加東市 (兵庫県)	33.38
10	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	2,039	10	すざきし 須崎市 (高知県)	32.44

第20-6表 社会増加の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

社会増減数			社会増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	くつちやんちよう 倶知安町 (北海道)	501	1	おとべちよう 乙部町 (北海道)	300.00
2	おおいずみまち 大泉町 (群馬県)	382	2	ななえちよう 七飯町 (北海道)	256.52
3	かんだまち 菊田町 (福岡県)	243	3	あつさぶちよう 厚沢部町 (北海道)	212.50
4	やちよまち 八千代町 (茨城県)	153	4	あかいがわむら 赤井川村 (北海道)	190.24
5	かにかえちよう 東郷町 (愛知県)	135	5	しりうちちよう 知内町 (北海道)	150.00
6	かにえちよう 蟹江町 (愛知県)	114	6	よこはままち 横浜町 (青森県)	114.29
7	あいかわまち 愛川町 (神奈川県)	108	7	なかとんべつちよう 中頓別町 (北海道)	100.00
8	はこねまち 箱根町 (神奈川県)	101	8	ひろのまち 広野町 (福島県)	88.00
9	さかいまち 埴町 (茨城県)	100	9	もせうしちよう 妹背牛町 (北海道)	85.71
10	たまむらまち 玉村町 (群馬県)	99	10	にしこのしまちよう 西ノ島町 (島根県)	77.78
			10	とかしきそん 渡嘉敷村 (沖縄県)	77.78

※ 皆増の団体(北海道神恵内村、初山別村、奈良県野迫川村)を除く。

<市区町村別：【外国人住民】人口減少>

○最も人口減少数の多い市区は福岡県直方市、町村は長野県御代田町
 最も人口減少率の大きい市区は大分県津久見市、町村は東京都青ヶ島村及び鹿児島県大和村

外国人住民において、最も人口減少数の多い市区は福岡県直方市（△145人）、町村は長野県御代田町（△35人）で、最も人口減少率の大きい市区は大分県津久見市（△29.73%）、町村は東京都青ヶ島村及び鹿児島県大和村（いずれも△100.00%）となっている。（第20-7～20-8表参照）

第20-7表 人口減少の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	市区名	人	順位	市区名	%
1	のおがたし 直方市 (福岡県)	△ 145	1	つくみし 津久見市 (大分県)	△ 29.73
2	えちぜんし 越前市 (福井県)	△ 113	2	ひらかわし 平川市 (青森県)	△ 27.08
3	うらそえし 浦添市 (沖縄県)	△ 106	3	のおがたし 直方市 (福岡県)	△ 26.17
4	こさいし 湖西市 (静岡県)	△ 90	4	ゆうぼりし 夕張市 (北海道)	△ 18.75
5	あきたし 秋田市 (秋田県)	△ 63	5	うわじまし 宇和島市 (愛媛県)	△ 12.87
6	さかたし 酒田市 (山形県)	△ 54	6	さかたし 酒田市 (山形県)	△ 10.84
7	さばえし 鯖江市 (福井県)	△ 49	7	うらそえし 浦添市 (沖縄県)	△ 10.37
8	うわじまし 宇和島市 (愛媛県)	△ 48	8	あきし 安芸市 (高知県)	△ 9.76
9	いいでし 飯田市 (長野県)	△ 43	9	おがし 男鹿市 (秋田県)	△ 8.47
10	あしやし 芦屋市 (兵庫県)	△ 38	10	すずし 珠洲市 (石川県)	△ 7.87

第20-8表 人口減少の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

人口増減数			人口増減率		
順位	町村名	人	順位	町村名	%
1	みよたまち 御代田町 (長野県)	△ 35	1	あおがしまむら 青ヶ島村 (東京都)	△ 100.00
2	みほむら 美浦村 (茨城県)	△ 28	1	やまとそん 大和村 (鹿児島県)	△ 100.00
3	ごうどちよう 神戸町 (岐阜県)	△ 26	3	うらうすちよう 浦臼町 (北海道)	△ 50.00
4	くらてまち 鞍手町 (福岡県)	△ 23	4	あかむら 赤村 (福岡県)	△ 44.44
5	まつのちよう 松野町 (愛媛県)	△ 22	5	とうようちよう 東洋町 (高知県)	△ 38.10
6	しょうどしちよう 小豆島町 (香川県)	△ 21	6	まつのちよう 松野町 (愛媛県)	△ 36.67
7	かいたちちよう 海田町 (広島県)	△ 18	7	しもかわちちよう 下川町 (北海道)	△ 36.36
8	むかわちちよう むかわ町 (北海道)	△ 16	8	かみかつちちよう 上勝町 (徳島県)	△ 35.71
9	にぶどがわちちよう 仁淀川町 (高知県)	△ 15	9	ちつぶつちちよう 秩父別町 (北海道)	△ 33.33
9	かどがわちちよう 門川町 (宮崎県)	△ 15	9	かわむら 川場村 (群馬県)	△ 33.33
			9	かみのせきちちよう 上関町 (山口県)	△ 33.33
			9	いつきむら 五木村 (熊本県)	△ 33.33

<市区町村別：【外国人住民】自然減少>

○最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市、町村は京都府久御山町
 最も自然減少率の大きい市区は北海道砂川市、町村は宮崎県諸塚村

外国人住民において、最も自然減少数の多い市区は大阪府大阪市（△320人）、町村は京都府久御山町（△5人）で、最も自然減少率の大きい市区は北海道砂川市（△4.35%）、町村は宮崎県諸塚村（△16.67%）となっている。（第20-9～20-10表参照）

第20-9表 自然減少の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数		自然増減率	
順位	市区名	人	%
1	おおさかし 大阪市 (大阪府)	△ 320	
2	きょうとし 京都市 (京都府)	△ 111	
3	ひがしおおさかし 東大阪市 (大阪府)	△ 91	
4	こうべし 神戸市 (兵庫県)	△ 53	
5	あまがさきし 尼崎市 (兵庫県)	△ 34	
6	しものせきし 下関市 (山口県)	△ 32	
7	たからづかし 宝塚市 (兵庫県)	△ 21	
8	もりくちし 守口市 (大阪府)	△ 17	
9	うべし 宇部市 (山口県)	△ 15	
10	うじし 宇治市 (京都府)	△ 13	

第20-10表 自然減少の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

自然増減数		自然増減率	
順位	町村名	人	%
1	くみやまちょう 久御山町 (京都府)	△ 5	
2	むかわ町 (北海道)	△ 3	
2	白馬村 (長野県)	△ 3	
2	忠岡町 (大阪府)	△ 3	
2	八頭町 (鳥取県)	△ 3	
2	鞍手町 (福岡県)	△ 3	
2	福智町 (福岡県)	△ 3	
8	明和町 (群馬県)	△ 2	
8	吉見町 (埼玉県)	△ 2	
8	芝山町 (千葉県)	△ 2	
8	日の出町 (東京都)	△ 2	
8	富士川町 (山梨県)	△ 2	
8	設楽町 (愛知県)	△ 2	
8	熊取町 (大阪府)	△ 2	
8	香美町 (兵庫県)	△ 2	
8	白浜町 (和歌山県)	△ 2	
8	湯梨浜町 (鳥取県)	△ 2	

<市区町村別：【外国人住民】社会減少>

○最も社会減少数の多い市区は福井県越前市、町村は長野県御代田町
 最も社会減少率の大きい市区は青森県平川市、町村は東京都青ヶ島村及び鹿児島県大和村

外国人住民において、最も社会減少数の多い市区は福井県越前市（△146人）、町村は長野県御代田町（△37人）で、最も社会減少率の大きい市区は青森県平川市（△27.08%）、町村は東京都青ヶ島村及び鹿児島県大和村（ともに△100.00%）となっている。（第20-11～20-12表参照）

第20-11表 社会減少の多い市区【外国人住民】(平成28年中)

社会増減数		社会増減率	
順位	市区名	人	%
1	えちぜんし 越前市 (福井県)	△ 146	
2	のかがたし 直方市 (福岡県)	△ 144	
3	こさいし 湖西市 (静岡県)	△ 111	
4	うらそえし 浦添市 (沖縄県)	△ 104	
5	あきたし 秋田市 (秋田県)	△ 71	
6	いいたし 飯田市 (長野県)	△ 57	
7	さかたし 酒田市 (山形県)	△ 50	
8	さばえし 鯖江市 (福井県)	△ 48	
9	うわじまし 宇和島市 (愛媛県)	△ 46	
10	あしやし 芦屋市 (兵庫県)	△ 38	

第20-12表 社会減少の多い町村【外国人住民】(平成28年中)

社会増減数		社会増減率	
順位	町村名	人	%
1	みよたまち 御代田町 (長野県)	△ 37	
2	みほむら 美浦村 (茨城県)	△ 31	
3	ごうどちよう 神戸町 (岐阜県)	△ 26	
4	かいしたちよう 海田町 (広島県)	△ 24	
5	まつのちよう 松野町 (愛媛県)	△ 22	
6	しょうどしまちよう 小豆島町 (香川県)	△ 21	
7	くらてまち 鞍手町 (福岡県)	△ 20	
8	にやどがわちよう 仁淀川町 (高知県)	△ 15	
9	のどちよう 能登町 (石川県)	△ 14	
9	かどがわちよう 門川町 (宮崎県)	△ 14	
9	おおさきちよう 大崎町 (鹿児島県)	△ 14	

(参考)

○ 平成28年中の外国人住民の人口増加数の多い10団体は、三大都市圏の都市部に集中しており、外国人住民の人口増加の総計の人口増加への影響度(外国人住民の人口増加数÷総計の人口増加数)が増している団体がほとんどで、影響度が5割前後又はそれ以上にのぼる団体も多い。(第21表参照)

第21表 (参考)外国人住民の人口増加数の多い市区町村の状況(平成28年中)

順位	市区町村名	平成28年中			平成27年中		
		外国人住民の人口増加数	総計 (日本人住民 +外国人住民) の人口増加数	割合 A/B	外国人住民 の人口増加数	総計 (日本人住民 +外国人住民) の人口増加数	割合 C/D
		A 人	B 人	%	C 人	D 人	%
1	よこはまし 横浜市 (神奈川県)	5,161	6,486	79.6	3,602	7,107	50.7
2	なごやし 名古屋市 (愛知県)	4,991	9,750	51.2	2,270	9,004	25.2
3	おおさかし 大阪市 (大阪府)	4,899	9,870	49.6	3,649	10,789	33.8
4	えどがわく 江戸川区 (東京都)	2,714	5,127	52.9	2,819	6,125	46.0
4	かわさきし 川崎市 (神奈川県)	2,714	14,399	18.8	2,164	14,284	15.1
6	しんじゅくく 新宿区 (東京都)	2,650	4,295	61.7	2,569	6,481	39.6
7	としまく 豊島区 (東京都)	2,520	3,668	68.7	2,924	5,132	57.0
7	いたばし 板橋区 (東京都)	2,520	6,551	38.5	2,125	6,586	32.3
9	かわぐちし 川口市 (埼玉県)	2,348	2,811	83.5	2,378	3,479	68.4
10	ふくおかし 福岡市 (福岡県)	2,263	13,969	16.2	1,694	14,641	11.6

○平成28年中の出生者数が10人未満の団体は、82団体

総計において、平成28年中の出生者数が10人未満の団体は、82団体(前年80団体)となっており、人口段階が4千人未満の区分に分布している。

また、出生者数が0人である団体は、2団体(前年3団体)となっており、人口段階が1千人未満の区分に分布している。(第22表参照)

第22表 人口段階別・出生者数別の市区町村数【総計】(単位:団体)

	計	人口段階(平成29年人口)															
		1人 ~	500人 ~	1千人 ~	2千人 ~	3千人 ~	4千人 ~	5千人 ~	6千人 ~	7千人 ~	8千人 ~	9千人 ~	1万人 ~	3万人 ~	5万人 ~	10万人 ~	
出生者数 (平成28年中)	0人	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1人~	80	10	17	33	16	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10人~	115	0	1	16	34	32	17	10	2	3	0	0	0	0	0	
	20人~	106	0	0	1	6	25	26	17	12	13	5	1	0	0	0	
	30人~	77	0	0	0	1	2	13	20	11	12	7	8	3	0	0	
	40人~	79	0	0	0	0	1	0	4	12	17	16	12	17	0	0	
	50人~	246	0	0	0	0	0	1	4	10	12	17	20	182	0	0	
	100人~	257	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	206	49	0	
	200人~	166	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	119	16	
	300人~	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	56	53	
400人~	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	61		
500人~	425	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	133	287	

注)人口が0人の団体を除く。

<トピックス>

○ 全国的に人口減少が進展する中、直近3年連続で人口（日本人住民）が増加している団体（203団体）のうち、人口増加に寄与する取組を行っているいくつかの団体について、主な取組を紹介します。

団体名、H29.1.1人口、人口増加数(H26,H27,H28年中) (日本人住民人口ベース)		人口増加に寄与したと考えられる主な取組 (市町村からの回答を要約して記載)
青森県 おいらせ町 <small>ちよう</small>	H29年 25,228人	人口減少地区を対象として、若い世代の移住を促す移住支援（住居新築や中古住宅購入に支援）を実施。中学生以下の医療費無料化や保育料の引下げ、児童センターの無料化を実施し、地域ぐるみで子育てをサポート
	H26年中 +16人	
	H27年中 +3人	
	H28年中 +108人	
福島県 おおたまむら大玉村	H29年 8,536人	18歳までの子供医療費無料化、2人目以降の保育料無料化、子育て祝金制度や在宅子育て応援交付金制度などの子育て支援策の充実や、宅地造成事業者への交付金制度、宅地として必要なインフラの整備支援など住宅誘導・定住化促進事業を実施
	H26年中 +27人	
	H27年中 +11人	
	H28年中 +42人	
福島県 しんちまち新地町	H29年 8,010人	若者定住促進住宅の整備、18歳以下の子どもを扶養している定住促進住宅入居世帯に対する助成（1世帯につき月額5千円）、出生児祝金（出生児1人につき3万円。居住要件1年）、子ども医療費助成（町内に住む子どもの医療保険適用診療の自己負担額を助成）、保育所同時入所2人目以降の保育料無料
	H26年中 +8人	
	H27年中 +67人	
	H28年中 +13人	
茨城県 かみすし神栖市	H29年 92,724人	子育て支援施策（医療費助成（県制度対象外の妊産婦を対象）、医療費助成（小児～高校生相当）、不妊治療費助成、分娩者手当金、子育てコンシェルジュ（H28年度～）、子育てに関するセミナーやSNSでの情報発信など）、定住促進施策（若年世帯住宅取得補助、新築住宅に係る固定資産税の独自減免、UIターン促進のための地元就職説明会など）
	H26年中 +77人	
	H27年中 +183人	
	H28年中 +108人	
福井県 さばえし鯖江市	H29年 68,365人	若者が住みたくなる・住み続けたいくなるまちづくり（河和田アートキャンプでは、毎夏100人前後の学生が空き家古民家を拠点にアート活動や地域住民との交流を展開し、12人が定住。ゆるい移住で体験移住した15人中4人が移住又は就労）。IT関連企業や新分野進出企業への就労者が増加し、44人が移住
	H26年中 +9人	
	H27年中 +48人	
	H28年中 +80人	
静岡県 ながいずみちよう長泉町	H29年 42,654人	可住地面積が小さく、産業誘致による安定した財政基盤を背景として、こども医療費助成、多子世帯保育料の経済的支援、公立の幼稚園・保育園・小学校・中学校の全教室へのエアコン設置、健康づくり拠点施設整備等を実施
	H26年中 +175人	
	H27年中 +318人	
	H28年中 +197人	
和歌山県 ひだかちよう日高町	H29年 7,938人	子ども医療費の無料化（所得制限なし。0～18歳の子ども）、保育所での0歳児保育の実施（生後6か月～）、学童保育所の開設・運営（2か所）、地籍調査完了による土地取引の円滑化
	H26年中 +3人	
	H27年中 +24人	
	H28年中 +26人	
鹿児島県 としまむら十島村	H29年 718人	定住促進住宅や空き家改修住宅の貸出し、婚姻・出生等に伴う生活資金（居住要件1年以上）、村内就業者育成奨励金。定住プロジェクトチームによる移住希望者への情報提供や移住者への生活相談等（H22～28年の村への定着率81%）
	H26年中 +28人	
	H27年中 +19人	
	H28年中 +35人	
沖縄県 いしがきし石垣市	H29年 48,943人	移住希望者に対する地域情報発信、移住・定住をサポートするネットワークの構築、保育士誘致のための渡航費支援及び高齢者の受入れを目的とする石垣版CCRCの策定等の移住・定住対策を実施
	H26年中 +103人	
	H27年中 +208人	
	H28年中 +73人	
沖縄県 たけとみちよう竹富町	H29年 4,218人	H25年の南ぬ島石垣空港の開港に伴う観光客の増加により、ホテル・民宿を含む観光業の雇用が増大。H28年4月から出産祝金が増額になったほか、こども医療費助成、助成対象者の往復乗船料金の補助等、子育て支援策を実施
	H26年中 +92人	
	H27年中 +49人	
	H28年中 +16人	

(5) 三大都市圏及び地方圏の人口及び人口動態

- 日本人住民の三大都市圏の人口が、11年連続で全国人口の半数を上回る。
- 日本人住民では、東京圏は引き続き増加、名古屋圏、関西圏は引き続き減少。
- 外国人住民の三大都市圏の人口が、5年連続で全国人口の7割を上回る。
- 外国人住民では、近年は東京圏、名古屋圏、関西圏とも増加が続いている。

三大都市圏（東京圏、名古屋圏及び関西圏）の人口は、総計では、6,617万0,674人（前年6,602万5,920人）で、全国人口の51.73%（前年51.56%）となっている。内訳は、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）が28.39%（前年28.22%）、名古屋圏（岐阜県、愛知県及び三重県）が8.94%（前年8.93%）及び関西圏（京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県）が14.40%（前年14.41%）となっている。

日本人住民では、6,453万0,258人（前年6,449万0,005人）で、全国人口の51.38%（前年51.23%）となり、11年連続して50%を超えた。内訳は、東京圏が28.16%（前年28.01%）、名古屋圏が8.86%（前年と同じ）及び関西圏が14.36%（前年と同じ）となっている。

外国人住民では、164万0,416人（前年153万5,915人）で、全国人口の70.60%（前年70.63%）となり、5年連続して70%を超えた。内訳は、東京圏が40.98%（前年40.48%）、名古屋圏が13.23%（前年13.22%）及び関西圏が16.39%（前年16.93%）となっている。

一方、地方圏の人口は、総計では6,173万6,412人（前年6,204万0,291人）で、全国人口の48.27%（前年48.44%）、日本人住民では6,105万3,400人（前年6,140万1,737人）で、全国人口の48.62%（前年48.77%）で、外国人住民では68万3,012人（前年63万8,554人）で、全国人口の29.40%（前年29.37%）となっている。

三大都市圏の人口動態をみると、日本人住民では、東京圏の人口は引き続き増加しており、名古屋圏、関西圏の人口は引き続き減少している。外国人住民では、近年は東京圏、名古屋圏、関西圏とも増加が続いている。（第23-1～23-3表参照）

第23-1表 三大都市圏及び地方圏の人口の推移【総計】

圏域	区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
東京圏	総人口 人	35,739,042	(35,745,690)	35,839,351	35,973,253	36,140,812	36,312,851
	増減人口 人	—	(—)	93,661	133,902	167,559	172,039
	増減率 %	—	(—)	0.26	0.37	0.47	0.48
	全国人口に占める割合%	27.84	(27.78)	27.90	28.05	28.22	28.39
名古屋圏	総人口 人	11,437,298	(11,456,737)	11,445,642	11,437,654	11,435,859	11,440,250
	増減人口 人	—	(—)	△ 11,095	△ 7,988	△ 1,795	4,391
	増減率 %	—	(—)	△ 0.10	△ 0.07	△ 0.02	0.04
	全国人口に占める割合%	8.91	(8.90)	8.91	8.92	8.93	8.94
関西圏	総人口 人	18,526,582	(18,560,203)	18,522,993	18,482,161	18,449,249	18,417,573
	増減人口 人	—	(—)	△ 37,210	△ 40,832	△ 32,912	△ 31,676
	増減率 %	—	(—)	△ 0.20	△ 0.22	△ 0.18	△ 0.17
	全国人口に占める割合%	14.43	(14.42)	14.42	14.41	14.41	14.40
三大都市圏合計	総人口 人	65,702,922	(65,762,630)	65,807,986	65,893,068	66,025,920	66,170,674
	増減人口 人	—	(—)	45,356	85,082	132,852	144,754
	増減率 %	—	(—)	0.07	0.13	0.20	0.22
	全国人口に占める割合%	51.18	(51.10)	51.24	51.39	51.56	51.73
地方圏	総人口 人	62,670,957	(62,921,749)	62,630,027	62,333,415	62,040,291	61,736,412
	増減人口 人	—	(—)	△ 291,722	△ 296,612	△ 293,124	△ 303,879
	増減率 %	—	(—)	△ 0.46	△ 0.47	△ 0.47	△ 0.49
	全国人口に占める割合%	48.82	(48.90)	48.76	48.61	48.44	48.27
全国計	総人口 人	128,373,879	(128,684,379)	128,438,013	128,226,483	128,066,211	127,907,086
	増減人口 人	—	(—)	△ 246,366	△ 211,530	△ 160,272	△ 159,125
	増減率 %	—	(—)	△ 0.19	△ 0.16	△ 0.12	△ 0.12
	全国人口に占める割合%	100.00	(100.00)	100.00	100.00	100.00	100.00

注1) 地域区分は次のとおりである。

- 三大都市圏 { 東京圏……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- { 名古屋圏……岐阜県、愛知県、三重県
- { 関西圏……京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

地方圏……三大都市圏をのぞく地域

※第23-2～23-6表においても同様である。

注2) 平成25年は3月31日現在の数値、

平成26年以降は各年1月1日現在の数値である。

なお、平成25年の()書きは1月1日現在の数値である。

第23-2表 三大都市圏及び地方圏の人口の推移【日本人住民】

圏域	区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
東京圏	総人口 人	34,974,050	(34,972,892)	35,057,747	35,151,697	35,260,591	35,360,696
	増減人口 人	60,289	(-)	84,855	93,950	108,894	100,105
	増減率 %	0.17	(-)	0.24	0.27	0.31	0.28
	全国人口に占める割合%	27.67	(27.61)	27.73	27.86	28.01	28.16
名古屋圏	総人口 人	11,162,249	(11,177,721)	11,171,220	11,160,249	11,148,377	11,132,812
	増減人口 人	△ 8,479	(-)	△ 6,501	△ 10,971	△ 11,872	△ 15,565
	増減率 %	△ 0.08	(-)	△ 0.06	△ 0.10	△ 0.11	△ 0.14
	全国人口に占める割合%	8.83	(8.82)	8.84	8.85	8.86	8.86
関西圏	総人口 人	18,169,689	(18,199,730)	18,165,652	18,123,138	18,081,037	18,036,750
	増減人口 人	△ 26,632	(-)	△ 34,078	△ 42,514	△ 42,101	△ 44,287
	増減率 %	△ 0.15	(-)	△ 0.19	△ 0.23	△ 0.23	△ 0.24
	全国人口に占める割合%	14.38	(14.37)	14.37	14.36	14.36	14.36
三大都市圏 合計	総人口 人	64,305,988	(64,350,343)	64,394,619	64,435,084	64,490,005	64,530,258
	増減人口 人	25,178	(-)	44,276	40,465	54,921	40,253
	増減率 %	0.04	(-)	0.07	0.06	0.09	0.06
	全国人口に占める割合%	50.88	(50.80)	50.93	51.07	51.23	51.38
地方圏	総人口 人	62,087,691	(62,328,305)	62,040,015	61,728,492	61,401,737	61,053,400
	増減人口 人	△ 291,182	(-)	△ 288,290	△ 311,523	△ 326,755	△ 348,337
	増減率 %	△ 0.47	(-)	△ 0.46	△ 0.50	△ 0.53	△ 0.57
	全国人口に占める割合%	49.12	(49.20)	49.07	48.93	48.77	48.62
全国計	総人口 人	126,393,679	(126,678,648)	126,434,634	126,163,576	125,891,742	125,583,658
	増減人口 人	△ 266,004	(-)	△ 244,014	△ 271,058	△ 271,834	△ 308,084
	増減率 %	△ 0.21	(-)	△ 0.19	△ 0.21	△ 0.22	△ 0.24
	全国人口に占める割合%	100.00	(100.00)	100.00	100.00	100.00	100.00

注) 平成25年は各年3月31日現在、平成26年以降は各年1月1日現在の数値である。

なお、平成25年の()書きは1月1日現在の数値である。

※第23-3～23-6表においても同様である。

第23-3表 三大都市圏及び地方圏の人口の推移【外国人住民】

圏域	区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
東京圏	総人口 人	764,992	(772,798)	781,604	821,556	880,221	952,155
	増減人口 人	-	(-)	8,806	39,952	58,665	71,934
	増減率 %	-	(-)	1.14	5.11	7.14	8.17
	全国人口に占める割合%	38.63	(38.53)	39.01	39.83	40.48	40.98
名古屋圏	総人口 人	275,049	(279,016)	274,422	277,405	287,482	307,438
	増減人口 人	-	(-)	△ 4,594	2,983	10,077	19,956
	増減率 %	-	(-)	△ 1.65	1.09	3.63	6.94
	全国人口に占める割合%	13.89	(13.91)	13.70	13.45	13.22	13.23
関西圏	総人口 人	356,893	(360,473)	357,341	359,023	368,212	380,823
	増減人口 人	-	(-)	△ 3,132	1,682	9,189	12,611
	増減率 %	-	(-)	△ 0.87	0.47	2.56	3.42
	全国人口に占める割合%	18.02	(17.97)	17.84	17.40	16.93	16.39
三大都市圏 合計	総人口 人	1,396,934	(1,412,287)	1,413,367	1,457,984	1,535,915	1,640,416
	増減人口 人	-	(-)	1,080	44,617	77,931	104,501
	増減率 %	-	(-)	0.08	3.16	5.35	6.80
	全国人口に占める割合%	70.55	(70.41)	70.55	70.68	70.63	70.60
地方圏	総人口 人	583,266	(593,444)	590,012	604,923	638,554	683,012
	増減人口 人	-	(-)	△ 3,432	14,911	33,631	44,458
	増減率 %	-	(-)	△ 0.58	2.53	5.56	6.96
	全国人口に占める割合%	29.45	(29.59)	29.45	29.32	29.37	29.40
全国計	総人口 人	1,980,200	(2,005,731)	2,003,379	2,062,907	2,174,469	2,323,428
	増減人口 人	-	(-)	△ 2,352	59,528	111,562	148,959
	増減率 %	-	(-)	△ 0.12	2.97	5.41	6.85
	全国人口に占める割合%	100.00	(100.00)	100.00	100.00	100.00	100.00

第23-4表(参考) 関西圏に滋賀県を加えた場合の人口の推移【総計】

区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口 人	19,946,008	(19,981,915)	19,944,772	19,903,503	19,869,112	19,837,833
増減人口 人	-	(-)	△ 37,143	△ 41,269	△ 34,391	△ 31,279
増減率 %	-	(-)	△ 0.19	△ 0.21	△ 0.17	△ 0.16
全国人口に占める割合%	15.54	(15.53)	15.53	15.52	15.51	15.51

第23-5表(参考) 関西圏に滋賀県を加えた場合の人口の推移【日本人住民】

区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口 人	19,565,052	(19,597,224)	19,563,607	19,520,921	19,477,061	19,431,967
増減人口 人	△ 25,741	(-)	△ 33,617	△ 42,686	△ 43,860	△ 45,094
増減率 %	△ 0.13	(-)	△ 0.17	△ 0.22	△ 0.22	△ 0.23
全国人口に占める割合%	15.48	(15.47)	15.47	15.47	15.47	15.47

第23-6表(参考) 関西圏に滋賀県を加えた場合の人口の推移【外国人住民】

区分	平成25年	(平成25年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口 人	380,956	(384,691)	381,165	382,582	392,051	405,866
増減人口 人	-	(-)	△ 3,526	1,417	9,469	13,815
増減率 %	-	(-)	△ 0.92	0.37	2.48	3.52
全国人口に占める割合%	19.24	(19.18)	19.03	18.55	18.03	17.47

2 年齢階級別人口

(1) 全国の年齢階級別人口

<日本人住民>

○年少人口は、調査開始（平成6年）以降毎年減少

生産年齢人口は、調査開始以降平成7年を除き毎年減少

老年人口は、調査開始以降毎年増加。平成27年から年少人口の2倍以上に

○全国人口に占める年少人口・生産年齢人口の割合は、調査開始以降毎年減少

// 老年人口の割合は、調査開始以降毎年増加

全国人口を年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）及び老年人口（65歳以上）の3区分に分けてみると、日本人住民においては、年少人口は調査開始（平成6年）以降毎年減少し、生産年齢人口は平成7年を除き毎年減少している。老年人口は調査開始（平成6年）以降毎年増加しており、平成27年から年少人口の2倍以上となっている。

年少人口及び生産年齢人口の割合は、調査開始（平成6年）以降毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加している。

外国人住民においては、年少人口、生産年齢人口及び老年人口のいずれも増加した。

また、生産年齢人口の割合が増加傾向にある。（第24-2～24-3表、第6図参照）

第24-1表 年齢3区分別人口の推移【総計】

区分	年少人口 (0歳～14歳)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老年人口 (65歳～)	
	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
平成25年	16,778,976	13.07	80,626,569	62.81	30,968,259	24.12
26	16,666,492	12.98	80,051,167	62.33	31,720,283	24.70
27	16,492,143	12.86	78,909,420	61.54	32,824,841	25.60
28	16,321,807	12.74	78,122,617	61.00	33,621,722	26.25
29	16,142,185	12.62	77,491,846	60.58	34,272,983	26.80

注1) 平成25年は3月31日現在の数値、平成26年以降は各年1月1日現在の数値である。

注2) 各年の数値には、年齢不詳者を含んでいない。

(参考) 直近の平成29年の数値は、北海道、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、大阪府、広島県における年齢不詳者72名を含んでいない。

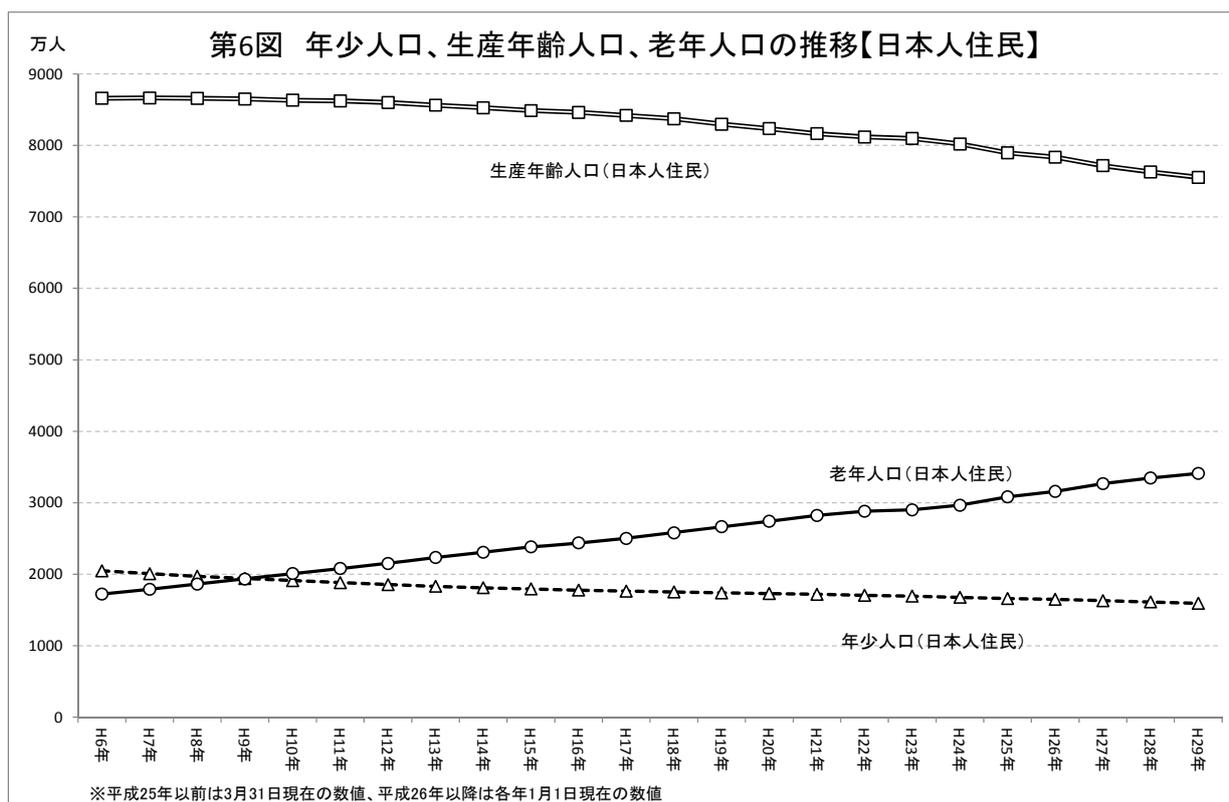
第24-2表 年齢3区分別人口の推移【日本人住民】

区分	年少人口 (0歳～14歳)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老年人口 (65歳～)	
	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
平成6年	20,485,442	16.48	86,598,018	69.65	17,239,327	13.87
7	20,093,036	16.12	86,649,448	69.51	17,913,004	14.37
8	19,714,150	15.78	86,582,907	69.31	18,617,298	14.90
9	19,425,387	15.51	86,498,427	69.06	19,333,231	15.43
10	19,119,187	15.23	86,324,563	68.75	20,124,226	16.03
11	18,834,705	14.96	86,218,016	68.50	20,807,262	16.53
12	18,553,275	14.72	85,995,230	68.21	21,522,783	17.07
13	18,315,957	14.50	85,625,823	67.80	22,343,007	17.69
14	18,119,254	14.33	85,276,195	67.42	23,083,204	18.25
15	17,956,209	14.17	84,883,351	67.00	23,848,786	18.82
16	17,789,885	14.03	84,631,007	66.73	24,403,257	19.24
17	17,651,202	13.91	84,197,124	66.37	25,021,054	19.72
18	17,533,066	13.80	83,729,754	65.90	25,792,190	20.30
19	17,402,456	13.70	82,975,838	65.31	26,675,163	21.00
20	17,302,784	13.62	82,351,921	64.81	27,411,466	21.57
21	17,205,567	13.54	81,650,386	64.25	28,220,227	22.21
22	17,054,019	13.42	81,187,923	63.90	28,815,916	22.68
23	16,943,391	13.35	80,970,301	63.79	29,009,716	22.86
24	16,778,104	13.25	80,206,724	63.32	29,674,852	23.43
25	16,601,643	13.13	78,957,764	62.47	30,834,268	24.40
26	16,489,385	13.04	78,362,826	61.98	31,582,416	24.98
27	16,310,018	12.93	77,172,787	61.17	32,680,764	25.90
28	16,133,110	12.82	76,287,032	60.60	33,471,594	26.59
29	15,940,547	12.69	75,526,716	60.14	34,116,389	27.17

注1) 平成25年以前は各年3月31日現在の数値、平成26年以降は各年1月1日現在の数値である。

注2) 各年の数値には、年齢不詳者を含んでいない。

(参考) 直近の平成29年の数値は、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県における年齢不詳者6名を含んでいない。



第24-3表 年齢3区分別人口の推移【外国人住民】

区分	年少人口 (0歳～14歳)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老年人口 (65歳～)	
	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
平成25年	177,333	8.96	1,668,805	84.28	133,991	6.77
26	177,107	8.84	1,688,341	84.28	137,867	6.88
27	182,125	8.83	1,736,633	84.19	144,077	6.98
28	188,697	8.68	1,835,585	84.42	150,128	6.90
29	201,638	8.68	1,965,130	84.58	156,594	6.74

注1) 平成25年は3月31日現在の数値、平成26年以降は各年1月1日現在の数値である。

注2) 各年の数値には、年齢不詳者を含んでいない。

(参考) 直近の平成29年の数値は、北海道、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、大阪府、広島県における年齢不詳者66名を含んでいない。

人口を年齢階級（5歳階級）別にみると、総計では、人口の最も多い年齢階級は65～69歳（1,017万2,843人、全国人口の7.95%）で、次いで40～44歳（978万8,855人、全国人口の7.65%）、45～49歳（950万1,469人、全国人口の7.43%）の順となっており、前年に引き続き、45歳以上の人口で全国人口の過半数（6,728万8,701人、52.61%）を占めている。（第25-1表、第7-1図参照）

第25-1表 全国の年齢階級(5歳階級)別人口【総計】(平成29年人口)

	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
0～4歳	2,621,231	2,490,499	5,111,730	4.00
5～9	2,785,944	2,646,286	5,432,230	4.25
10～14	2,868,662	2,729,563	5,598,225	4.38
15～19	3,090,372	2,942,630	6,033,002	4.72
20～24	3,243,592	3,079,965	6,323,557	4.94
25～29	3,399,524	3,223,084	6,622,608	5.18
30～34	3,808,238	3,656,088	7,464,326	5.84
35～39	4,199,117	4,044,663	8,243,780	6.45
40～44	4,976,555	4,812,300	9,788,855	7.65
45～49	4,807,492	4,693,977	9,501,469	7.43
50～54	3,989,860	3,937,541	7,927,401	6.20
55～59	3,763,163	3,774,218	7,537,381	5.89
60～64	3,976,493	4,072,974	8,049,467	6.29
65～69	4,929,868	5,242,975	10,172,843	7.95
70～74	3,417,616	3,914,181	7,331,797	5.73
75～79	2,903,418	3,621,089	6,524,507	5.10
80～84	2,064,886	3,043,941	5,108,827	3.99
85～89	1,095,016	2,114,143	3,209,159	2.51
90～94	376,916	1,087,992	1,464,908	1.15
95～99	68,342	327,978	396,320	0.31
100歳以上	7,944	56,678	64,622	0.05
計	62,394,249	65,512,765	127,907,014	100

注) 年齢不詳者を含んでいない。

※第25-2～25-3表においても同様である。

日本人住民では、人口の最も多い年齢階級は65～69歳（1,011万5,585人、全国人口の8.05%）、次いで40～44歳（959万6,140人、全国人口の7.64%）、45～49歳（931万7,450人、全国人口の7.42%）の順となっており、前年に引き続き、45歳以上の人口で全国人口の過半数（6,662万5,976人、53.05%）を占めている。（第25-2表、第7-2図参照）

第25-2表 全国の年齢階級(5歳階級)別人口【日本人住民】(平成29年人口)

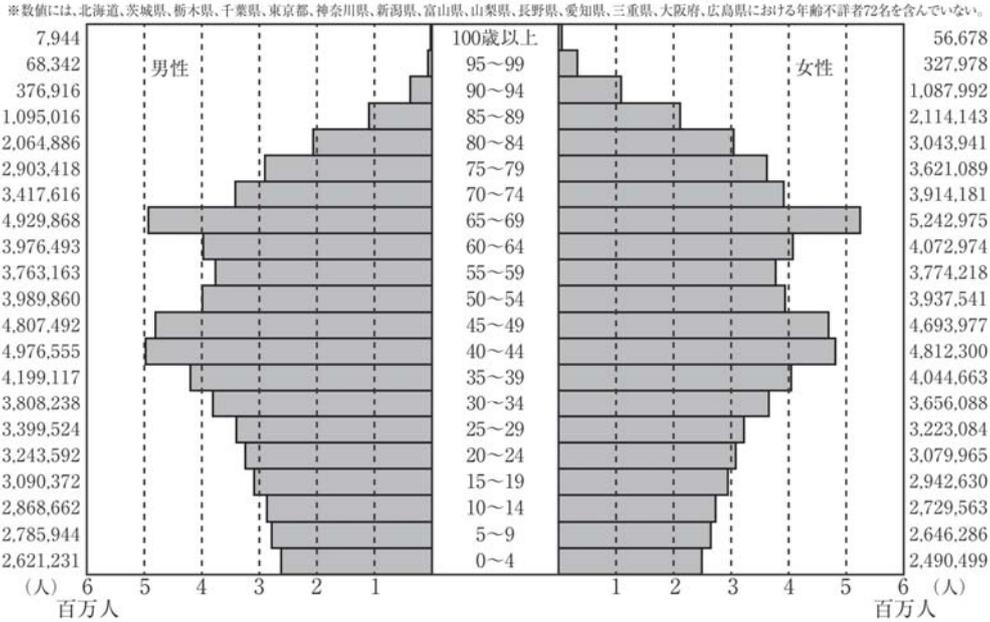
	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
0～4歳	2,579,055	2,450,748	5,029,803	4.01
5～9	2,752,724	2,614,884	5,367,608	4.27
10～14	2,840,441	2,702,695	5,543,136	4.41
15～19	3,040,389	2,894,432	5,934,821	4.73
20～24	3,073,882	2,932,345	6,006,227	4.78
25～29	3,213,241	3,064,190	6,277,431	5.00
30～34	3,673,087	3,515,023	7,188,110	5.72
35～39	4,096,070	3,918,330	8,014,400	6.38
40～44	4,895,103	4,701,037	9,596,140	7.64
45～49	4,735,221	4,582,229	9,317,450	7.42
50～54	3,930,711	3,851,524	7,782,235	6.20
55～59	3,720,812	3,715,932	7,436,744	5.92
60～64	3,943,041	4,030,117	7,973,158	6.35
65～69	4,902,614	5,212,971	10,115,585	8.05
70～74	3,399,965	3,893,127	7,293,092	5.81
75～79	2,891,595	3,604,385	6,495,980	5.17
80～84	2,058,411	3,032,813	5,091,224	4.05
85～89	1,092,155	2,108,056	3,200,211	2.55
90～94	375,666	1,085,008	1,460,674	1.16
95～99	68,061	327,108	395,169	0.31
100歳以上	7,919	56,535	64,454	0.05
計	61,290,163	64,293,489	125,583,652	100

外国人住民では、人口の最も多い年齢階級は25～29歳（34万5,177人、全国人口の14.86%）で、次いで20～24歳（31万7,330人、全国人口の13.66%）、30～34歳（27万6,216人、全国人口の11.89%）の順となっており、前年に引き続き、30歳以上の人口で全国人口の過半数（136万1,036人、58.58%）を占めている。（第25-3表、第7-3図参照）

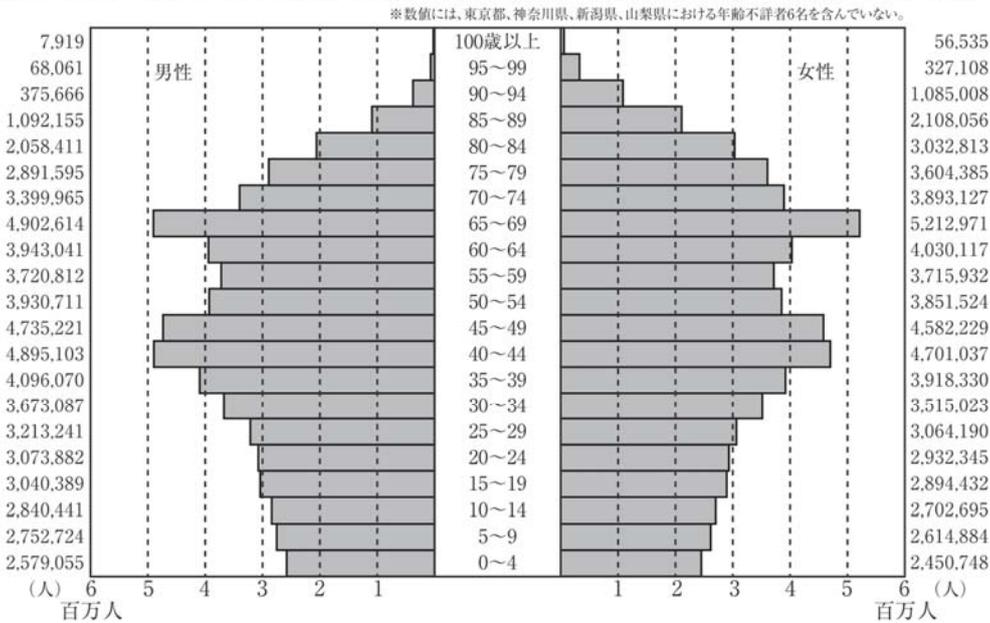
第25-3表 全国の年齢階級(5歳階級)別人口【外国人住民】(平成29年人口)

	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
0～4歳	42,176	39,751	81,927	3.53
5～9	33,220	31,402	64,622	2.78
10～14	28,221	26,868	55,089	2.37
15～19	49,983	48,198	98,181	4.23
20～24	169,710	147,620	317,330	13.66
25～29	186,283	158,894	345,177	14.86
30～34	135,151	141,065	276,216	11.89
35～39	103,047	126,333	229,380	9.87
40～44	81,452	111,263	192,715	8.29
45～49	72,271	111,748	184,019	7.92
50～54	59,149	86,017	145,166	6.25
55～59	42,351	58,286	100,637	4.33
60～64	33,452	42,857	76,309	3.28
65～69	27,254	30,004	57,258	2.46
70～74	17,651	21,054	38,705	1.67
75～79	11,823	16,704	28,527	1.23
80～84	6,475	11,128	17,603	0.76
85～89	2,861	6,087	8,948	0.39
90～94	1,250	2,984	4,234	0.18
95～99	281	870	1,151	0.05
100歳以上	25	143	168	0.01
計	1,104,086	1,219,276	2,323,362	100

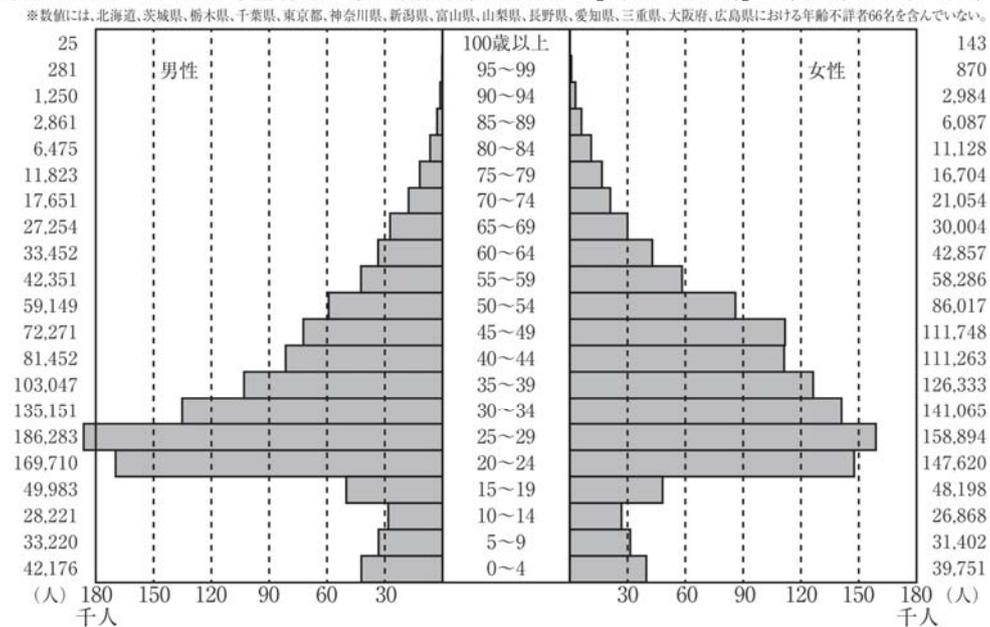
第7-1図 全国の年齢階級（5歳階級）別人口【総計】（平成29年人口）



第7-2図 全国の年齢階級（5歳階級）別人口【日本人住民】（平成29年人口）



第7-3図 全国の年齢階級（5歳階級）別人口【外国人住民】（平成29年人口）



年齢階級別に男女の人口の構成比をみると、総計については50～54歳の階級まで、日本人住民については55～59歳の階級までが、男性の構成比の方が女性の構成比より大きいですが、これらの階級より上の階級では、逆転して女性の構成比の方が男性の構成比を上回っている。

外国人住民については、25～29歳の階級までは、男性の構成比の方が女性の構成比より大きいですが、この階級より上の階級では、逆転して女性の構成比の方が男性の構成比を上回っている。（第26表参照）

第26表 年齢階級別人口男女構成比(平成29年人口)

【総計】			【日本人住民】			【外国人住民】		
年 齢	男性(%)	女性(%)	年 齢	男性(%)	女性(%)	年 齢	男性(%)	女性(%)
0～4	51.28	48.72	0～4	51.28	48.72	0～4	51.48	48.52
5～9	51.29	48.71	5～9	51.28	48.72	5～9	51.41	48.59
10～14	51.24	48.76	10～14	51.24	48.76	10～14	51.23	48.77
15～19	51.22	48.78	15～19	51.23	48.77	15～19	50.91	49.09
20～24	51.29	48.71	20～24	51.18	48.82	20～24	53.48	46.52
25～29	51.33	48.67	25～29	51.19	48.81	25～29	53.97	46.03
30～34	51.02	48.98	30～34	51.10	48.90	30～34	48.93	51.07
35～39	50.94	49.06	35～39	51.11	48.89	35～39	44.92	55.08
40～44	50.84	49.16	40～44	51.01	48.99	40～44	42.27	57.73
45～49	50.60	49.40	45～49	50.82	49.18	45～49	39.27	60.73
50～54	50.33	49.67	50～54	50.51	49.49	50～54	40.75	59.25
55～59	49.93	50.07	55～59	50.03	49.97	55～59	42.08	57.92
60～64	49.40	50.60	60～64	49.45	50.55	60～64	43.84	56.16
65～69	48.46	51.54	65～69	48.47	51.53	65～69	47.60	52.40
70～74	46.61	53.39	70～74	46.62	53.38	70～74	45.60	54.40
75～79	44.50	55.50	75～79	44.51	55.49	75～79	41.44	58.56
80～84	40.42	59.58	80～84	40.43	59.57	80～84	36.78	63.22
85～89	34.12	65.88	85～89	34.13	65.87	85～89	31.97	68.03
90～94	25.73	74.27	90～94	25.72	74.28	90～94	29.52	70.48
95～99	17.24	82.76	95～99	17.22	82.78	95～99	24.41	75.59
100～	12.29	87.71	100～	12.29	87.71	100～	14.88	85.12
計	48.78	51.22	計	48.80	51.20	計	47.52	52.48

(2) 都道府県別の年齢階級別人口

都道府県別の人口を年齢3区分別にみると、総計では、人口に占める年少人口の割合が最も大きいのは、沖縄県（17.26%）で、次いで滋賀県（14.47%）、佐賀県（13.81%）の順で続いており、一方、年少人口の割合が最も小さいのは、秋田県（10.29%）で、次いで青森県（11.22%）、北海道（11.31%）の順で続いている。（第27-1表、第28-1表参照）

第27-1表 年少人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【総計】(平成29年人口)

年少人口の割合が大きい都道府県			年少人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県*	17.26	1	秋田県*	10.29
2	滋賀県*	14.47	2	青森県*	11.22
3	佐賀県*	13.81	3	北海道*	11.31
4	愛知県*	13.77	4	高知県*	11.39
5	福岡県*	13.55	5	岩手県*	11.68
6	鹿児島県*	13.52	6	東京都*	11.716
7	熊本県*	13.49	7	徳島県*	11.720
8	宮崎県*	13.48	8	和歌山県*	11.837
9	広島県*	13.22	9	新潟県*	11.839
10	岡山県*	13.12	10	山形県*	11.93

日本人住民では、人口に占める年少人口の割合が最も大きいのは、沖縄県（17.36%）で、次いで滋賀県（14.53%）、佐賀県（13.87%）の順で続いており、一方、年少人口の割合が最も小さいのは、秋田県（10.31%）で、次いで青森県（11.24%）、北海道（11.34%）の順で続いている。（第27-2表、第28-2表参照）

第27-2表 年少人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】(平成29年人口)

年少人口の割合が大きい都道府県			年少人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	17.36	1	秋田県	10.31
2	滋賀県	14.53	2	青森県	11.24
3	佐賀県	13.87	3	北海道	11.34
4	愛知県	13.84	4	高知県	11.43
5	福岡県	13.64	5	岩手県	11.72
6	鹿児島県	13.56	6	徳島県	11.77
7	熊本県	13.54	7	東京都	11.84
8	宮崎県	13.52	8	新潟県	11.876
9	広島県	13.32	9	和歌山県	11.884
10	岡山県	13.223	10	山形県	11.97

外国人住民では、人口に占める年少人口の割合が最も大きいのは、三重県（12.31%）で、次いで静岡県（12.28%）、群馬県（12.04%）の順で続いており、一方、年少人口の割合が最も小さいのは、長崎県（2.96%）で、次いで岩手県（3.21%）、大分県（3.34%）の順で続いている。（第27-3表、第28-3表参照）

第27-3表 年少人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【外国人住民】(平成29年人口)

年少人口の割合が大きい都道府県			年少人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	三重県*	12.31	1	長崎県*	2.96
2	静岡県*	12.28	2	岩手県*	3.21
3	群馬県*	12.04	3	大分県*	3.34
4	愛知県*	11.62	4	秋田県*	3.46
5	滋賀県*	11.07	5	鹿児島県*	3.63
6	岐阜県*	10.92	6	山形県*	3.68
7	埼玉県*	10.67	7	高知県*	3.777
8	神奈川県*	10.56	8	青森県*	3.779
9	山梨県*	9.45	9	和歌山県*	3.83
10	栃木県*	9.31	10	福島県*	4.12

総計では、人口に占める生産年齢人口の割合が最も大きいのは、東京都（65.78%）で、次いで神奈川県（63.17%）、沖縄県（62.66%）の順で続いており、一方、生産年齢人口の割合が最も小さいのは、島根県（54.88%）で、次いで山口県（55.44%）、高知県（55.48%）の順で続いている。（第27-4表、第28-1表参照）

第27-4表 生産年齢人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【総計】(平成29年人口)

生産年齢人口の割合が大きい都道府県			生産年齢人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	東京都*	65.78	1	島根県*	54.88
2	神奈川県*	63.17	2	山口県*	55.44
3	沖縄県*	62.66	3	高知県*	55.48
4	埼玉県*	62.32	4	秋田県*	55.58
5	愛知県*	62.24	5	宮崎県*	56.66
6	千葉県*	61.72	6	大分県*	56.73
7	宮城県*	61.46	7	鹿児島県*	56.807
8	大阪府*	61.25	8	山形県*	56.809
9	滋賀県*	60.95	9	愛媛県*	57.02
10	栃木県*	60.86	10	長崎県*	57.13

日本人住民では、人口に占める生産年齢人口の割合が最も大きいのは、東京都（64.98%）で、次いで神奈川県（62.74%）、沖縄県（62.44%）の順で続いており、一方、生産年齢人口の割合が最も小さいのは、島根県（54.55%）で、次いで山口県（55.20%）、高知県（55.32%）の順で続いている。（第27-5表、第28-2表参照）

第27-5表 生産年齢人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】(平成29年人口)

生産年齢人口の割合が大きい都道府県			生産年齢人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	東京都	64.98	1	島根県	54.55
2	神奈川県	62.74	2	山口県	55.20
3	沖縄県	62.44	3	高知県	55.32
4	埼玉県	61.83	4	秋田県	55.47
5	愛知県	61.63	5	大分県	56.41
6	宮城県	61.23	6	宮崎県	56.51
7	千葉県	61.19	7	山形県	56.63
8	大阪府	60.86	8	鹿児島県	56.65
9	滋賀県	60.58	9	愛媛県	56.76
10	栃木県	60.37	10	長崎県	56.86

外国人住民では、人口に占める生産年齢人口の割合が最も大きいのは、徳島県（93.16%）で、次いで鹿児島県（92.94%）、岩手県（92.11%）の順で続いており、一方、生産年齢人口の割合が最も小さいのは、兵庫県（76.19%）で、次いで大阪府（77.24%）、京都府（77.90%）の順で続いている。（第27-6表、第28-3表参照）

第27-6表 生産年齢人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【外国人住民】(平成29年人口)

生産年齢人口の割合が大きい都道府県			生産年齢人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	徳島県*	93.16	1	兵庫県*	76.19
2	鹿児島県*	92.94	2	大阪府*	77.24
3	岩手県*	92.11	3	京都府*	77.90
4	長崎県*	91.74	4	山口県*	78.58
5	熊本県*	91.70	5	奈良県*	80.77
6	山形県*	91.67	6	滋賀県*	81.60
7	愛媛県*	91.56	7	和歌山県*	81.65
8	宮崎県*	91.11	8	愛知県*	82.60
9	福島県*	91.05	9	三重県*	82.68
10	大分県*	90.84	10	静岡県*	83.93

総計では、人口に占める老年人口の割合が最も大きいのは、秋田県（34.13%）で、次いで高知県（33.13%）、島根県（32.59%）の順で続いており、一方、老年人口の割合が最も小さいのは、沖縄県（20.07%）で、次いで東京都（22.50%）、愛知県（23.99%）の順で続いている。（第27-7表、第28-1表参照）

第27-7表 老年人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【総計】（平成29年人口）

老年人口の割合が大きい都道府県			老年人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	秋田県*	34.13	1	沖縄県*	20.07
2	高知県*	33.13	2	東京都*	22.50
3	島根県*	32.59	3	愛知県*	23.99
4	山口県*	32.52	4	神奈川県*	24.17
5	山形県*	31.26	5	滋賀県*	24.58
6	徳島県*	31.05	6	埼玉県*	25.00
7	和歌山県*	30.95	7	千葉県*	25.80
8	岩手県*	30.86	8	宮城県*	25.99
9	愛媛県*	30.78	9	福岡県*	26.04
10	大分県*	30.68	10	大阪府*	26.19

日本人住民では、人口に占める老年人口の割合が最も大きいのは、秋田県（34.21%）で、次いで高知県（32.26%）、島根県（32.86%）の順で続いており、一方、老年人口の割合が最も小さいのは、沖縄県（20.19%）で、次いで東京都（23.18%）、愛知県（24.53%）の順で続いている。（第27-8表、第28-2表参照）

第27-8表 老年人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【日本人住民】（平成29年人口）

老年人口の割合が大きい都道府県			老年人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	秋田県	34.21	1	沖縄県	20.19
2	高知県	33.26	2	東京都	23.18
3	島根県	32.86	3	愛知県	24.53
4	山口県	32.68	4	神奈川県	24.56
5	山形県	31.40	5	滋賀県	24.89
6	徳島県	31.24	6	埼玉県	25.46
7	和歌山県	31.05	7	宮城県	26.17
8	愛媛県	30.982	8	福岡県	26.268
9	岩手県	30.979	9	千葉県	26.269
10	富山県	30.92	10	大阪府	26.44

外国人住民では、人口に占める老年人口の割合が最も大きいのは、山口県（17.19%）で、次いで京都府（16.76%）、兵庫県（16.54%）の順で続いており、一方、老年人口の割合が最も小さいのは、徳島県（2.13%）で、次いで香川県（3.03%）、茨城県（3.04%）の順で続いている。（第27-9表、第28-3表参照）

第27-9表 老年人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県【外国人住民】（平成29年人口）

老年人口の割合が大きい都道府県			老年人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	山口県*	17.19	1	徳島県*	2.13
2	京都府*	16.76	2	香川県*	3.03
3	兵庫県*	16.54	3	茨城県	3.04
4	大阪府*	16.04	4	群馬県*	3.11
5	和歌山県*	14.52	5	栃木県*	3.1727
6	奈良県*	12.66	6	埼玉県*	3.1729
7	鳥取県*	9.09	7	富山県*	3.31
8	福井県*	8.19	8	鹿児島県*	3.43
9	岡山県*	8.14	9	千葉県*	3.73
10	福岡県*	7.90	10	熊本県*	3.75

第28-1表 都道府県別の年齢3区分別人口【総計】(平成29年人口)

都道府県名	年少人口		生産年齢人口		老年人口		合計
	A 人	構成比 A/D %	B 人	構成比 B/D %	C 人	構成比 C/D %	A+B+C=D 人
北海道*	606,983	11.31	3,172,298	59.09	1,589,259	29.60	5,368,540
青森県*	148,439	11.22	772,333	58.36	402,599	30.42	1,323,371
岩手県*	149,196	11.68	733,757	57.46	394,045	30.86	1,276,998
宮城県*	291,002	12.55	1,425,542	61.46	602,763	25.99	2,319,307
秋田県*	105,873	10.29	571,812	55.58	351,113	34.13	1,028,798
山形県*	133,316	11.93	635,013	56.81	349,479	31.26	1,117,808
福島県*	233,890	12.07	1,146,663	59.17	557,229	28.76	1,937,782
茨城県	370,197	12.50	1,791,132	60.50	799,126	26.99	2,960,455
栃木県*	253,031	12.71	1,211,942	60.86	526,551	26.44	1,991,524
群馬県*	251,031	12.56	1,192,670	59.69	554,464	27.75	1,998,165
埼玉県*	930,684	12.67	4,576,841	62.32	1,836,227	25.00	7,343,752
千葉県*	783,843	12.47	3,878,427	61.72	1,621,156	25.80	6,283,426
東京都*	1,585,125	11.72	8,899,853	65.78	3,044,848	22.50	13,529,826
神奈川県*	1,159,158	12.66	5,783,713	63.17	2,212,475	24.17	9,155,346
新潟県*	272,367	11.84	1,331,071	57.86	697,239	30.31	2,300,677
富山県*	128,463	11.95	618,014	57.51	328,213	30.54	1,074,690
石川県*	148,575	12.88	681,459	59.07	323,559	28.05	1,153,593
福井県*	104,132	13.11	463,387	58.33	226,865	28.56	794,384
山梨県*	102,998	12.20	500,508	59.26	241,078	28.54	844,584
長野県*	269,422	12.67	1,217,830	57.29	638,385	30.03	2,125,637
岐阜県*	268,442	12.99	1,213,996	58.75	583,765	28.25	2,066,203
静岡県*	480,009	12.78	2,225,527	59.24	1,051,230	27.98	3,756,766
愛知県*	1,037,310	13.77	4,687,661	62.24	1,807,180	23.99	7,532,151
三重県*	236,245	12.83	1,090,220	59.20	515,116	27.97	1,841,581
滋賀県*	205,527	14.47	865,568	60.95	349,087	24.58	1,420,182
京都府*	318,555	12.40	1,530,992	59.59	719,811	28.02	2,569,358
大阪府*	1,112,511	12.55	5,427,927	61.25	2,320,976	26.19	8,861,414
兵庫県*	726,559	12.96	3,365,633	60.03	1,514,318	27.01	5,606,510
奈良県*	169,758	12.30	809,092	58.63	401,184	29.07	1,380,034
和歌山県*	116,515	11.84	563,145	57.21	304,706	30.95	984,366
鳥取県*	73,658	12.81	329,549	57.31	171,826	29.88	575,033
島根県*	87,219	12.53	382,031	54.88	226,900	32.59	696,150
岡山県*	252,945	13.12	1,120,213	58.12	554,350	28.76	1,927,508
広島県*	377,842	13.22	1,685,009	58.97	794,598	27.81	2,857,449
山口県*	169,573	12.04	780,932	55.44	458,053	32.52	1,408,558
徳島県*	89,544	11.72	437,296	57.23	237,206	31.05	764,046
香川県*	127,734	12.80	575,034	57.63	295,028	29.57	997,796
愛媛県*	171,425	12.20	801,237	57.02	432,477	30.78	1,405,139
高知県*	83,393	11.39	406,204	55.48	242,540	33.13	732,137
福岡県*	694,767	13.55	3,096,679	60.41	1,334,790	26.04	5,126,236
佐賀県*	115,726	13.81	487,462	58.18	234,632	28.01	837,820
長崎県*	178,808	12.84	795,685	57.13	418,230	30.03	1,392,723
熊本県*	242,444	13.49	1,032,043	57.41	523,206	29.10	1,797,693
大分県*	148,156	12.59	667,633	56.73	361,076	30.68	1,176,865
宮崎県*	150,912	13.48	634,282	56.66	334,206	29.86	1,119,400
鹿児島県*	225,455	13.52	947,272	56.81	494,806	29.67	1,667,533
沖縄県*	253,222	17.26	919,111	62.66	294,405	20.07	1,466,738
非公表分	206		10,148		608		10,962
合計	16,142,185	12.62	77,491,846	60.58	34,272,983	26.80	127,907,014

注1) 数値には、北海道、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、大阪府、広島県における年齢不詳者72名を含んでいない。

注2) 年齢別人口非公表分を含む都道府県は「*」で表示し、年齢別人口非公表分はまとめて掲載している。

第28-2表 都道府県別の年齢3区分別人口【日本人住民】(平成29年人口)

都道府県名	年少人口		生産年齢人口		老年人口		合計 A+B+C=D 人
	A 人	構成比 A/D %	B 人	構成比 B/D %	C 人	構成比 C/D %	
北海道	605,703	11.34	3,149,081	58.94	1,587,834	29.72	5,342,618
青森県	148,287	11.24	768,776	58.27	402,286	30.49	1,319,349
岩手県	149,007	11.72	728,327	57.30	393,769	30.98	1,271,103
宮城県	289,961	12.60	1,408,580	61.23	601,931	26.17	2,300,472
秋田県	105,761	10.31	568,912	55.47	350,886	34.21	1,025,559
山形県	133,111	11.97	629,907	56.63	349,220	31.40	1,112,238
福島県	233,435	12.12	1,136,619	58.99	556,697	28.89	1,926,751
茨城県	365,072	12.57	1,741,146	59.96	797,397	27.46	2,903,615
栃木県	249,711	12.77	1,180,745	60.37	525,420	26.86	1,955,876
群馬県	245,203	12.58	1,151,591	59.06	552,960	28.36	1,949,754
埼玉県	914,765	12.71	4,448,323	61.83	1,831,494	25.46	7,194,582
千葉県	771,933	12.55	3,764,652	61.19	1,616,292	26.27	6,152,877
東京都	1,544,180	11.84	8,475,913	64.98	3,023,613	23.18	13,043,706
神奈川県	1,139,533	12.70	5,627,443	62.74	2,202,553	24.56	8,969,529
新潟県	271,544	11.88	1,318,311	57.66	696,626	30.47	2,286,481
富山県	127,121	11.99	605,085	57.09	327,725	30.92	1,059,931
石川県	147,786	12.95	670,659	58.76	322,900	28.29	1,141,345
福井県	103,374	13.22	452,987	57.91	225,869	28.88	782,230
山梨県	101,645	12.24	488,109	58.79	240,505	28.97	830,259
長野県	266,748	12.73	1,191,238	56.87	636,771	30.40	2,094,757
岐阜県	263,342	13.04	1,174,485	58.16	581,664	28.80	2,019,491
静岡県	470,611	12.79	2,161,323	58.73	1,048,332	28.49	3,680,266
愛知県	1,012,085	13.84	4,508,298	61.63	1,794,630	24.53	7,315,013
三重県	230,919	12.84	1,054,442	58.64	512,947	28.52	1,798,308
滋賀県	202,764	14.53	845,196	60.58	347,257	24.89	1,395,217
京都府	315,650	12.55	1,488,651	59.19	710,704	28.26	2,515,005
大阪府	1,098,060	12.70	5,261,834	60.86	2,286,486	26.44	8,646,380
兵庫県	719,285	13.06	3,289,413	59.74	1,497,767	27.20	5,506,465
奈良県	169,027	12.35	800,099	58.45	399,774	29.20	1,368,900
和歌山県	116,292	11.88	558,388	57.06	303,860	31.05	978,540
鳥取県	73,466	12.86	326,232	57.12	171,475	30.02	571,173
島根県	86,845	12.59	376,158	54.55	226,600	32.86	689,603
岡山県	251,737	13.22	1,099,623	57.76	552,419	29.02	1,903,779
広島県	374,475	13.32	1,646,547	58.55	791,069	28.13	2,812,091
山口県	168,959	12.12	769,526	55.20	455,557	32.68	1,394,042
徳島県	89,299	11.77	432,450	56.99	237,095	31.24	758,844
香川県	127,041	12.87	565,400	57.28	294,705	29.85	987,146
愛媛県	170,976	12.26	791,416	56.76	432,021	30.98	1,394,413
高知県	83,260	11.43	403,036	55.32	242,320	33.26	728,616
福岡県	690,630	13.64	3,041,819	60.09	1,329,727	26.27	5,062,176
佐賀県	115,507	13.87	482,963	57.99	234,364	28.14	832,834
長崎県	178,484	12.92	785,659	56.86	417,651	30.23	1,381,794
熊本県	241,941	13.54	1,021,918	57.20	522,792	29.26	1,786,651
大分県	147,790	12.68	657,671	56.41	360,437	30.91	1,165,898
宮崎県	150,702	13.52	629,865	56.51	333,985	29.97	1,114,552
鹿児島県	225,189	13.56	940,471	56.65	494,555	29.79	1,660,215
沖縄県	252,331	17.36	907,429	62.44	293,448	20.19	1,453,208
合計	15,940,547	12.69	75,526,716	60.14	34,116,389	27.17	125,583,652

注)数値には、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県における年齢不詳者6名を含んでいない。

第28-3表 都道府県別の年齢3区分別人口【外国人住民】(平成29年人口)

都道府県名	年少人口		生産年齢人口		老年人口		合計 A+B+C=D 人
	A 人	構成比 A/D %	B 人	構成比 B/D %	C 人	構成比 C/D %	
北海道*	1,280	4.94	23,217	89.56	1,425	5.50	25,922
青森県*	152	3.78	3,557	88.44	313	7.78	4,022
岩手県*	189	3.21	5,430	92.11	276	4.68	5,895
宮城県*	1,041	5.53	16,962	90.06	832	4.42	18,835
秋田県*	112	3.46	2,900	89.53	227	7.01	3,239
山形県*	205	3.68	5,106	91.67	259	4.65	5,570
福島県*	455	4.12	10,044	91.05	532	4.82	11,031
茨城県	5,125	9.02	49,986	87.94	1,729	3.04	56,840
栃木県*	3,320	9.31	31,197	87.51	1,131	3.17	35,648
群馬県*	5,828	12.04	41,079	84.85	1,504	3.11	48,411
埼玉県*	15,919	10.67	128,518	86.16	4,733	3.17	149,170
千葉県*	11,910	9.12	113,775	87.15	4,864	3.73	130,549
東京都*	40,945	8.42	423,940	87.21	21,235	4.37	486,120
神奈川県*	19,625	10.56	156,270	84.10	9,922	5.34	185,817
新潟県*	823	5.80	12,760	89.88	613	4.32	14,196
富山県*	1,342	9.09	12,929	87.60	488	3.31	14,759
石川県*	789	6.44	10,800	88.18	659	5.38	12,248
福井県*	758	6.24	10,400	85.57	996	8.19	12,154
山梨県*	1,353	9.45	12,399	86.55	573	4.00	14,325
長野県*	2,674	8.66	26,592	86.11	1,614	5.23	30,880
岐阜県*	5,100	10.92	39,511	84.58	2,101	4.50	46,712
静岡県*	9,398	12.28	64,204	83.93	2,898	3.79	76,500
愛知県*	25,225	11.62	179,363	82.60	12,550	5.78	217,138
三重県*	5,326	12.31	35,778	82.68	2,169	5.01	43,273
滋賀県*	2,763	11.07	20,372	81.60	1,830	7.33	24,965
京都府*	2,905	5.34	42,341	77.90	9,107	16.76	54,353
大阪府*	14,451	6.72	166,093	77.24	34,490	16.04	215,034
兵庫県*	7,274	7.27	76,220	76.19	16,551	16.54	100,045
奈良県*	731	6.57	8,993	80.77	1,410	12.66	11,134
和歌山県*	223	3.83	4,757	81.65	846	14.52	5,826
鳥取県*	192	4.97	3,317	85.93	351	9.09	3,860
島根県*	374	5.71	5,873	89.71	300	4.58	6,547
岡山県*	1,208	5.09	20,590	86.77	1,931	8.14	23,729
広島県*	3,367	7.42	38,462	84.80	3,529	7.78	45,358
山口県*	614	4.23	11,406	78.58	2,496	17.19	14,516
徳島県*	245	4.71	4,846	93.16	111	2.13	5,202
香川県*	693	6.51	9,634	90.46	323	3.03	10,650
愛媛県*	449	4.19	9,821	91.56	456	4.25	10,726
高知県*	133	3.78	3,168	89.97	220	6.25	3,521
福岡県*	4,137	6.46	54,860	85.64	5,063	7.90	64,060
佐賀県*	219	4.39	4,499	90.23	268	5.38	4,986
長崎県*	324	2.96	10,026	91.74	579	5.30	10,929
熊本県*	503	4.56	10,125	91.70	414	3.75	11,042
大分県*	366	3.34	9,962	90.84	639	5.83	10,967
宮崎県*	210	4.33	4,417	91.11	221	4.56	4,848
鹿児島県*	266	3.63	6,801	92.94	251	3.43	7,318
沖縄県*	891	6.59	11,682	86.34	957	7.07	13,530
非公表分	206		10,148		608		10,962
合計	201,638	8.68	1,965,130	84.58	156,594	6.74	2,323,362

注1) 数値には、北海道、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、大阪府、広島県における年齢不詳者66名を含んでいない。

注2) 年齢別人口非公表分を含む都道府県は「*」で表示し、年齢別人口非公表分はまとめて掲載している。

(注) 外国人住民の「男性総数が1～9人」「女性総数が1～9人」「男女計総数が49人以下」のいずれかに該当する市区町村がある場合における外国人住民の年齢階級別人口の公表の取扱いについては、下表のとおり。

	外国人住民の年齢階級別人口	
	男性総数、 女性総数、 男女計総数	5歳ごと等 の内訳
① 外国人住民の「男性総数が1～9人」 " 「女性総数が1～9人」 " 「男女計総数が49人以下」 のいずれかに該当する市区町村	公表	非公表※
② 上記①を含む郡、都道府県、市計、町村計等	公表	公表 (非公表※分の人口を含まず)

※上記①・②に該当する場合には、名称に「*」を表示

(参考)

○18歳及び19歳の日本人住民の人口は、全国で239万4,208人
18歳以上の日本人住民の人口は、全国で1億0,610万2,492人

18歳及び19歳の日本人住民の人口は、全国で239万4,208人となっており、これに20歳以上の日本人住民の全国の人口(1億0,370万8,284人)を加えた18歳以上の日本人住民の人口は、全国で1億0,610万2,492人となっている。

	18歳・19歳の 日本人住民の人口(A)	20歳以上の 日本人住民の人口(B)	18歳以上の 日本人住民の人口(A+B)
全国	2,394,208人	103,708,284人	106,102,492人

注) 年齢不詳者を含んでいない。

(3) 市区町村別の年齢階級別人口

<日本人住民>

○最も年少人口割合の大きい市区は沖縄県豊見城市、町村は三重県朝日町
 最も生産年齢人口割合の大きい市区は東京都中央区、町村は東京都青ヶ島村
 最も老年人口割合の大きい市区は北海道夕張市、町村は群馬県南牧村

日本人住民において、最も年少人口割合の大きい市区は沖縄県豊見城市（20.08%）、町村は三重県朝日町（21.60%）となっている。

最も生産年齢人口割合の大きい市区は東京都中央区（70.69%）、町村は東京都青ヶ島村（73.13%）となっている。

最も老年人口割合の大きい市区は北海道夕張市（49.92%）、町村は群馬県南牧村（60.71%）となっている。（第29-1～29-2表参照）

第29-1表 年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の大きい市区【日本人住民】（平成29年人口）

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	市区名	%	順位	市区名	%	順位	市区名	%
1	とみぐすくし 豊見城市（沖縄県）	20.08	1	ちゆうおうく 中央区（東京都）	70.69	1	ゆうぱりし 夕張市（北海道）	49.92
2	ながくてし 長久手市（愛知県）	18.67	2	しぶやく 渋谷区（東京都）	70.16	2	うたしなしい 歌志内市（北海道）	47.91
3	いとまんし 糸満市（沖縄県）	18.47	3	なかのく 中野区（東京都）	69.34	3	すずし 珠洲市（石川県）	46.54
4	おきなわし 沖縄市（沖縄県）	18.33	4	うらやすし 浦安市（千葉県）	69.05	4	みかさし 三笠市（北海道）	45.94
5	うらそえし 浦添市（沖縄県）	18.30	5	しんじゅくく 新宿区（東京都）	68.79	5	むろとし 室戸市（高知県）	45.83
6	こうしし 合志市（熊本県）	18.22	6	めぐろく 目黒区（東京都）	68.75	6	あたまし 熱海市（静岡県）	45.69
7	いしがきし 石垣市（沖縄県）	18.17	7	としまく 豊島区（東京都）	68.72	7	とさしみずし 土佐清水市（高知県）	45.31
8	りつとうし 栗東市（滋賀県）	18.05	8	みなとく 港区（東京都）	68.50	8	あかびらし 赤平市（北海道）	44.95
9	ぎのわんし 宜野湾市（沖縄県）	18.00	9	ちよたく 千代田区（東京都）	68.40	9	たけたし 竹田市（大分県）	44.27
10	とみぐすくし 富谷市（宮城県）	17.98	10	とだし 戸田市（埼玉県）	68.07	10	あしべつし 芦別市（北海道）	44.13

第29-2表 年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の大きい町村【日本人住民】（平成29年人口）

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	町村名	%	順位	町村名	%	順位	町村名	%
1	あさひちよう 朝日町（三重県）	21.60	1	あおがしまむら 青ヶ島村（東京都）	73.13	1	なんもくむら 南牧村（群馬県）	60.71
2	しんぐうまち 新宮町（福岡県）	21.08	2	おがさわらむら 小笠原村（東京都）	68.03	2	てんりゅうむら 天龍村（長野県）	59.13
3	みしまむら 三島村（鹿児島県）	21.07	3	おしのむら 忍野村（山梨県）	66.12	3	かねやままち 金山町（福島県）	58.34
4	はえばるちよう 南風原町（沖縄県）	20.35	4	おといねつむら 音威子府村（北海道）	65.65	4	かわかみむら 川上村（奈良県）	57.47
5	かわきたまち 川北町（石川県）	19.85	5	たまむらまち 玉村町（群馬県）	65.26	5	かんなまち 神流町（群馬県）	57.20
6	ぎのざそん 宜野座村（沖縄県）	19.81	6	かわごえちよう 川越町（三重県）	64.70	6	おおとよちよう 大豊町（高知県）	57.09
7	としまむら 十島村（鹿児島県）	19.78	7	しろうわちよう 昭和町（山梨県）	64.37	7	しろうわむら 昭和村（福島県）	56.02
8	よなばるちよう 与那原町（沖縄県）	19.03	8	りふちよう 利府町（宮城県）	64.31	8	かみのせきちよう 上関町（山口県）	54.65
9	かすやまち 粕屋町（福岡県）	18.89	9	なかぐすくそん 中城村（沖縄県）	64.27	9	ひがしよしのむら 東吉野村（奈良県）	53.39
10	やえせちよう 八重瀬町（沖縄県）	18.57	10	かみのかわまち 上三川町（栃木県）	63.93	10	によどがわちよう 仁淀川町（高知県）	53.36

＜日本人住民＞

○最も年少人口割合の小さい市区は北海道夕張市、町村は奈良県上北山村
 最も生産年齢人口割合の小さい市区は北海道夕張市、町村は長野県天龍村
 最も老年人口割合の小さい市区は愛知県長久手市、町村は東京都青ヶ島村

日本人住民において、最も年少人口割合の小さい市区は北海道夕張市（5.47%）、町村は奈良県上北山村（2.21%）となっている。

最も生産年齢人口割合の小さい市区は北海道夕張市（44.60%）、町村は長野県天龍村（36.00%）となっている。

最も老年人口割合の小さい市区は愛知県長久手市（16.06%）、町村は東京都青ヶ島村（15.00%）となっている。（第29-3～29-4表参照）

第29-3表 年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の小さい市区【日本人住民】（平成29年人口）

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	市区名	%	順位	市区名	%	順位	市区名	%
1	ゆうばりし 夕張市（北海道）	5.47	1	ゆうばりし 夕張市（北海道）	44.60	1	ながくてし 長久手市（愛知県）	16.06
2	うたしなしいし 歌志内市（北海道）	5.66	2	すずし 珠洲市（石川県）	46.21	2	ちゅうおうく 中央区（東京都）	16.36
3	あたまし 熱海市（静岡県）	6.80	3	みかさし 三笠市（北海道）	46.32	3	とだし 戸田市（埼玉県）	16.39
4	あしべつし 芦別市（北海道）	7.19	4	うたしなしいし 歌志内市（北海道）	46.43	4	うらやすし 浦安市（千葉県）	16.67
5	むろとし 室戸市（高知県）	7.20	5	たけたし 竹田市（大分県）	46.81	5	とみぐすくし 豊見城市（沖縄県）	16.91
6	すずし 珠洲市（石川県）	7.25	6	とさしみずし 土佐清水市（高知県）	46.92	6	みよしし みよし市（愛知県）	17.37
7	あかびらし 赤平市（北海道）	7.29	7	むろとし 室戸市（高知県）	46.97	7	ぎのわんし 宜野湾市（沖縄県）	17.58
8	おかし 男鹿市（秋田県）	7.48	8	あたまし 熱海市（静岡県）	47.51	8	わこうし 和光市（埼玉県）	17.75
9	かつうらし 勝浦市（千葉県）	7.49	9	あかびらし 赤平市（北海道）	47.76	9	うらそえし 浦添市（沖縄県）	17.81
10	みかさし 三笠市（北海道）	7.74	10	みなみぼうそうし 南房総市（千葉県）	47.80	10	みやこし 富谷市（宮城県）	18.00

第29-4表 年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合の小さい町村【日本人住民】（平成29年人口）

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	町村名	%	順位	町村名	%	順位	町村名	%
1	かみきたやまむら 上北山村（奈良県）	2.21	1	てんりゅうむら 天龍村（長野県）	36.00	1	あおがしまむら 青ヶ島村（東京都）	15.00
2	なんもくむら 南牧村（群馬県）	2.82	2	なんもくむら 南牧村（群馬県）	36.47	2	おがさわらむら 小笠原村（東京都）	15.23
3	みつえむら 御杖村（奈良県）	3.53	3	かねやままち 金山町（福島県）	37.37	3	はえばるちよう 南風原町（沖縄県）	16.61
4	かさぎちよう 笠置町（京都府）	3.72	4	おおとよちよう 大豊町（高知県）	38.20	4	しんぐうまち 新宮町（福岡県）	16.74
5	かわかみむら 川上村（奈良県）	3.82	5	しょうわむら 昭和村（福島県）	38.38	5	かすやまち 粕屋町（福岡県）	17.42
6	かななまち 神流町（群馬県）	4.17	6	かななまち 神流町（群馬県）	38.63	6	おしのむら 忍野村（山梨県）	18.01
7	くろたきむら 黒滝村（奈良県）	4.18	7	かわかみむら 川上村（奈良県）	38.71	7	なかぐすくそん 中城村（沖縄県）	18.02
8	かねやままち 金山町（福島県）	4.29	8	かみのせきちよう 上関町（山口県）	39.74	8	みくらしまむら 御蔵島村（東京都）	18.21
9	ひがしよしのむら 東吉野村（奈良県）	4.60	9	によどがわちよう 仁淀川町（高知県）	40.06	9	よなばるちよう 与那原町（沖縄県）	18.37
10	いまべつまち 今別町（青森県）	4.61	10	かみかつちよう 上勝町（徳島県）	40.45	10	ちやたんちよう 北谷町（沖縄県）	18.46

3 世帯数

- 全国の世帯数は、5,747万7,037世帯で、
このうち日本人住民及び複数国籍の世帯数は5,622万1,568世帯、
外国人住民の世帯数は125万5,469世帯
- 全国の世帯増減数は、52万6,280世帯増で、
このうち日本人住民及び複数国籍の世帯は40万9,599世帯増で、現行調査開始（昭和43年）以降毎年増加
外国人住民の世帯は11万6,681世帯増
- 全国の1世帯当たりの平均構成人員は、2.23人で、
このうち日本人住民及び複数国籍の世帯の1世帯当たりの平均構成人員は
2.23人で、現行調査開始以降毎年減少
外国人住民の世帯の1世帯当たりの平均構成人員は1.85人

※「複数国籍の世帯」とは、日本人住民と外国人住民との混合世帯をいう。

平成29年1月1日現在の全国の世帯数は、総計では、5,747万7,037世帯（前年5,695万0,757世帯）で、前年より52万6,280世帯増（0.92%増）となっており、1世帯当たりの平均構成人員は2.23人（前年2.25人）となっている。

日本人住民及び複数国籍の世帯数は、5,622万1,568世帯で、前年5,581万1,969世帯に比べ40万9,599世帯、0.73%の増加となっており、現行調査開始（昭和43年）以降毎年増加している。

1世帯当たりの平均構成人員は、2.23人（前年2.26人）となり、現行調査開始（昭和43年）以降毎年減少している。

外国人住民の世帯数は、125万5,469世帯（前年113万8,788世帯）で、前年より11万6,681世帯増（10.25%増）となっており、1世帯当たりの平均構成人員は1.85人（前年1.91人）となっている。

1世帯当たりの平均構成人員を都道府県別にみると、総計では、最も多いのは福井県（2.74人）で、次いで山形県（2.72人）、富山県（2.59人）の順で続いている。

また、最も少ないのは東京都（1.93人）で、次いで北海道（1.94人）、鹿児島県（2.07人）の順で続いている。

日本人住民及び複数国籍の世帯では、最も多いのは福井県（2.77人）で、次いで山形県（2.72人）、富山県（2.61人）の順で続いている。

また、最も少ないのは東京都（1.94人）で、次いで北海道（1.95人）、鹿児島県（2.07人）の順で続いている。

外国人住民の世帯では、最も多いのは山形県（2.40人）で、次いで神奈川県（2.18人）、長野県（2.14人）の順で続いている。

また、最も少ないのは長崎県（1.31人）で、次いで愛媛県（1.35人）、大分県（1.39人）の順で続いている。（第5-1～5-3表、第30-1～30-3表、第31-1～31-3表参照）

第30-1表 世帯数等の推移【総計】

区分	世帯数 (世帯)	対前年増減数 (世帯)	対前年増減率 (%)	1世帯当たり 平均構成人員(人)
平成25年	55,577,563	—	—	2.31
(25)	(55,549,282)	(—)	(—)	(2.32)
26	55,952,258	402,976	0.73	2.30
27	56,412,140	459,882	0.82	2.27
28	56,950,757	538,617	0.95	2.25
29	57,477,037	526,280	0.92	2.23

注1) 平成25年の世帯数は同年3月31日現在、平成26年以降の世帯数は各年1月1日現在の数値である。

注2) 平成25年の世帯数の()書きは、同年1月1日の人口である。

第30-2表 世帯数等の推移【日本人住民・複数国籍】

区分	世帯数 (世帯)	対前年増減数 (世帯)	対前年増減率 (%)	1世帯当たり 平均構成人員(人)
昭和43年	27,115,293	—	—	3.76
44	28,205,976	1,090,683	4.02	3.64
45	29,146,288	940,312	3.33	3.55
46	30,027,454	881,166	3.02	3.48
47	30,853,005	825,551	2.75	3.43
48	31,907,782	1,054,777	3.42	3.39
49	32,627,792	720,010	2.26	3.36
50	33,310,006	682,214	2.09	3.33
51	33,911,052	601,046	1.80	3.31
52	34,380,314	469,262	1.38	3.29
53	34,858,696	478,382	1.39	3.28
54	35,350,173	491,477	1.41	3.26
55	35,830,857	480,684	1.36	3.24
56	36,346,662	515,805	1.44	3.22
57	36,858,900	512,238	1.41	3.20
58	37,425,866	566,966	1.54	3.17
59	37,934,575	508,709	1.36	3.15
60	38,457,479	522,904	1.38	3.12
61	38,987,773	530,294	1.38	3.10
62	39,536,307	548,534	1.41	3.07
63	40,025,087	488,780	1.24	3.04
平成元年	40,561,404	536,317	1.34	3.02
2	41,156,485	595,081	1.47	2.98
3	41,797,445	640,960	1.56	2.95
4	42,457,975	660,530	1.58	2.91
5	43,077,126	619,151	1.46	2.88
6	43,665,843	588,717	1.37	2.85
7	44,235,735	569,892	1.31	2.82
8	44,830,961	595,226	1.35	2.79
9	45,498,173	667,212	1.49	2.75
10	46,156,796	658,623	1.45	2.72
11	46,811,712	654,916	1.42	2.69
12	47,419,905	608,193	1.30	2.66
13	48,015,251	595,346	1.26	2.63
14	48,637,789	622,538	1.30	2.60
15	49,260,791	623,002	1.28	2.57
16	49,837,731	576,940	1.17	2.54
17	50,382,081	544,350	1.09	2.52
(17)	(50,456,015)	(618,284)	(1.24)	(2.52)
18	51,102,005	645,990	1.28	2.49
19	51,713,048	611,043	1.20	2.46
20	52,324,877	611,829	1.18	2.43
21	52,877,802	552,925	1.06	2.40
22	53,362,801	484,999	0.92	2.38
23	53,783,435	420,634	0.79	2.36
24	54,171,475	388,040	0.72	2.34
25	54,594,744	423,269	0.78	2.32
(25)	(54,544,316)	(—)	(—)	(2.32)
26	54,952,006	407,690	0.75	2.30
27	55,364,197	412,191	0.75	2.28
28	55,811,969	447,772	0.81	2.26
29	56,221,568	409,599	0.73	2.23

注1) 平成25年以前の世帯数は各年3月31日現在、平成26年以降の世帯数は各年1月1日現在の数値である。

注2) 平成25年の世帯数の()書きは、同年1月1日の人口である。

注3) 平成17年の世帯数の()書きは、平成18年調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

第30-3表 世帯数等の推移【外国人住民】

区分	世帯数 (世帯)	対前年増減数 (世帯)	対前年増減率 (%)	1世帯当たり 平均構成人員(人)
平成25年	982,819	—	—	2.01
(25)	(1,004,966)	(—)	(—)	(2.00)
26	1,000,252	△ 4,714	△ 0.47	2.00
27	1,047,943	47,691	4.77	1.97
28	1,138,788	90,845	8.67	1.91
29	1,255,469	116,681	10.25	1.85

注1) 平成25年の世帯数は同年3月31日現在、平成26年以降の世帯数は各年1月1日現在の数値である。

注2) 平成25年の世帯数の()書きは、同年1月1日の人口である。

第31-1表 1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県、少ない都道府県

【総計】(平成29年世帯数)

1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県			1世帯当たり平均構成人員の少ない都道府県		
順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人	順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人
1	福井県	2.74	1	東京都	1.93
2	山形県	2.72	2	北海道	1.94
3	富山県	2.59	3	鹿児島県	2.07
4	新潟県	2.58	4	高知県	2.08
5	佐賀県	2.555	5	大阪府	2.10
6	岐阜県	2.551	6	山口県	2.13
7	滋賀県	2.51	7	京都府	2.14
8	福島県	2.49	8	宮崎県	2.15
9	長野県	2.47	9	愛媛県	2.156
10	鳥取県	2.443	10	神奈川県	2.161

第31-2表 1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県、少ない都道府県

【日本人住民・複数国籍】(平成29年世帯数)

1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県			1世帯当たり平均構成人員の少ない都道府県		
順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人	順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人
1	福井県	2.77	1	東京都	1.94
2	山形県	2.72	2	北海道	1.95
3	富山県	2.61	3	鹿児島県	2.07
4	新潟県	2.59	4	高知県	2.08
5	岐阜県	2.573	5	大阪府	2.11
6	佐賀県	2.566	6	山口県	2.14
7	滋賀県	2.52	7	京都府	2.148
8	福島県	2.49	8	宮崎県	2.150
9	長野県	2.47	9	神奈川県	2.16
10	鳥取県	2.449	10	愛媛県	2.166

第31-3表 1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県、少ない都道府県

【外国人住民】(平成29年世帯数)

1世帯当たり平均構成人員の多い都道府県			1世帯当たり平均構成人員の少ない都道府県		
順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人	順位	都道府県名	1世帯当たり 平均構成人員 人
1	山形県	2.40	1	長崎県	1.31
2	神奈川県	2.18	2	愛媛県	1.35
3	長野県	2.14	3	大分県	1.39
4	埼玉県	2.103	4	北海道	1.466
5	山梨県	2.096	5	香川県	1.474
6	静岡県	2.06	6	佐賀県	1.48
7	千葉県	2.01	7	徳島県	1.50
8	愛知県	1.98	8	宮崎県	1.51
9	群馬県	1.969	9	福岡県	1.52
10	新潟県	1.967	10	石川県	1.53